SONY

4-110-425-03(1)

準備編

接続・設定する
その他

Blu-ray Disc™

デジタルハイビジョンチューナー内蔵ハードディスク搭載

ブルーレイディスク/DVDレコーダー

取扱説明書［準備編］

BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-L55/BDZ-T75/BDZ-T55/BDZ-A950/BDZ-A750

お買い上げいただきありがとうございます。

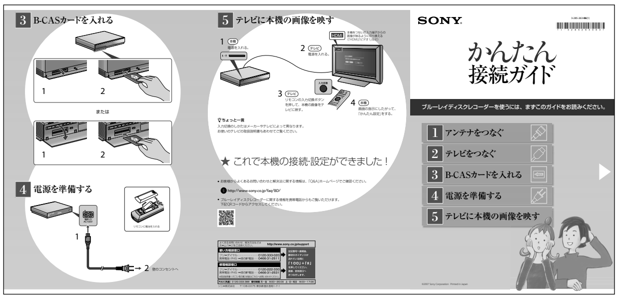
⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「取扱説明書［操作編］」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

別冊取扱説明書／各種ガイドのご案内

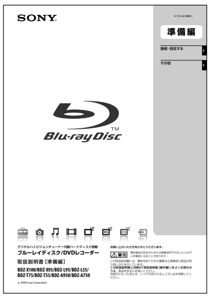
紙のマニュアル

かんたん接続ガイド



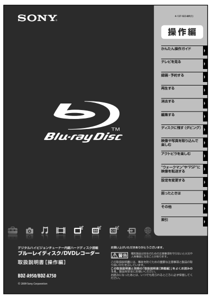
接続・設定など、本機を利用するために必要な準備の説明をしています。

取扱説明書［準備編］



本機をお使いになる前に、［準備編］を必ずお読みください。
本機とアンテナ、テレビの基本的な接続方法をイラストでわかりやすく説明しています。

取扱説明書［操作編］



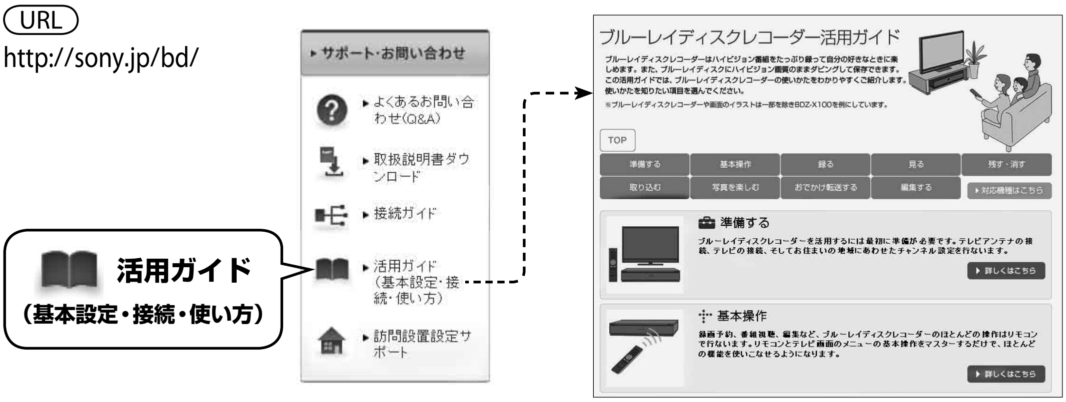
本機のさまざまな機能や操作方法を説明しています。

インターネットのガイド

ブルーレイディスクレコーダー活用ガイド

基本の操作から、ぜひ使ってほしい機能まで、目的にあわせてご紹介します。

URL
http://sony.jp/bd/



ファーストステップガイド

はじめて本機を利用されるお客様のために、「接続ガイド」や「基本操作ガイド」、Q&Aなどの情報を掲載しています。

URL
http://sony.jp/bd/support/guide/



⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

3 ～ 4ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。7ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

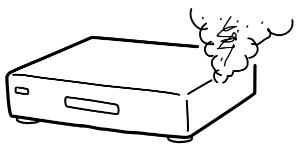
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかり差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　指のケガに注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

⚠警告（火災・感電）

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。（禁止）

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 製品と壁や棚との間にはさみ込んだりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 移動させるときは、電源プラグを抜く。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

➡ 万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

本機の上に水が入ったものや、重たいものや不安定なものを置かない

感電や故障の原因となります。（禁止）

湿気やほこりの多い場所や、油煙や湯気のあたる場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。特に風呂場や加湿器のそばなどでは絶対に使用しないでください。（禁止）

内部に水や異物を入れないようにする

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。本機の上に花瓶など水の入ったものを置かないでください。また、本機を水滴のかかる場所に置かないでください。（禁止）

➡ 万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

本機は室内専用です

乗物の中や船舶の中などで使用しないでください。（指示）

キャビネットを開けたり、分解や改造をしない

火災や感電、けがの原因となることがあります。（分解禁止）

➡ 内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

雷が鳴り出したら、本体や電源プラグには触れない

感電の原因となります。（接触禁止）

本機は国内専用です

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。（指示）

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

風通しの悪い所に置いたり、通風孔をふさいだりしない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。

禁止

大音量で長時間続けて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。

➡呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞きましょう。

禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

禁止

本体の前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。

禁止

幼児の手の届かない場所に置く

ディスクの挿入口などに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。

指のケガに注意

コード類は正しく配置する

電源コードやAVケーブルは足にひっかけると機器の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

禁止

移動させるとき、長期間使わないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

移動させるとき、すべてのAVケーブルや電源コードを抜く

AVケーブルや電源コードは足にひっかけるときの落下や転倒などにより、けがの原因になることがあります。

指示

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを使用しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

禁止

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

➡液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

➡液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

指示

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。

➡万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください。

禁止

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

⚠注意

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡マンガン電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

➡機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

指示

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。

➡マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

指示

目次

別冊取扱説明書／各種ガイドのご案内 …… 2
安全のために …… 3
使用上のご注意 …… 7
　必ずお読みください …… 7

接続・設定する

「接続・設定ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

接続と準備の流れ …… 12
[準備1]付属品を確かめる …… 13
　リモコンを準備する …… 13
[準備2]アンテナをつなぐ …… 14
　地上アナログ放送／地上デジタル放送のみの場合 …… 15
　地上アナログ放送／地上デジタル放送と衛星放送の信号が混合の場合 …… 16
　地上アナログ放送／地上デジタル放送と衛星放送の信号が個別の場合 …… 17
　CATV（ケーブルテレビ）を利用している場合 …… 18
[準備3]テレビをつなぐ …… 22
　2台のテレビやプロジェクターをHDMIケーブルでつなぐ（BDZ-X100/BDZ-X95のみ） …… 24
[準備4]その他の機器をつなぐ …… 25
　AVアンプをつなぐ …… 25
　ビデオデッキをつなぐ …… 28
　チューナーをつなぐ …… 29
[準備5]電話回線／ネットワークにつなぐ …… 30
　電話回線にのみつなぐ …… 31
　電話回線もネットワークもつなぐ …… 32
[準備6] B-CASカードを入れる …… 35
[準備7]電源コードをつなぐ …… 36
[準備8]かんたん設定をする …… 37
　かんたん初期設定をする …… 38
　かんたん機能設定をする …… 43
　チャンネル設定を修正する（CATV経由で受信している場合など） …… 45
本機のリモコンで他機器を操作する …… 51
　操作したい他機器を登録する …… 52
1つのリモコンで複数のソニー製BD機器を操作する …… 54　リモコンモード
　リモコン側のリモコンモードを変更するには …… 55
　本体側の[リモコンモード]の設定とリモコン側のリモコンモードの設定が異なるときは …… 55
　誤って本体側の[リモコンモード]の設定を変更してしまったときは …… 55
HDMI機器制御機能を利用する …… 56
　HDMI機器制御について …… 56
ブラビアのリモコンで本機を簡単に操作する …… 57　ブラビアリンク
　ブラビアリンクとは …… 57
　ブラビアリンクでできること …… 57
　ブラビアリンクを利用するための準備 …… 58

次のページにつづく⇨

その他

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ・・・・・・・・・・・ 62
デジタル放送お問い合わせ先一覧・・・・・・・・・・・・・・・ 69
各部の名前 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
本体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
リモコン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 75
索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76

本書の読みかた

- 取扱説明書[準備編](本書)では、BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-L55/BDZ-T75/BDZ-T55/BDZ-A950/BDZ-A750の4シリーズ8機種について説明しています。各機種ごとに利用できる機能がそれぞれ異なります。
- 本書ではブルーレイディスクを「BD」、本機内蔵のハードディスクを「HDD」と記載しています。
- 本書で使われているイラストは、BDZ-X100のものです。本書で使われている画面イラストと、実際に表示される画面は異なることがあります。
- 本書中の[ ]内の項目は画面上に表示される項目です。
- 本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれる「ソフトウェア等に関する重要なお知らせ」(62ページ)をお読みください。お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

使用上のご注意

必ずお読みください

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化（毎時10℃以上の変化）のある場所では使用しない。結露（露つき）の原因となります（10ページ）。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源を切ってハードディスクが動作していないこと（表示窓に時計が表示され、録画状態、ダビング状態、データ取得状態でないこと）を確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて1分以上待ってから、振動、衝撃を与えずに行う。
- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合は、データの修復はできません。ハードディスクは性質上長期的な記録場所として適しておりませんので、一時的な記録場所としてご利用ください。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理・点検の際、不具合症状の発生・改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製・保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください（著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます）。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

本機は、コンセントの近くでお使いください。本機を使用中、異常な音やにおい、煙がでたときはすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電源を遮断してください。
通常、本体の電源ボタンを切っただけでは、完全に電源から切り離せません。

本機の起動と終了について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源入切時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。
本機の起動中は、本体表示窓に「PLEASE WAIT」が、また本機の電源が切れるときには、本体表示窓に「POWER OFF」が点滅表示されます。
電源が切れる前やハードディスクが動作しているときにコンセントから電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

動作を受け付けないときは

明らかに本機が操作を受け付けない状態になった場合は、本体の電源ボタンを10秒以上押し続けてください。本機が再起動します。

電源を「切」にしているときのご注意

本機は番組表データなどを取得したり、テレビとの高速連動（HDMI機器制御機能）をするために、電源が「切」の状態でも、一時的に本機の内部のシステムが起動することがあります。これにより、本機のハードディスクや冷却ファンが動作することがありますが、故障ではありません。

- 次のようなときは、電源が「切」の状態でもファンが回り続けることがあります。
  - 番組表などのデータ取得中
  - ［HDMI機器制御 高速連動］が「入」に設定されているとき
  - ［スタンバイモード］が［高速起動］に設定されているとき
  - 本機のホームサーバー機能（BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-T75/BDZ-A950/BDZ-A750のみ）やリモート録画予約、HDMI機器制御機能を利用しているとき
  - 本機に挿入したB-CASカードが契約切れになっているとき
  - ソフトウェアアップデートを行っているとき
  - 録画中のとき
  - ダビング中のとき

次のページにつづく⇨

- [本体設定]の[スタンバイモード]の設定(「操作編」の「本機の設定を変更する」)を[標準]にすると、ネットワーク経由で本機の映像を他機器で見たり、リモート録画予約やHDMI機器制御機能の利用ができません。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。

個人情報などのお取り扱いについて

- 本製品内のハードディスク、メモリーには、各種機能の設定時に、IPアドレスなど、また、ご使用にあたってお知らせ(メール)、番組購入履歴等が記録されます。
- 本製品内のハードディスク、メモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本製品を廃棄、譲渡等するときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されている個人情報などのデータを消去することを強くおすすめします。消去をしないまま廃棄、譲渡等を行うと、記録されている個人情報が第三者に知られてしまう可能性があります。
  消去の方法については「個人情報の初期化」(「操作編」の「本機の設定を変更する」)をご覧ください。
- 本機に記録されている個人情報などのデータは次の内容です。
  - 各種機能の設定時のIPアドレスなど
  - ご使用中に受信したお知らせ(メール)、番組購入履歴など
  - 放送事業者の要求によりお客様が入力された個人情報や、データ放送のポイントなど
  - アクトビラのサービスに機器を登録した際に発行される機器登録(識別)情報(BDZ-A950/BDZ-A750のみ)
- アクトビラのホームページで登録した情報は、サービス提供元のサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、アクトビラの規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。(BDZ-A950/BDZ-A750のみ)
- MACアドレスは、リモート録画予約の初回登録時にサービス事業者のサーバーに送信されます。
- 本製品内のメモリーには、リモート録画予約の使用のためにお客様が設定された携帯電話の「ニックネーム」および「機器名」が記録されます。
- 本製品内に記録された録画予約およびタイトルなどに関わる情報は、リモート録画予約の利用時にサービス事業者のサーバーへ送信されます。

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などに記録ができなかった場合、不具合・修理など何らかの原因で本製品内または外部メディア・記録機器などの記録内容が破損・消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のソニーの相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のソニーの相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS1

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
但し、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

著作権に関するご注意

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、録画防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録画することができません。
- 別売りのチューナーをつないで番組を視聴する場合、番組にコピー制御信号が含まれている場合があります。この場合、番組によっては録画できないものがありますので、ご注意ください。
- 本機は、無許諾のBD/DVD（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。
- 本機は、つなぐテレビの画面に合わせて画郭サイズを選ぶモードがあります。設定項目によってはオリジナルの映像と見えかたに差が出ます。この点にご留意の上、本機の設定をお選びください。
  本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテルなどにおいて、画郭表示機能を利用して再生などを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- 著作物を録画する場合は、パッケージに「録画用」、「ビデオ用」または「For Video」と記載されているBDやDVDを使用してください。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。

私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目4番6号赤坂三辻ビル2F
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560

著作権の対象になっている画像やデータの記録された"メモリースティック"は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意下さい。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
  （チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナを使用しているときに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。）

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

次のページにつづく⇨

設置場所を変えるときは

BDやDVD、CDを入れたまま本機を動かさないでください。ディスクを傷めることがあります。
配線／接続作業を行うときは本機の電源を切り、本機の電源が切れていることを確認してから電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露（露つき）について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

音量を調節するときは

再生を始める前には、音量を必ず小さくしておきましょう。始めから音量を上げていると思わぬ大きな音が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。

ステレオで聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さめな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

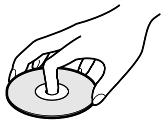


クリーニングディスクについて

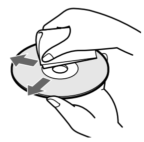
レンズ用のクリーニングディスクは、本機では使わないでください。故障するおそれがあります。

BDやDVD、CDの取り扱い上のご注意

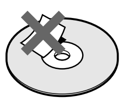
- 再生、録画面に手を触れないように持ちます。



- 直射日光が当る所など温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ケースに入れて保存してください。
- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で拭いた後、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。



- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。
- 次のようなディスクを使用すると本機の故障の原因となることがあります。
  - 円形以外の特殊な形状（カード型、ハート型、星型など）をしたディスク
  - 紙やシールの貼られたディスク
  - セロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク



- ディスクにラベル印刷した場合は、印刷が乾いてから再生してください。
- ディスク読み取り面の傷を取るために磨いたり削ったりしないでください。

接続・設定する

接続と準備の流れ 12

[準備1]付属品を確かめる 13

[準備2]アンテナをつなぐ 14

[準備3]テレビをつなぐ 22

[準備4]その他の機器をつなぐ 25

[準備5]電話回線／ネットワークにつなぐ 30

[準備6］B-CASカードを入れる 35

[準備7]電源コードをつなぐ 36

[準備8]かんたん設定をする 37

本機のリモコンで他機器を操作する 51

1つのリモコンで複数のソニー製BD機器を操作する 54

HDMI機器制御機能を利用する 56

ブラビアのリモコンで本機を簡単に操作する 57

接続と準備の流れ

準備1　付属品を確かめる（13ページ）

箱に入っている付属品が、すべて揃っているか確認し、リモコンの準備をします。

準備2　アンテナをつなぐ（14ページ）

本機でテレビ番組を見たり、録画したりするために、アンテナをつなぎます。

準備3　テレビをつなぐ（22ページ）

映像や写真、音楽をテレビで楽しむために、本機とテレビをつなぎます。

準備4　その他の機器をつなぐ（25ページ）

他機器を本機につなぐ方のみご覧ください。
本機の音声をAVアンプ経由で楽しんだり、ビデオやチューナーからの映像を本機で録画するために、本機と他機器をつなぎます。

準備5　電話回線／ネットワークにつなぐ（30ページ）

本機を電話回線／ネットワークにつなぐ方のみご覧ください。
通信サービスを利用するために、電話回線やネットワークにつなぎます。

準備6　B-CASカードを入れる（35ページ）

デジタル放送を本機で受信するため、B-CASカードを本機に入れます。

準備7　電源コードをつなぐ（36ページ）

本機に電源コードをつなぎます。
本機に内蔵されているハードディスクを保護するため、**電源コードの接続は必ず最後に行ってください。**

準備8　かんたん設定をする（37ページ）

テレビ放送の受信設定など、本機を利用するために必要な基本的な設定を行います。

その他の設定について

その他にも以下の設定があります。詳しくは、「操作編」の「本機の設定を変更する」をご覧になり、使用する機能に合わせて設定してください。

放送受信設定
テレビチャンネルの細かい設定ができます。

ビデオ設定
録画や再生に関する設定ができます。

映像設定
本機の映像の表示設定を変更することができます。

音声設定
本機の音声出力方法などを設定することができます。

フォト設定
本機で取り込んだ写真の表示方法を設定します。

本体設定
本体に関する様々な設定ができます。

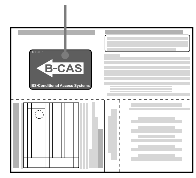
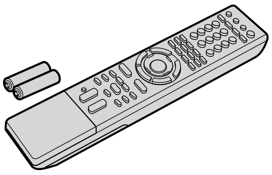
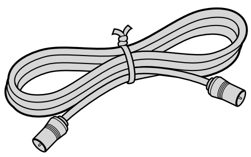
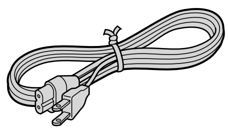
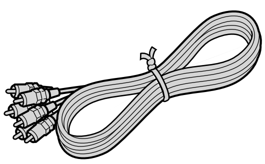
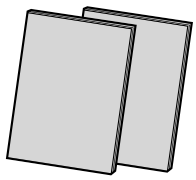
BD/DVD視聴設定
BDやDVDを再生するときの設定ができます。

通信設定
放送局が提供する双方向サービスなどに必要なネットワークの設定ができます。

[準備1]付属品を確かめる

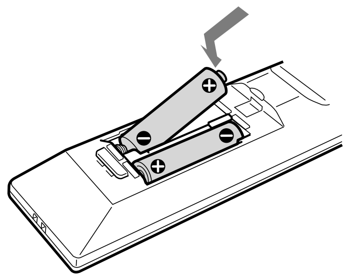
箱を開けたら、付属品が揃っているか確かめてください。

付属品一覧

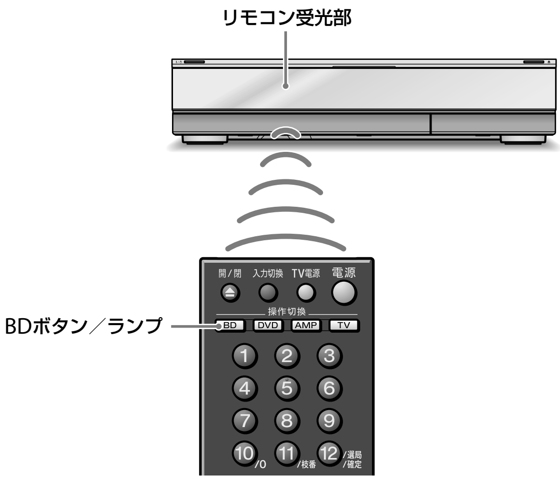
B-CASカード使用許諾契約約款（1部） ・B-CASカード（1） ・B-CAS用ユーザー登録はがき台紙（1）	
・リモコン（1個） ・単3形（R6）乾電池（2個）	
・アンテナケーブル（1本）	
・電源コード（1本）	
・映像／音声ケーブル（1本）	
・取扱説明書［準備編］（本書） ・取扱説明書［操作編］ ・かんたん接続ガイド ・保証書 ・ソニーご相談窓口のご案内（各1部）	

リモコンを準備する

リモコンに単3形（R6）乾電池（付属）を2個入れます。⊕と⊖の向きをリモコンの表示に合わせます。



リモコンを使うときは、リモコンを本体のリモコン受光部 🅁 に向けて操作します。
お買い上げ時の設定では、BD以外の操作機器切換用ボタンが点灯している場合は本機を操作できません。
本機を操作する場合は、BD を押して操作できるようにしてください。BDのランプは他のボタンと違いすぐ消えます。



ご注意

- リモコンを使うときは、リモコン受光部 🅁 に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようにご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。
- お買い上げ時の設定では、BD以外の操作機器切換用ボタンが点灯していると本機の操作はできません。詳しくは「本機のリモコンで他機器を操作する」（51ページ）をご覧ください。
- 本機のリモコンが他のBD機器を操作してしまう場合、リモコンモードを変更してください（54ページ）。

[準備2]アンテナをつなぐ

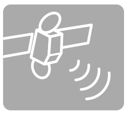
本機でテレビ番組を視聴したり、録画するためには、テレビアンテナの接続が必要です。
アンテナの種類や形状によって、接続方法が異なります。以下を参考に、ご利用の状況にあったアンテナ接続を行ってください。なお、すでにアンテナをテレビやVHSビデオレコーダーにつないでいる場合は、いったんアンテナケーブルをテレビなどから抜いてから、本機につないでください。

放送の種類について



地上アナログ放送
地上デジタル放送

従来の地上アナログ放送と、高画質・高音質な地上デジタル放送の両方をご覧いただけます。地上デジタル放送を楽しむには、地上デジタル放送対応のUHFアンテナが必要です。



BS/110度CS
デジタル放送

BS/110度CSデジタル放送の多彩な番組を楽しめます。
BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を楽しむには、BS/110度CSデジタル放送対応の衛星アンテナが必要です。



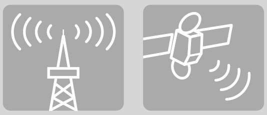
CATV
(ケーブルテレビ)

CATV(ケーブルテレビ)を利用されている方も地上デジタル放送や地上アナログ放送を受信できます。受信方法には「パススルー方式」と「トランスモジュレーション方式」の2種類あります。
ご利用のCATV局により、方式が異なります。詳しくはご契約のCATV局にお問い合わせください。



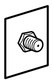
地上アナログ放送/地上デジタル放送のみ楽しみたい

本機にVHF/UHF*アンテナをつなぎます。 ➡ 15ページ
* 地上デジタル放送を受信します。



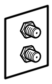
地上アナログ放送/地上デジタル放送とBS/110度CSデジタル放送を楽しみたい

壁のアンテナ端子が1つしかない場合



分波器を使って地上アナログ放送/地上デジタル放送とBS/110度CSデジタル放送を分波してつなぎます。 ➡ 16ページ

壁のアンテナ端子がアンテナごとにある場合

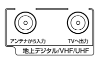


VHF/UHFアンテナとBS/110度CSデジタル放送対応アンテナをそれぞれつなぎます。 ➡ 17ページ



CATV(ケーブルテレビ)で地上アナログ放送/地上デジタル放送を楽しみたい

パススルー方式の場合



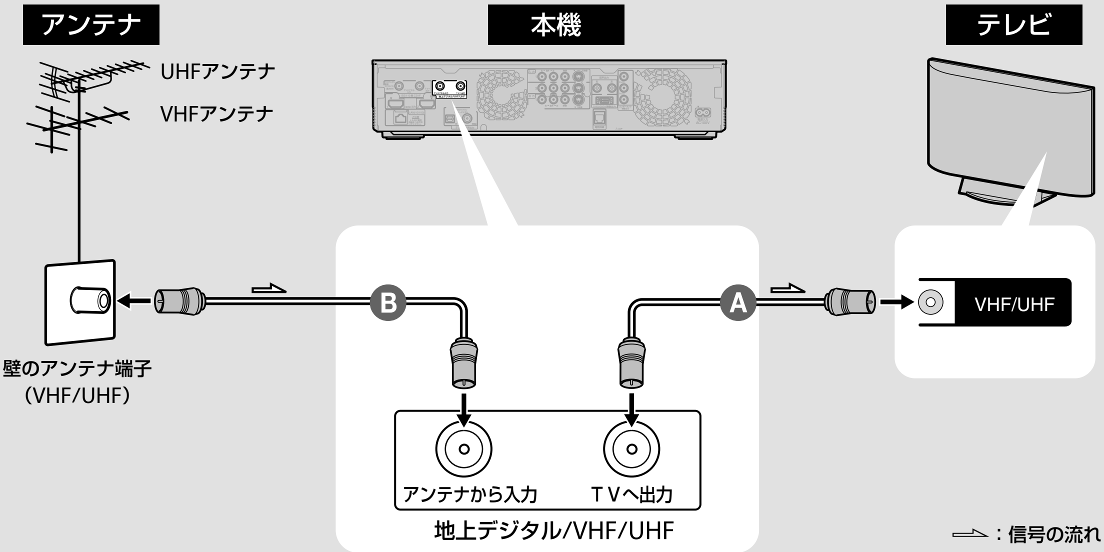
CATVのアンテナを本機のVHF/UHF入力につなぎます。 ➡ 18ページ

トランスモジュレーション方式の場合



CATVチューナーやセットトップボックスなどの映像/音声出力端子と本機の映像/音声入力端子をつなぎます。 ➡ 19ページ

地上アナログ放送／地上デジタル放送のみの場合



付属

Ⓐアンテナケーブル（1本）

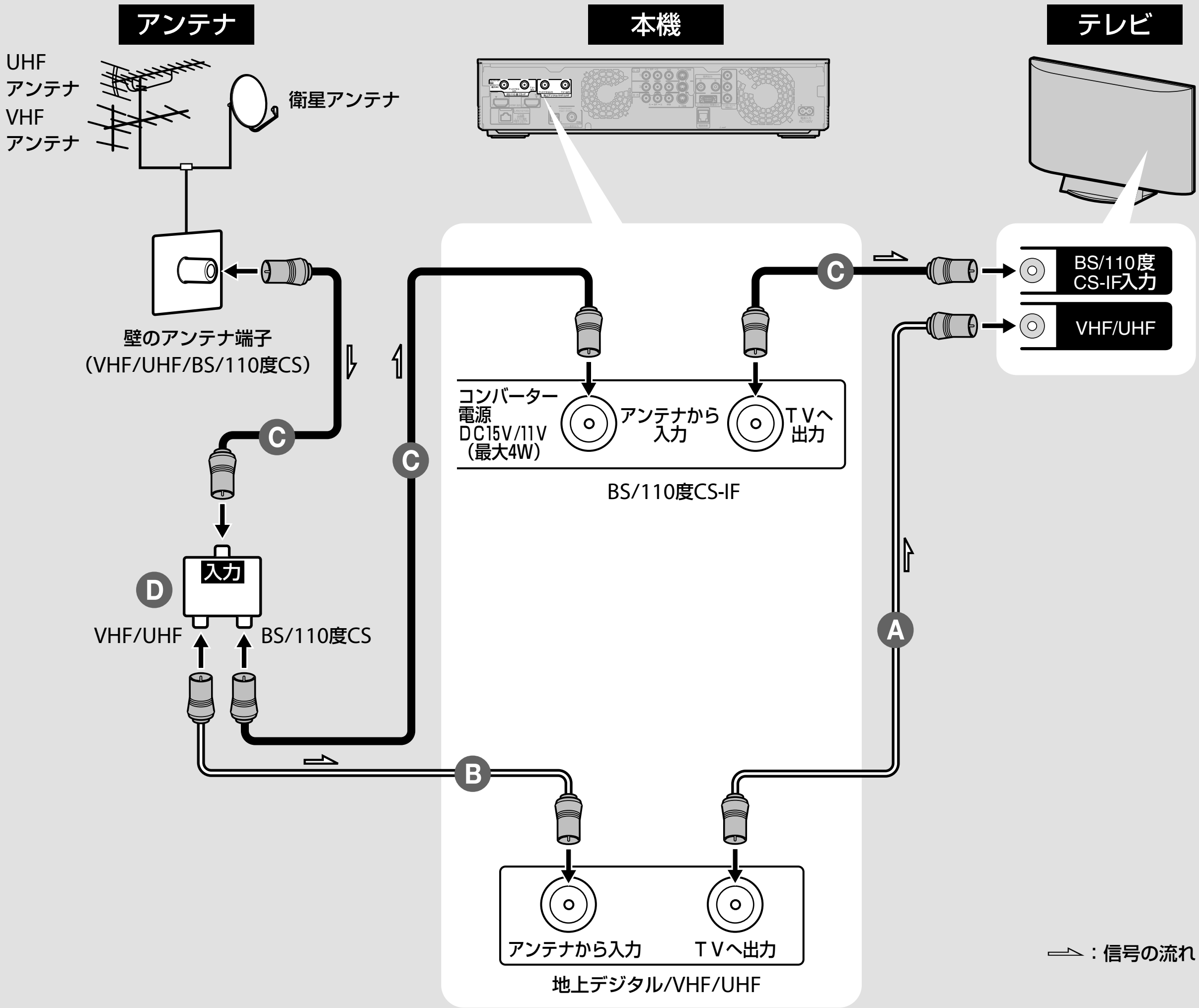
別売り

Ⓑアンテナケーブル（1本）

次のページにつづく⇨

地上アナログ放送／地上デジタル放送と衛星放送の信号が混合の場合

BS/110度CSデジタル放送と地上波を分波してつなぎます。
アンテナから本機のアンテナ入力へ、本機のアンテナ出力からテレビ(入力)につなぎます。



付属

Ⓐアンテナケーブル(1本)

別売り

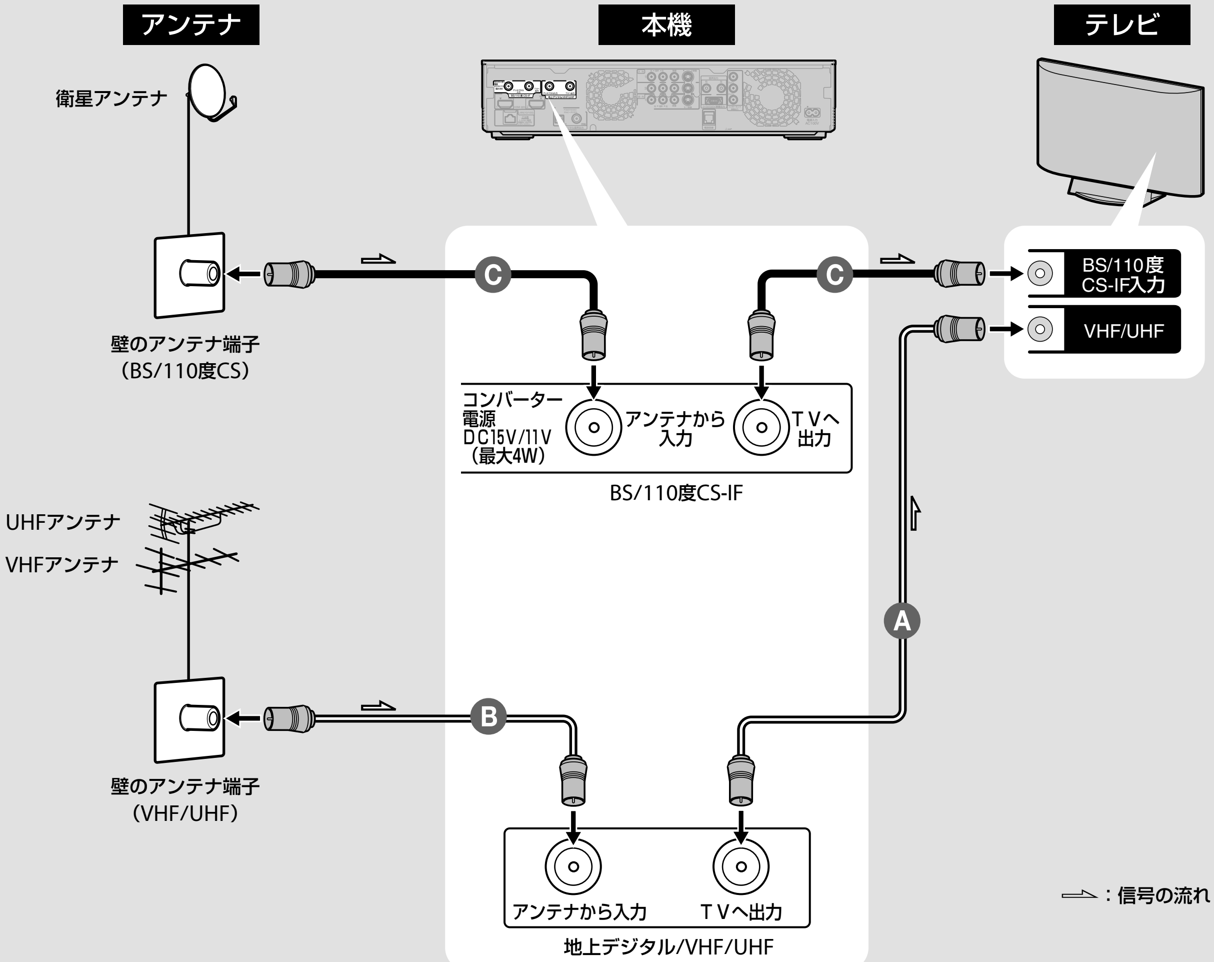
Ⓑアンテナケーブル(1本)
Ⓒ衛星用同軸ケーブル(室内用)(3本)
ⒹBS/CS、U/V混合分波器(1個)

ご注意

- アンテナの接続状況によっては、[放送受信設定]で[BS/CSデジタルアンテナ電源]を[自動]に設定してください(「操作編」の「本機の設定を変更する」)。
- [BS/CSデジタルアンテナ電源]を[自動]に設定した場合、Ⓓの分波器は「通電タイプ」を使用してください。
- 混合アンテナ端子と分配器をつなぐと映像が乱れることがあります。必ず分波器を使用してください。
- 110度CSデジタル放送に共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。対応していない場合もBSデジタル放送は受信できます。詳しくは、お買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

地上アナログ放送／地上デジタル放送と衛星放送の信号が個別の場合

アンテナから本機のアンテナ入力へ、本機のアンテナ出力からテレビ（入力）につなぎます。



付属

Ⓐアンテナケーブル（1本）

別売り

Ⓑアンテナケーブル（1本）

Ⓒ衛星用同軸ケーブル（室内用）（2本）

ご注意

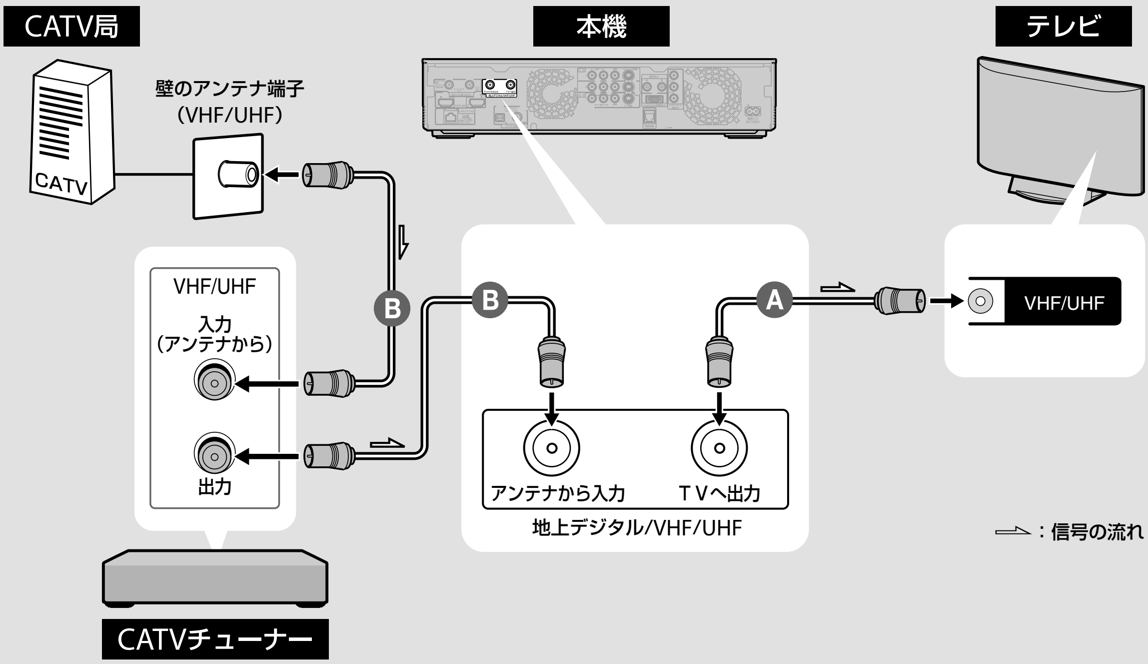
- テレビなどでBSアンテナに電源を供給しているときは、［放送受信設定］で［BS/CSデジタルアンテナ電源］を［自動］に設定し（「操作編」の「本機の設定を変更する」）、テレビのコンバーター用電源も「入」にしてください。
- 110度CSデジタル放送に衛星アンテナや分配器、ブースター（増幅器）、および、共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタル放送を受信できます。詳しくは、お買い上げ店、マンション管理会社にお問い合わせください。

次のページにつづく⇨

CATV（ケーブルテレビ）を利用している場合

ご契約のCATV局がパススルー方式*の場合

CATVチューナーやセットトップボックスなどのアンテナ出力から本機のアンテナ入力に、本機のアンテナ出力からテレビ（入力）につなぎます。BS/CSアンテナを設置している場合は、17ページをご覧ください。



* パススルー方式とはケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を、変調方式を変更せずに、ケーブルテレビへ再送信するものです。本機は、同一周波数パススルーおよび周波数変換パススルーすべての周波数に対応しています。ご契約のCATV局がパススルー方式の場合は、本機の地上デジタルチューナーを利用して、HDDやBDにハイビジョン画質での録画ができます。（分波器が必要となる場合があります。）**一部の放送やチャンネルがパススルーに対応していない場合もあります**ので、ご契約のCATV局にお問い合わせください。

付属

Ⓐアンテナケーブル（1本）

別売り

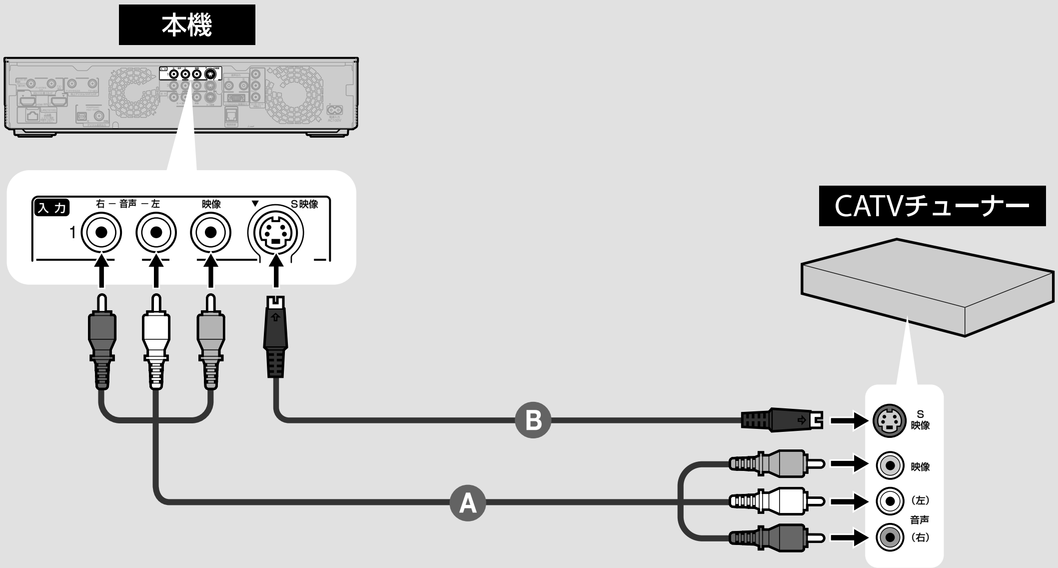
Ⓑアンテナケーブル（2本）

ご注意

- CATV局の提供するサービス、接続状況によっては動作しないことがあります。詳しくはご契約されているCATV局にお問い合わせください。
- 本機前面のi.LINK端子はHDV1080i/DVの入力専用端子です。ご利用のチューナーにデジタル出力用のi.LINK端子がある場合でも、本機のi.LINK端子とつないでデジタル放送を録画することはできません。（BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-L55/BDZ-A950/BDZ-A750のみ）
- CATV局と有料契約しているチャンネルなどを視聴または録画したいときは、CATVチューナーの音声・映像出力端子と本機の音声・映像入力端子をつないでください。詳しくは19ページをご覧ください。

ご契約のCATV局がパススルー方式でない場合（トランスモジュレーション方式[*1]）

CATVチューナーやセットトップボックスなどの映像／音声出力端子と本機の映像／音声入力端子をつなぎます。



付属

Ⓐ映像／音声ケーブル（1本）

別売り

ⒷS映像ケーブル[*2]（1本）

*1 トランスモジュレーション方式とはケーブルテレビ事業者側で受信した地上デジタル放送を、変調方式を変更して、ケーブルテレビへ再送信する方式です。放送が変調されているため、放送を受信するためには、専用のチューナーが必要になります。

*2 S映像ケーブルを使うときは、映像ケーブル（黄）をはずしてください。

CATVの映像を録画するには

CATVチューナーで、録画したいチャンネルを選びます。本機リモコンの入力切換ボタンを押して、つないでいる端子に合わせて本機表示窓に「LINE1」（BDZ-A950/BDZ-A750は「LINE」）または「LINE2」（BDZ-A950/BDZ-A750を除く）、「LINE3」（BDZ-X100/BDZ-X95のみ）を表示させせます。録画方法について詳しくは、「操作編」の「録画・予約する」の「外部チューナーの映像を録画／録画予約する」をご覧ください。

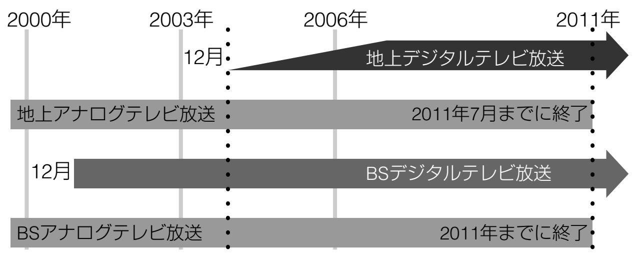
ご注意

パススルー方式でつながない場合、本機は525i（480i）の標準テレビ放送信号で映像が入力されます。このためハイビジョン放送でもハイビジョン画質で録画されません。

次のページにつづく⇨

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上デジタルテレビ放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の都道府県の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。この放送のデジタル化に伴い、地上アナログテレビ放送は2011年7月までに、BSアナログテレビ放送は2011年までに終了することが、国の法令によって定められています。



きれいな映像をお楽しみいただくために

次のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面の地上デジタル/VHF/UHF端子への接続は、VHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。

すでにBSアナログをご覧いただいているときは

お使いの衛星アンテナの向きを変えることなく、そのままBSデジタルもBSアナログもそれぞれに対応したBSチューナーで受信できます。ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。

デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示にしたがって、接続（16ページ）を行ってください。

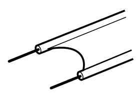
* スカパー！（124/128度CSデジタル放送）のことです。110度CSデジタル放送ではありません。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機とアンテナの間につないでください。
- BS/110度CSデジタル放送の受信電波が弱くノイズが出るときは、市販のBS/CSブースターを本機と壁のVHF/UHF/BS/110度CS-IF端子の間につないでください。
- マンションなどの共同受信システムで、BS/110度CSデジタル放送のアンテナレベルが低いときは、BS/CSブースターをつなぐなど、信号の流れを見直す必要があります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に確認してください。

ご注意

- 画像の乱れを防ぐため、本機の上にテレビを直接置かないでください。
- 画像の乱れを防ぐため、アンテナ線はなるべく短くし、本機から離してお使いください。特にフィーダー線は同軸ケーブルに比べて雑音電波などの影響を受けやすいため、本機からできる限り離してください。
- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

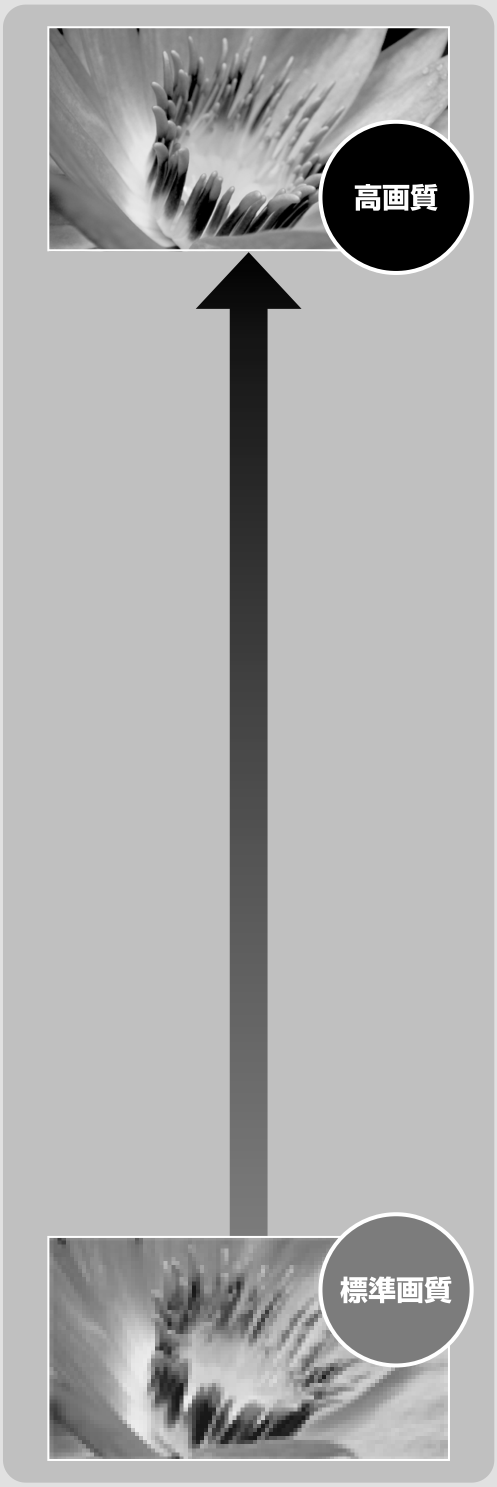


フィーダー線

- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、うまく映らなかったり、画面が乱れたりするときは、お買い上げ店などにご相談ください。
- お住まいの地域や電波の状態によっては、地上デジタル放送を受信できない場合があります。
- 共同受信システムで地上デジタル放送が受信できない場合、マンション管理会社に確認してください。
- 次のようなときはBS/110度CSデジタル放送を受信できなかったり、受信状態が悪かったりしますが、故障ではありません。
  - お住まいの地域またはBS/110度CSデジタル放送を送信する放送衛星会社（69ページ）のある地域が雷雨、強風などの悪天候のとき
  - BS/110度CSアンテナにゴミや雪が付着しているとき
  - 強風などでアンテナの向きが変わったとき（「放送受信設定」の「BS/CSデジタルアンテナレベル」を確認してBS/110度CSアンテナの向きを調整してください（「操作編」の「本機の設定を変更する」）。）
- 本書記載の別売りアクセサリーは、2009年3月現在のものです。万一、品切れや生産完了の際はご容赦ください。

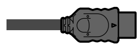
[準備3]テレビをつなぐ

テレビにある映像端子と音声端子に応じて、以下のいずれかのケーブルでつないでください。



別売り

Ⓐ HDMIケーブル:ハイスピードタイプ(Ver1.3a,カテゴリー 2)*(1本)

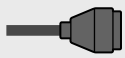


ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴが入っているものをお使いください。
- HDMIケーブルでつないだ場合は、[映像設定]の[出力映像解像度設定]を[HDMI解像度優先]に設定してください(「操作編」の「本機の設定を変更する」)。
- BDZ-X100/BDZ-X95のみ、HDMIケーブルを2系統接続できます。1系統でつなぐ際は、HDMI出力切換ボタンが正しく設定されているか確認してください(24ページ)。

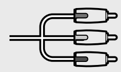
別売り

Ⓑ D映像ケーブル*（1本）



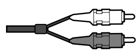
または

Ⓓ コンポーネント映像ケーブル*（1本）



(BDZ-X100/BDZ-X95のみ)

Ⓒ 音声ケーブル(1本)



ご注意

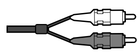
D映像ケーブルでつないだ場合は、[映像設定]の[出力映像解像度設定]を[D1/2/3/4設定優先]に設定してください(「操作編」の「本機の設定を変更する」)。
D1: 525i（480i）、D2: 525p（480p）、D3: 1125i（1080i）、D4: 750p（720p）

別売り

Ⓔ S映像ケーブル*（1本）

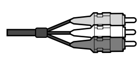


Ⓒ 音声ケーブル(1本)



付属

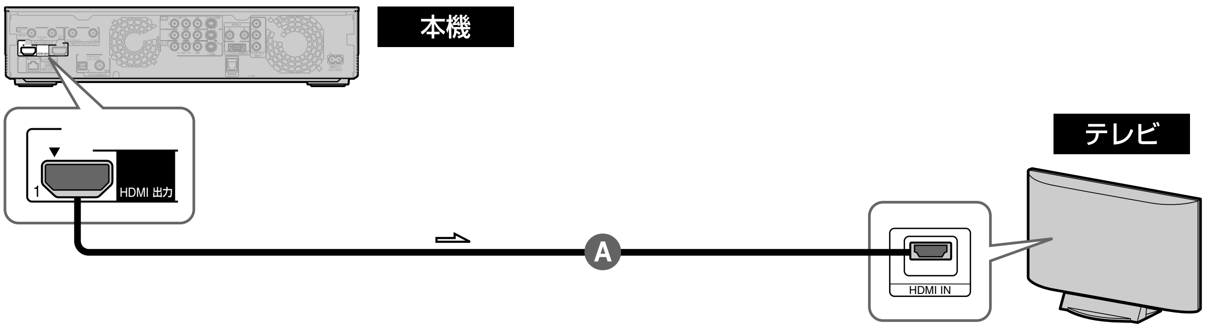
Ⓕ 映像／音声ケーブル*（1本）

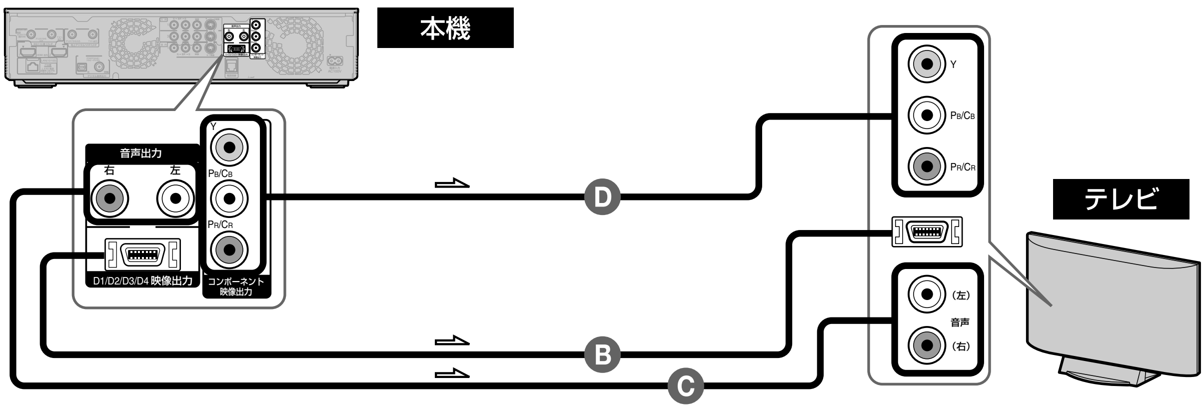


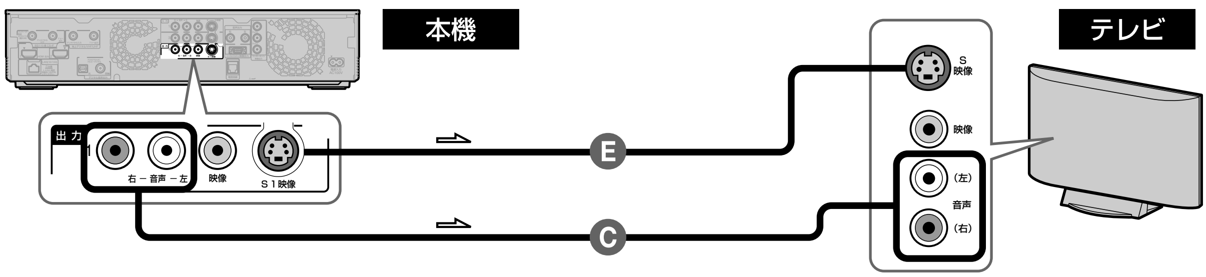
ご注意

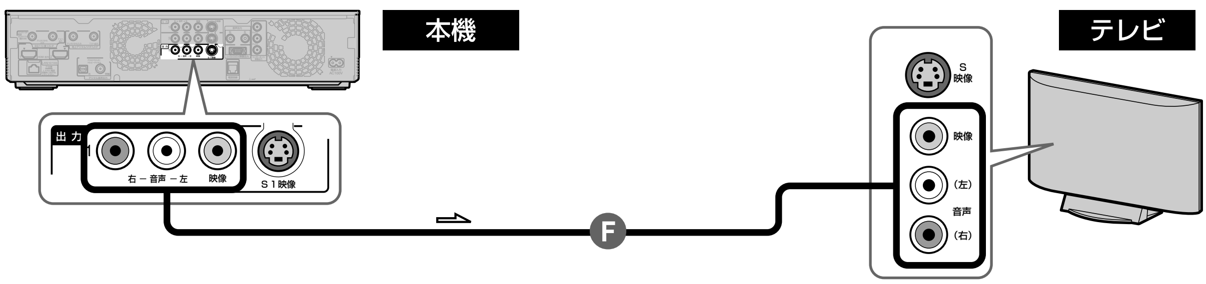
S映像ケーブルを使うときは、映像ケーブル(黄)をはずしてください。

* 本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、D映像出力端子からの出力信号を選びます。テレビに映像が映らない場合は、本機前面のD1/D2/D3/D4切換ボタンを押して、[D1]に切り換えてください。D映像出力端子からの出力信号は、D1/D2/D3/D4切換ボタンを押したときに、本機前面の表示窓で確認できます。







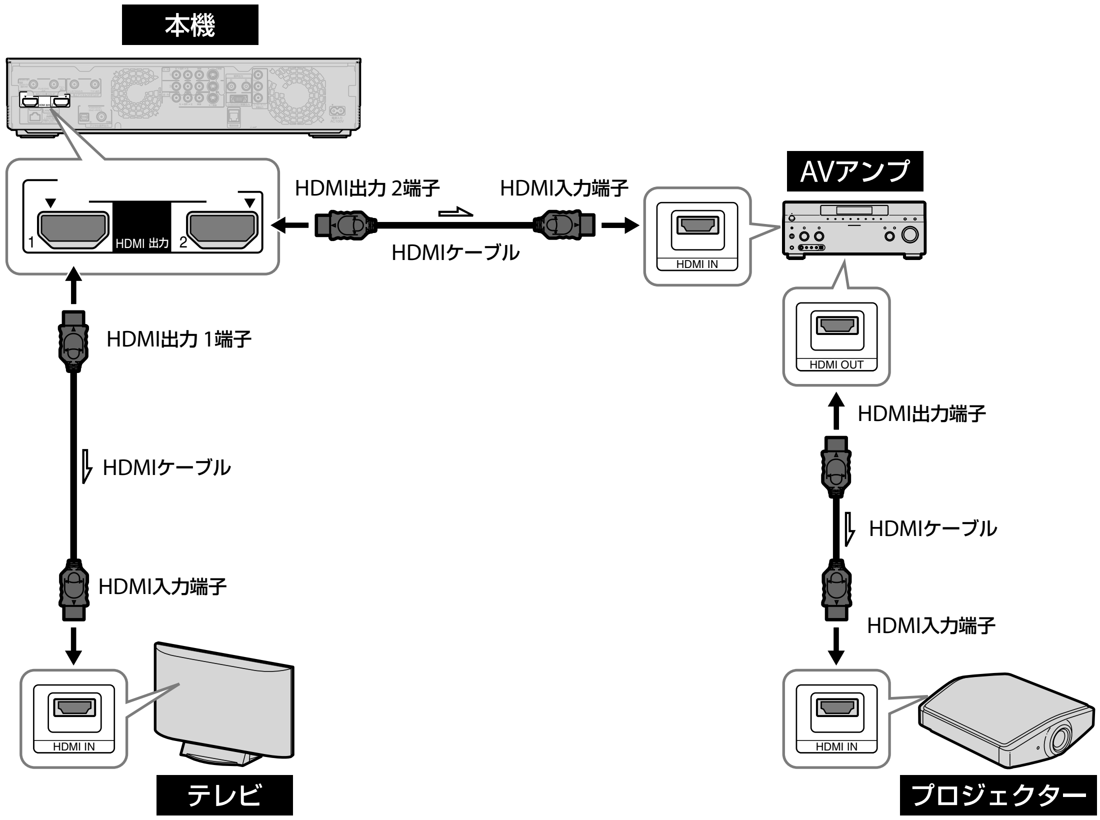


⇀：映像・音声信号の流れ

次のページにつづく⇨

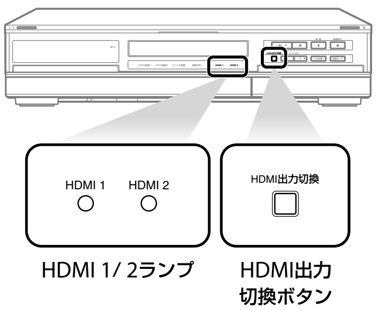
2台のテレビやプロジェクターをHDMIケーブルでつなぐ(BDZ-X100/BDZ-X95のみ)

本機に2台のテレビやプロジェクターなどをつなぎ、用途に応じて切り換えて使用できます。



HDMI出力切換ボタンについて

本機前面のHDMI出力切換ボタンを押して、出力するHDMI出力端子を切り換えてください。
出力中の端子に対応して、本機前面のHDMI 1/2ランプが点灯します。



ちょっと一言

- 下記はHDMI出力 1/2端子に共通の設定です。それぞれの設定について詳しくは、「操作編」の「本機の設定を変更する」をご覧ください。
  - [映像設定]の[出力映像解像度設定]、[HDMI解像度]、[BD-ROM 1125(1080)/24p出力]、[HDMI映像出力フォーマット]、[HDMI Deep Color出力]、[x.v.Color情報出力]
  - [音声設定]の[HDMI音声出力]、[BD-ROM HD音声出力]
  - [本体設定]の[HDMI機器制御]、[HDMI機器制御 高速連動]
- [画音設定]中の[画質設定] - [画質モード]、[音声設定] - [画音同期調整]は、HDMI出力 1/2端子のそれぞれに個別に設定できます。「操作編」の「再生の画質や音質を調整する」をご覧ください。

ご注意

- 同時に2つのHDMI端子には出力できません。
- 以下の場合、HDMI出力 1/2の切換ができません。再生を停止してから切換えて下さい。
  - BD-ROMを1080/24p(24p True Cinema)で再生しているとき
  - x-Pict Story HDを再生しているとき
  - x-ScrapBookを再生しているとき
  - 写真を表示したり、スライドショーを再生しているとき
- DVI機器への接続は保障いたしません。
- HDMI機器制御は、出力中の端子にのみ有効です。

[準備4]その他の機器をつなぐ

AVアンプやビデオデッキ、チューナーなどの外部機器を映像／音声端子につなげます。
その他の機器を本機につなぐ方のみご覧ください。

AVアンプをつなぐ

再生したい音声の種類により、AVアンプの種類や必要なケーブルが異なります。次の中から再生したい音声に必要なアンプとケーブルを確認してください。

音声フォーマットについて

再生するBDやDVDが対応しているかについては、BDやDVDのパッケージの裏側で確認できます。



ドルビーデジタル、DTSまたは AACデコーダー付きアンプに光デジタル接続ケーブルでつないでいる場合は、本機の[音声設定]の[ドルビーデジタル]、[DTS]、または[AAC]の設定を変更してください(「操作編」の「本機の設定を変更する」)。

Dolby、ドルビー、Pro Logic、「AAC」ロゴおよびダブルD記号 DD は、ドルビーラボラトリーズの商標です。DTSは登録商標です。DTSロゴおよび記号はDTS,Inc.の商標です。

マルチチャンネル音声でBDやDVDを楽しみたい

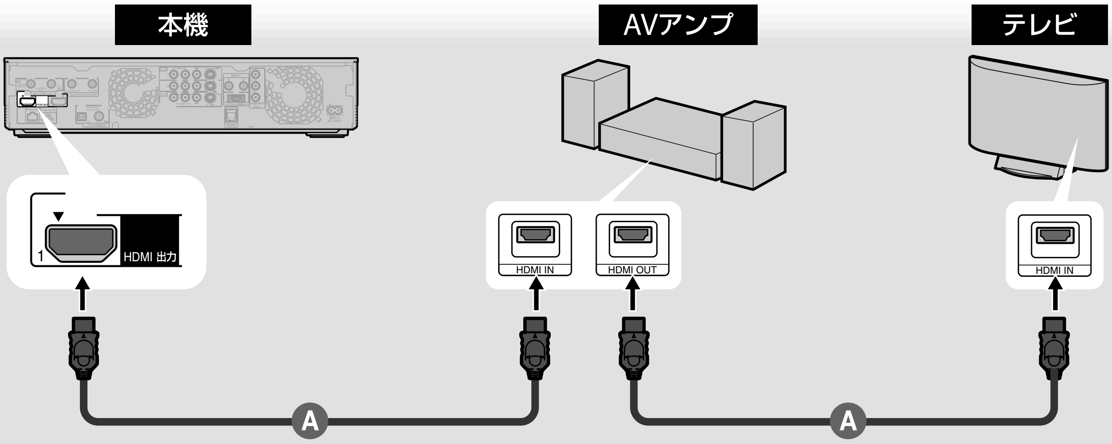
音声の種類	必要なアンプ	接続で使うケーブル接続図
DOLBY TRUEHD	Dolby TrueHDに対応したアンプ	**HDMIケーブル：ハイスピードタイプ（Ver1.3a,カテゴリー 2）** 26ページ
DOLBY DIGITAL PLUS	Dolby Digital Plusに対応したアンプ	
dts-HD Master Audio	DTS HD Master Audioに対応したアンプ	
dts-HD High Resolution Audio	DTS HD High Resolutionに対応したアンプ	
リニアPCM	リニアPCMに対応したアンプ	
DOLBY DIGITAL	Dolby Digitalに対応したアンプ	**HDMIケーブル** 26ページ／**光デジタル接続ケーブル** 26ページ／**同軸デジタルケーブル** 27ページ
dts Digital Surround	DTSに対応したアンプ	
AAC	AACに対応したアンプ	

ステレオ音声でBDやDVDを楽しみたい

音声の種類	必要なアンプ	接続で使うケーブル接続図
ステレオ音声	ステレオ音声に対応したアンプ	**音声ケーブル** 27ページ

次のページにつづく⇨

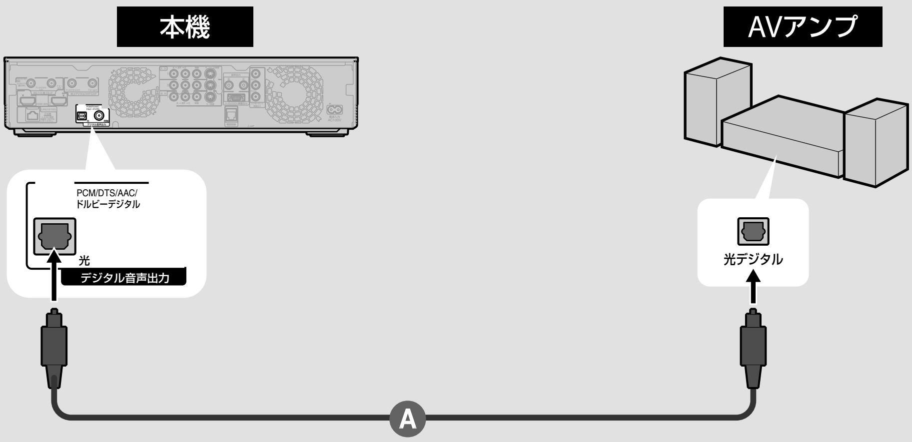
HDMIケーブルでつなぐ



別売り
Ⓐ HDMIケーブル*（2本）

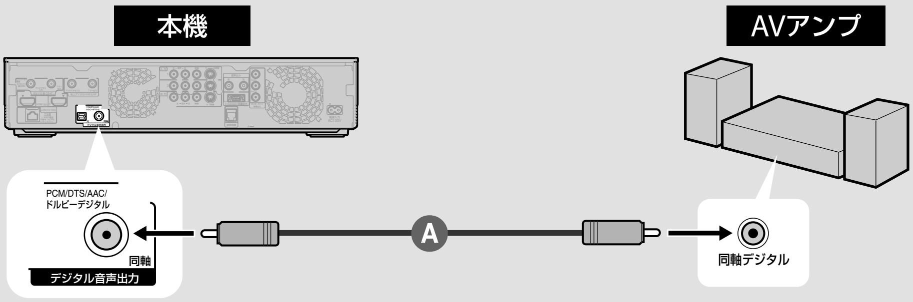
* 本機とアンプをHDMIケーブルでつないだ場合は、アンプとテレビをHDMIケーブルでつなぎます。テレビにHDMI入力端子がない場合は、別の映像ケーブルで本機とテレビを直接つなぎます（22ページ）。

光デジタル接続ケーブルでつなぐ



別売り
Ⓐ 光デジタル接続ケーブル（1本）

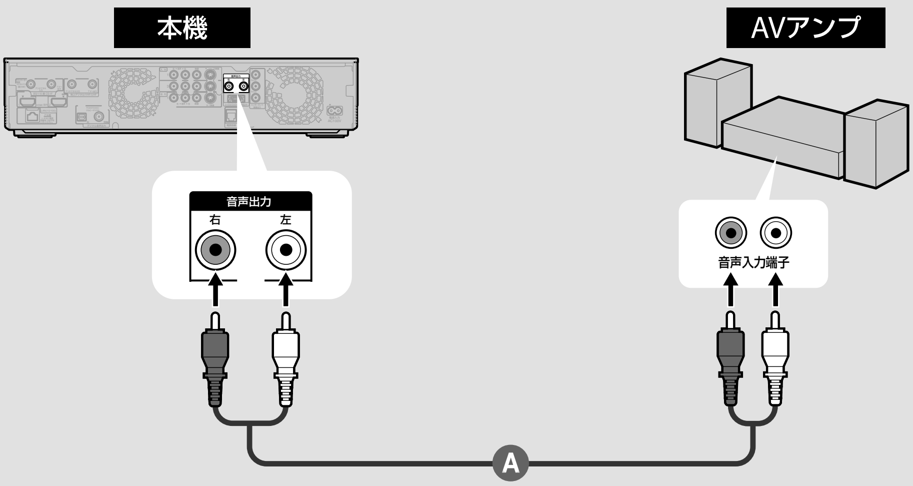
同軸デジタルケーブルでつなぐ（BDZ-X100/BDZ-X95のみ）



別売り

A 同軸デジタルケーブル（1本）

音声ケーブルでつなぐ



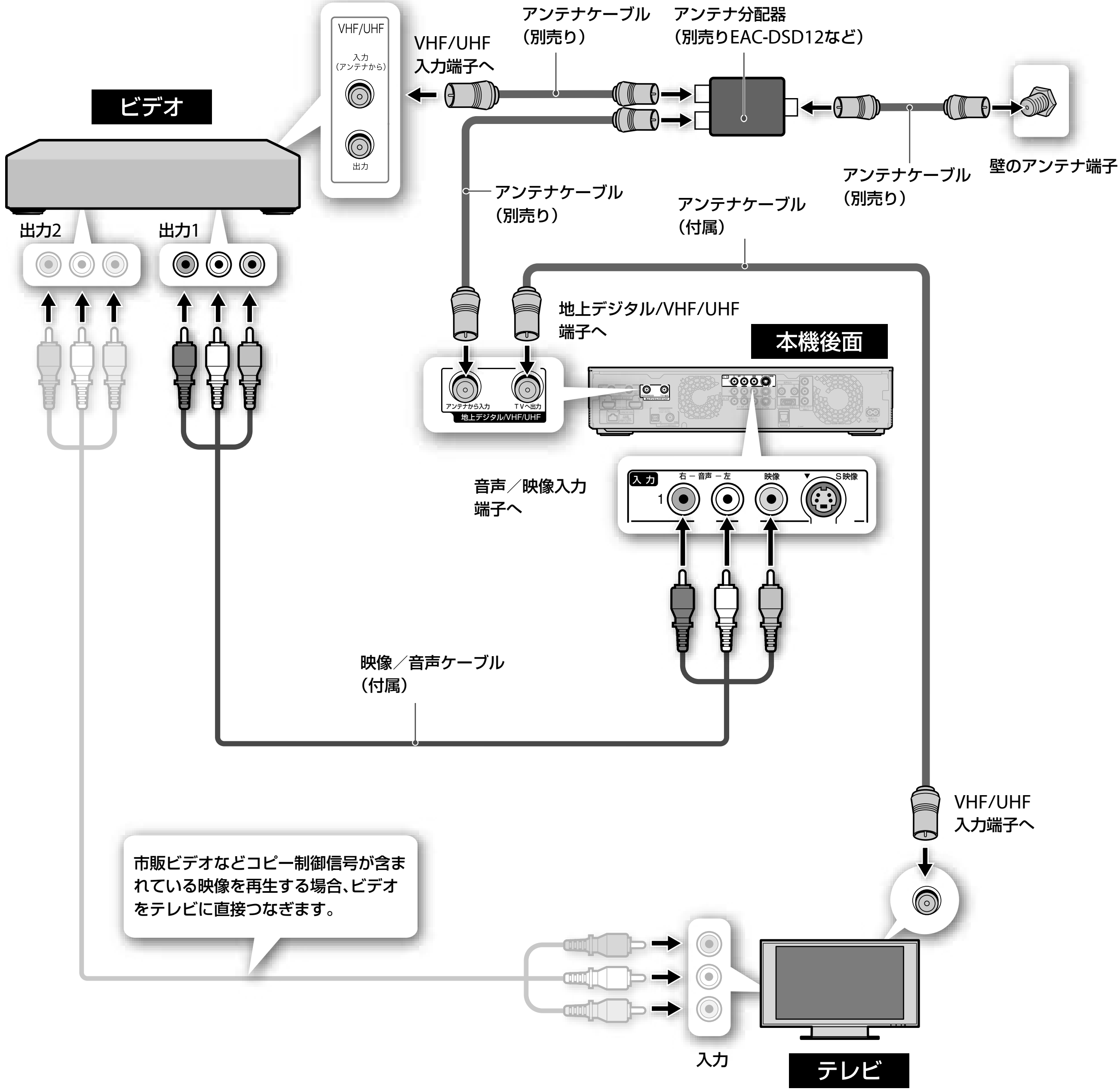
別売り

A 音声ケーブル（1本）

次のページにつづく⇨

ビデオデッキをつなぐ

ビデオデッキをつなぐと、ビデオテープをBDにダビングすることができます。



ビデオデッキの映像を録画するには

本機リモコンの入力切換ボタンを押して、つないでいる端子に合わせて本機表示窓に「LINE1」（BDZ-A950/BDZ-A750は「LINE」）または「LINE2」（BDZ-A950/BDZ-A750を除く）、「LINE3」（BDZ-X100/BDZ-X95のみ）を表示します。

詳しくは「操作編」の「ビデオデッキやビデオカメラの映像を録画する」をご覧ください。

ちょっと一言

- 電波が弱く画面にチラつきや斜めじまが入るときは、別売りのアンテナブースターを本機とアンテナの間につないでください。
- 本機とテレビの接続方法については、22 ～ 24ページをご覧ください。
- 他機の出力がモノラルの場合は、本機前面の入力２の音声（左）端子につないでください（BDZ-X100/BDZ-X95のみ）。
- ビデオテープをBDにダビングする場合、HDDに一度録画してBDにダビングすることで、編集や録画モードを変更したものをくり返しダビングできます。

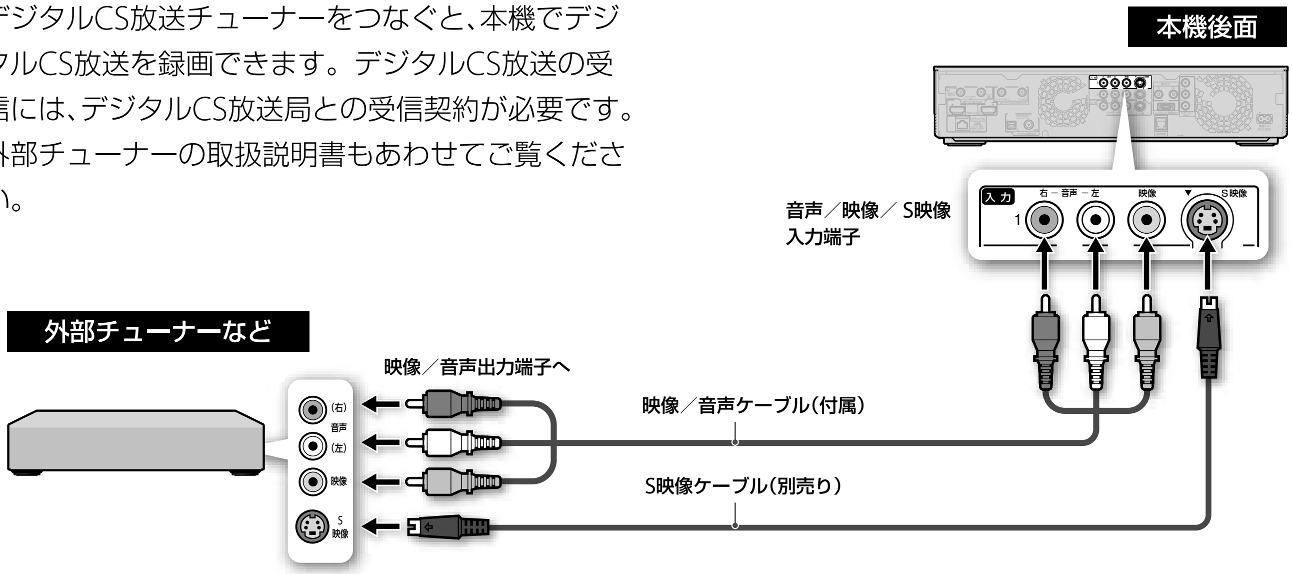
ご注意

- 他の機器（ビデオなど）をつなぐ場合は、アンテナ分配器（別売り）をお使いください。
- ビデオデッキなどの映像記録機器を経由してつなぐと、メニュー画面や映像が乱れることがあります。



チューナーをつなぐ

外部チューナーなどを本機の音声/映像入力端子につなぎます。
デジタルCS放送チューナーをつなぐと、本機でデジタルCS放送を録画できます。デジタルCS放送の受信には、デジタルCS放送局との受信契約が必要です。
外部チューナーの取扱説明書もあわせてご覧ください。



S映像ケーブルを使うときは

映像ケーブル（黄）をはずしてください。
次の設定を変更してください。

1 ホーム を押し、←→で 🧰 を選ぶ。

2 ↑↓で［映像設定］を選び、決定 を押す。

3 ［映像入力1］ *1または［映像入力2］ *2、［映像入力3］ *3からつないでいる端子を選び、［S映像］にする。

*1 BDZ-A950/BDZ-A750は［映像入力］
*2 BDZ-L95/BDZ-L55/BDZ-T75/BDZ-T55のみ
*3 BDZ-X100/BDZ-X95のみ

外部チューナーの映像を録画するには

外部チューナーで録画したいチャンネルを選びます。
本機リモコンの入力切換ボタンを押して、つないでいる端子に合わせて本機表示窓に「LINE1」（BDZ-A950/BDZ-A750は「LINE」）または「LINE2」（BDZ-A950/BDZ-A750を除く）、「LINE3」（BDZ-X100/BDZ-X95のみ）を表示させます。
録画方法について詳しくは、「操作編」の「録画・予約する」の「外部チューナーの映像を録画／録画予約する」をご覧ください。

本機は録画防止機能（コピーガード）に対応しています

番組によっては、録画できないことがあります。外部チューナーを本機につないで番組を視聴する場合、番組によっては映像が乱れることがあります。この場合、外部チューナーを直接テレビにつないでください。

ちょっと一言

本機前面の入力2 S映像端子につないだ場合は、S映像入力を自動的に判別するため、［映像設定］の変更は不要です。（BDZ-X100/BDZ-X95のみ）

ご注意

- 本機に外部チューナーをつなぐ場合、アナログ接続のみです。ご利用の外部チューナーにデジタル出力用のi.LINK端子がある場合でも、本機のi.LINK端子とつないでデジタル放送を録画することはできません。
- 外部入力から録画する場合、「1回だけ録画可能」の番組は、BDには録画できません。

[準備5]電話回線／ネットワークにつなぐ

本機のデータ放送の一部サービス(アンケートなどの双方向通信)を利用するには、電話回線への接続が必要になります。
またネットワーク接続を行うと、アクトビラのネットサービスを利用したり(BDZ-A950/BDZ-A750のみ)、本機の映像(タイトル)を他機器で再生したり(BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-T75/BDZ-A950/BDZ-A750のみ)、携帯電話で録画予約できるようになるなど、より多くの機能が利用できるようになります。
本機を電話回線／ネットワークにつなぐ方のみご覧ください。

目的

データ放送を見ているときに、放送局と通信したい。*1

必要な準備

1 電話回線をつなぐ(31ページ)。

2 電話回線の設定を行う。
➡「電話回線設定」(「操作編」の「本機の設定を変更する」)

目的

- アクトビラを楽しみたい(BDZ-A950/BDZ-A750のみ)。
- インターネット経由で、放送局から配信されるデータ放送のコンテンツを楽しみたい。
- 放送局との双方向によるサービスを楽しみたい。
- リモート録画予約を行いたい。
- ホームネットワークを利用して、本機の映像(タイトル)を他機器で再生したい(BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-T75/BDZ-A950/BDZ-A750のみ)。
- BD-Live(BDライブ)を楽しみたい。

必要な準備

1 ネットワーク接続を行う(32ページ)。*2

2 ネットワークに接続するための設定をする。
➡「ネットワーク設定」(「操作編」の「本機の設定を変更する」)

3 データ放送のコンテンツを楽しむ場合は、データ放送への接続方法を設定する。
➡「データ放送通信設定」(「操作編」の「本機の設定を変更する」)

*2 「アクトビラ」のご利用には、FTTH(光)等のブロードバンド接続環境が必要です(BDZ-A950/BDZ-A750のみ)。

*1 通信中は、本体表示窓の通信表示が点滅します(74ページ)。

ちょっと一言

- 本機が放送局と購入情報などを送受信しているときは、本体表示窓の通信表示(74ページ)が点滅し、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。この場合は、モジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの自動転換機TL-P20C(スタンダードモデル)をお使いください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器TL-P21(高速通信対応モデル)をお使いください。
- BS/110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。

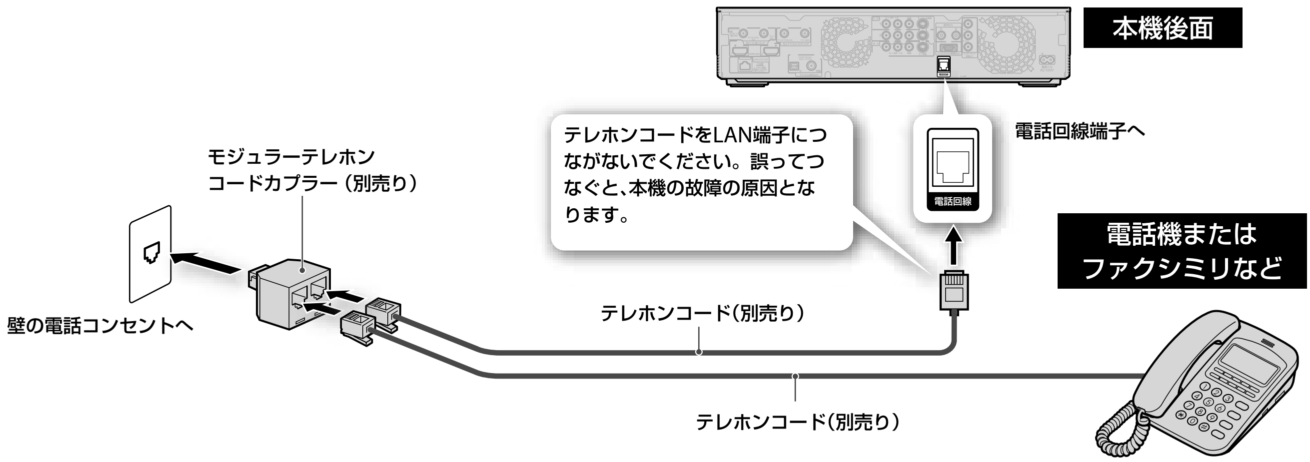
ご注意

- 次の電話回線にはつなげません。
  - 公衆電話および共同電話、地域集合電話
  - 携帯電話およびPHS、自動車電話
  - 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき
  - IP電話
- ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。電話回線の使用料、回線接続料がかかります。
- LAN端子に電話回線をつながないでください。誤ってつなぐと、本機の故障の原因となります。
- この接続を使って、放送局などのサーバーからインターネット経由でデータ放送のコンテンツ*3やアクトビラ(BDZ-A950/BDZ-A750のみ)を楽しむためには、別途プロバイダー*4との契約が必要です。

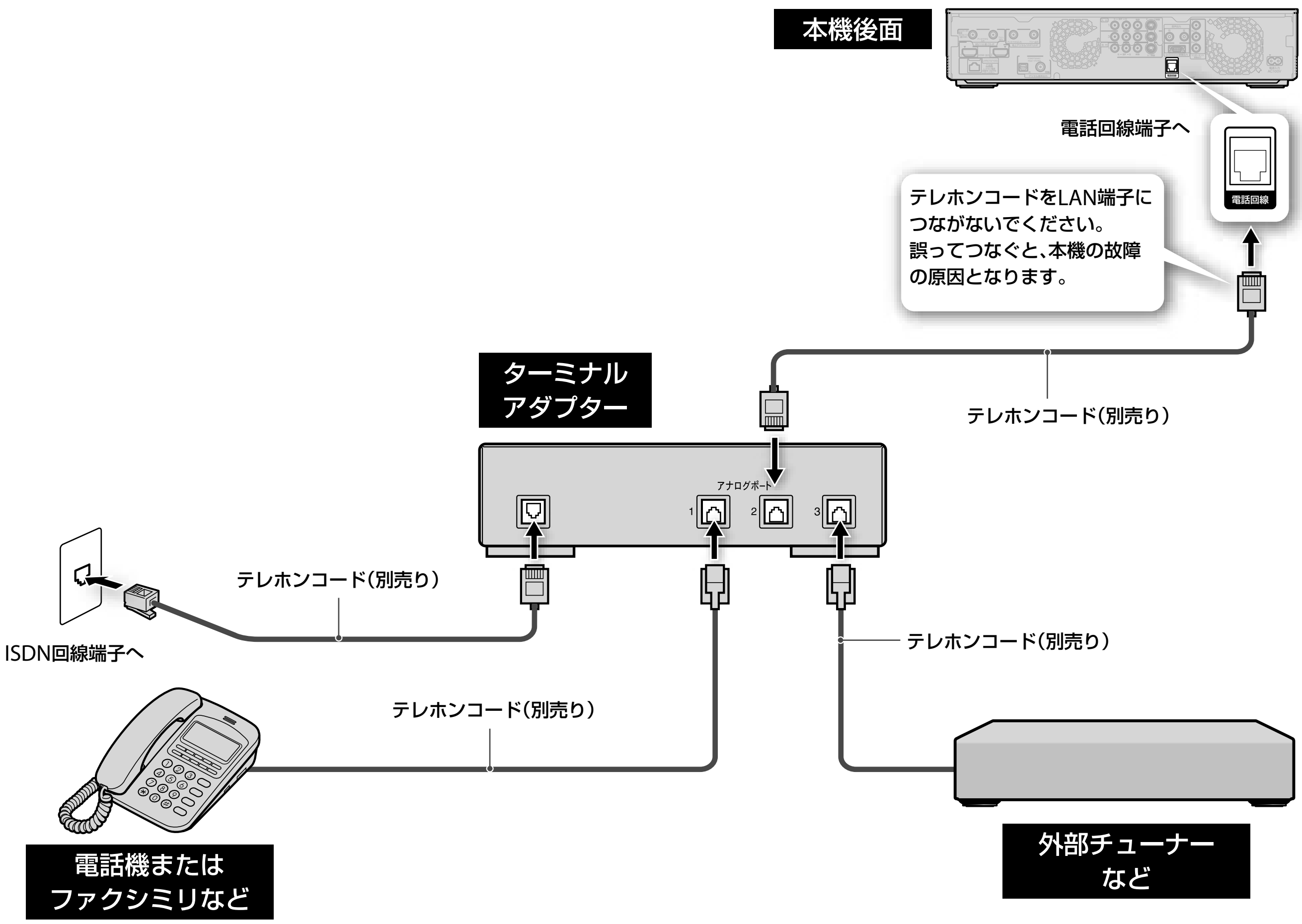
*3 地上デジタル／BSデジタル／110度CSデジタルで運用されています。
*4 インターネットサービスプロバイダー(ISP)とも言います。インターネットへの接続サービスなどを提供する事業者です。

電話回線にのみつなぐ

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき



ISDN回線を使ってつないでいるとき（アナログ接続）



ちょっと一言

ターミナルアダプターにつないだ場合は、 から［通信設定］の［電話回線設定］で［回線］を［トーン］に設定してください（「操作編」の「本機の設定を変更する」）。

ご注意

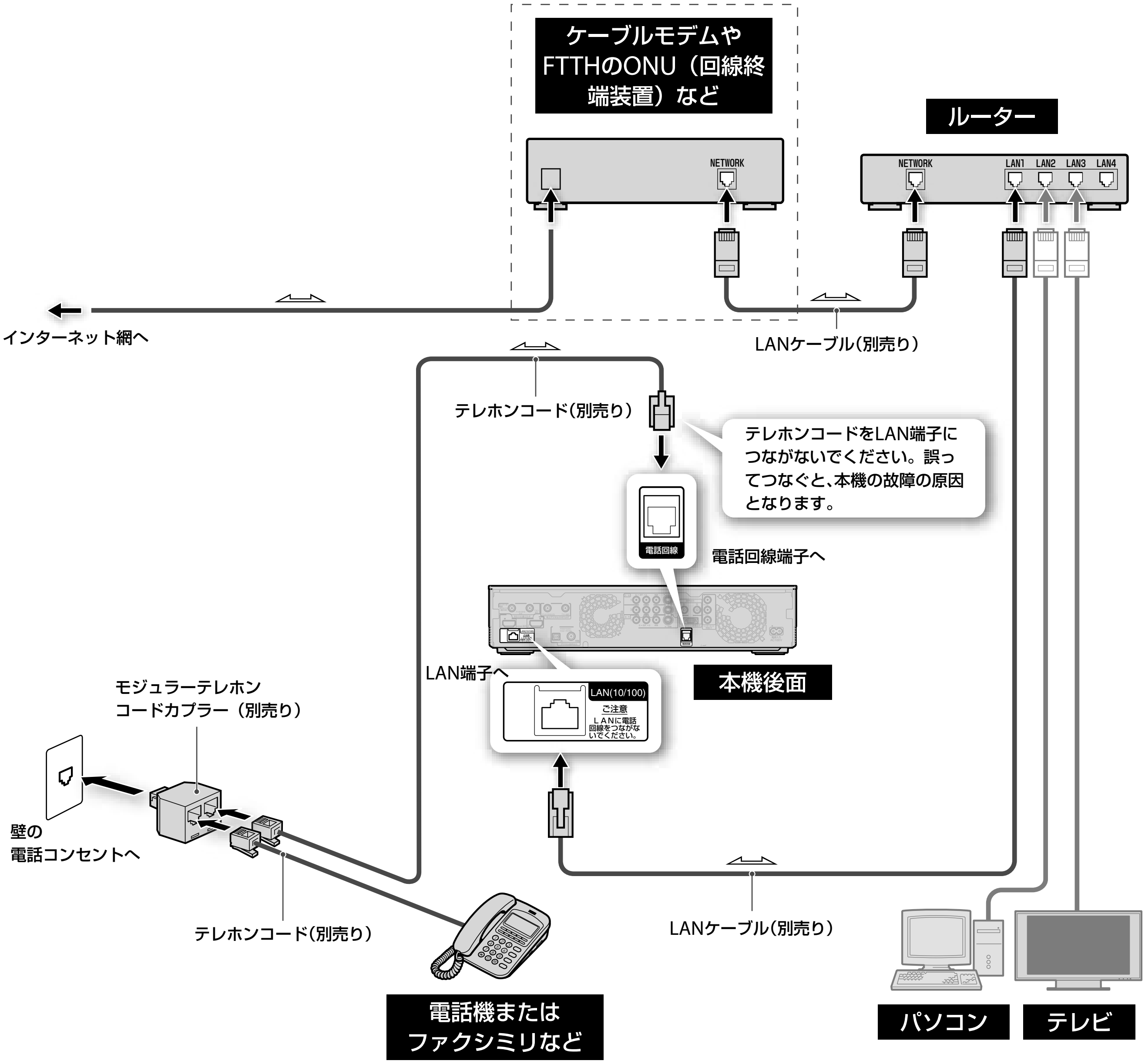
ISDN回線端子にモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。

次のページにつづく⇨

電話回線もネットワークもつなぐ

ケーブルモデムやFTTH（光回線)をつないでいるとき

マンションなどで共同インターネット回線をご使用の場合、ONU（回線終端装置)は必要ありません。LANケーブルや接続のご注意については、33ページをご覧ください。



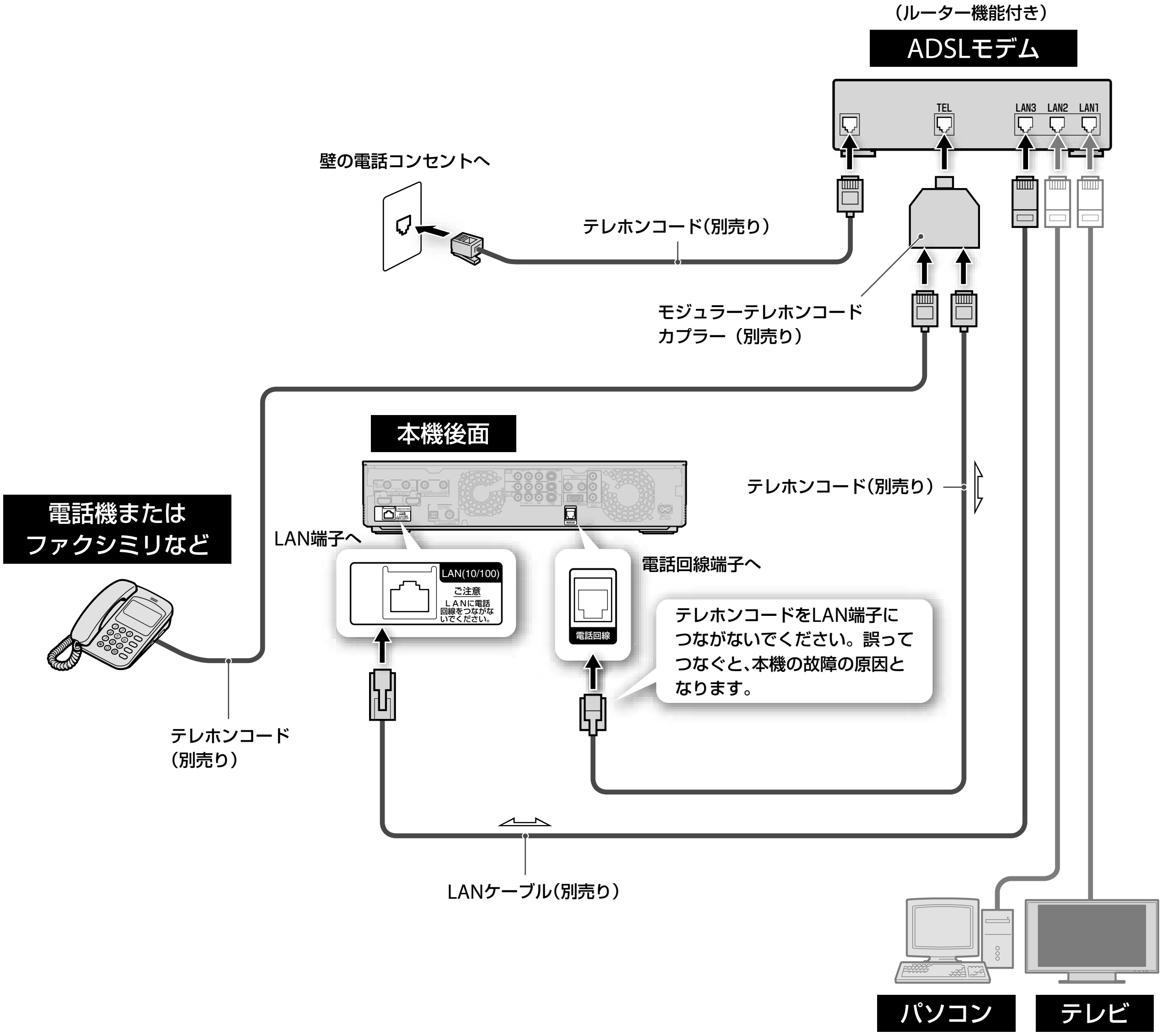
ご注意

- 本機のみをインターネットにつなぐ場合は、本機とケーブルモデムを直接つないでください。
- CATV（ケーブルテレビ)会社によっては、ルーターの接続を許可していない場合があります。
  あらかじめCATV（ケーブルテレビ)会社にご確認ください。

ADSL回線をつないでいるとき

ADSLモデムを使い、インターネットにつなぐ方法です。
ADSLモデムがルーター機能付きの場合は下図を、ADSLモデムがルーター機能付きでない場合は次のページの図をご覧ください。

ADSLモデム(ルーター機能付き)を利用しているとき



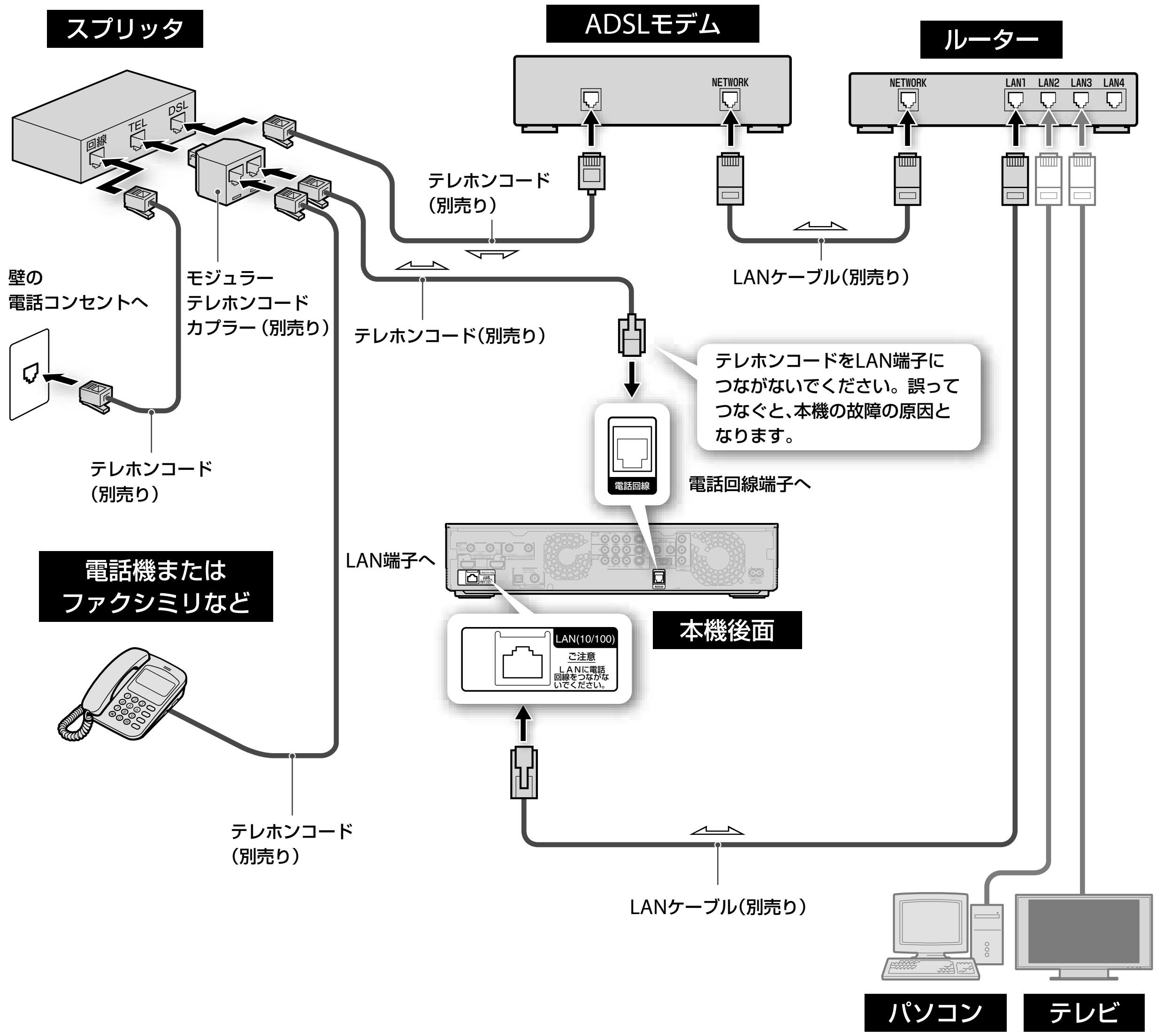
- 接続方法が不明な場合、ご契約先のインターネットサービスプロバイダーへお問い合せください。
- ADSLモデムがルーター機能付きかどうかご不明の場合は、ご契約先のインターネットサービスプロバイダーへお問い合わせください。

ご注意

- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者へご確認ください。
- ご契約のインターネットサービスプロバイダーによっては、PPPoE方式を採用している場合があります。この場合、PPPoE方式に対応したルーターが必要になります。詳しくは、インターネットサービスプロバイダーにご確認ください。
- 本機にはウェブブラウザ機能が搭載されていないため、モデムやルーターなどの設定を本機から行うことはできません。
  モデムやルーターなどの設定にはパソコンなどが必要になりますのでご注意ください。
- リモート録画予約を利用するときは、常時接続となるようルーターを設定してください。常時接続の設定方法はご利用のプロバイダーにお問い合わせください。
- モデムなどに装備されているLAN端子の数がつなぐ端末数より少ない場合は、ハブが必要となります。

次のページにつづく⇨

ADSLモデム（ルーター機能なし）を利用しているとき



ネットワーク（LAN）ケーブルを使うときは

- ネットワーク（LAN）ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-Tタイプのネットワーク（LAN）ケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

［準備6］B-CASカードを入れる

デジタル放送用ICカード（B-CAS（ビーキャス）*カード）は、お客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

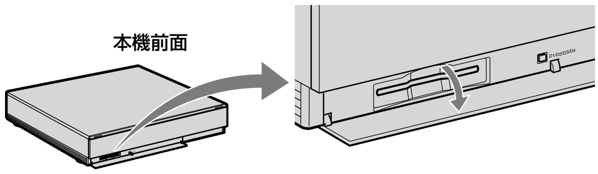
2004年4月より、番組の著作権保護のためデジタル放送は、B-CASカードを挿入していないと、スクランブルがかかって視聴することができません。デジタル放送を視聴するときは、必ず、B-CASカードを挿入してください。

デジタル放送では、このカードを利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。
また、有料番組（「操作編」の「テレビ番組を見る」）を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

* B-CASは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

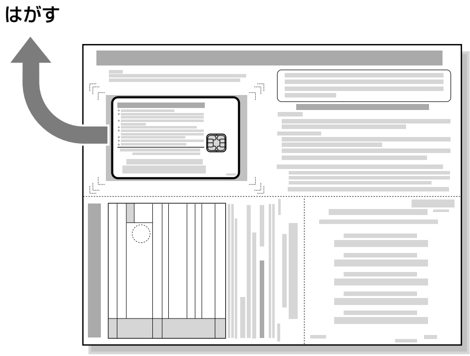
次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 **B-CASカード挿入口のふたを開ける。**

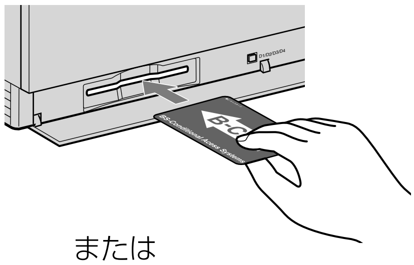


2 **同梱の「B-CASカード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。**

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。



3 **B-CASカードを奥までしっかり挿入する。**



または



B-CASと書かれた面を本機上面側に向けて、印刷された矢印の方向に挿入する。

4 **カード挿入口のふたを閉める。**

ちょっと一言

同梱のB-CAS用ユーザー登録はがき、または台紙に記載されたホームページから、ユーザー登録をすることをおすすめします。（登録は任意で無料です。）

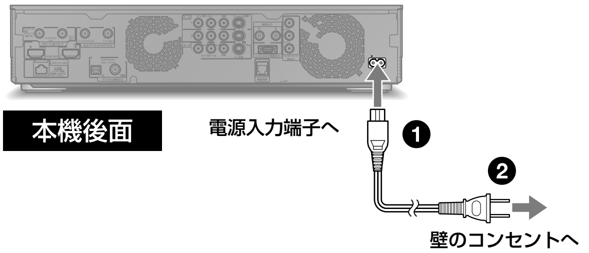
ご注意

B-CASカードを取り出すときは、電源を切ってから取り出してください。

[準備7]電源コードをつなぐ

電源コードは必ず、すべての接続が終わってからつないでください。

付属の電源コードを下図の❶、❷の順につなぎます。電源コードをつなぐと、本機が動作します。動作中に振動や衝撃を与えると、HDDが故障することがあります。必ず❶の接続を先に行い、設置が完了してから❷の接続を行ってください。



電源コードをつなぐと、本機の準備が始まりしばらくすると自動的にスタンバイ状態になります。その間、本体の表示窓は下記のように表示されます。

電源コードをつなぐと

WELCOME

↓

起動中

PLEASE WAIT

↓

スタンバイ状態（時計表示）

X/XX XXXXAM

* Xには数字が表示されます。

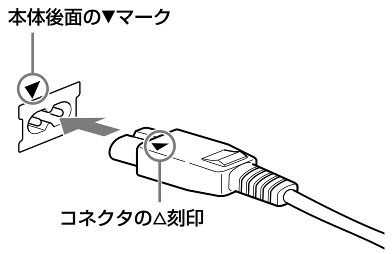
上記のように表示窓に時計表示が点灯したら、本機の電源を入れることができます。
表示窓が点灯しても本機を操作できるまで、しばらく時間がかかることがあります。

電源コードの極性について（BDZ-X100/BDZ-X95のみ）

各機器の電源コードの極性を次のように合わせて接続することで、より良い音質で音声を楽しめます。

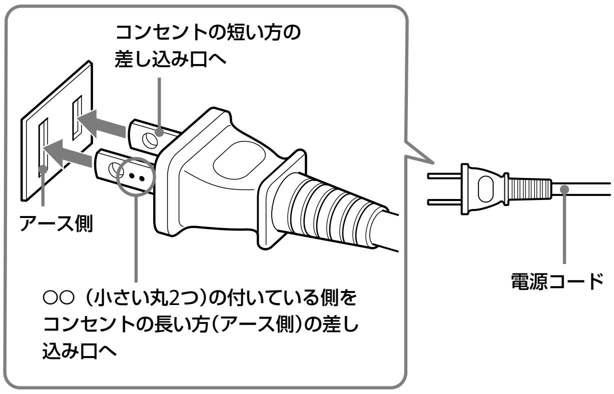
電源入力（AC IN）端子への接続（BDZ-X100/BDZ-X95のみ）

電源コードのコネクタに△マークの刻印があります。この刻印が本体後面の電源入力端子に印刷された▼マークと合う向きで電源コードを接続してください。



コンセントへの接続（BDZ-X100/BDZ-X95のみ）

電源プラグの一方に○○マークの刻印があります。○○が付いている側がコンセントの差し込み口の長い方（アース側）にくるように差し込みます。



ご家庭の電源コンセントによっては、差し込み口の一方が長くなっていないものがありますが、その場合はどちらの向きに差し込んでも問題はありません。

ちょっと一言

（予約する）、（見る）、（番組表）、（ホーム）、開/閉（⏏）、再生（▷）を押した場合にも、本機が起動します。

[準備8]かんたん設定をする

お買い上げ後、はじめて本機の電源を入れると、かんたん設定画面が表示されます。本機を使う前に、次ページからの手順にしたがって、必要な設定を行ってください。

かんたん初期設定で設定する項目

テレビとの接続方法	手順5（38ページ）
テレビへの出力解像度（HDMIまたはD映像出力端子使用時）	手順6、7（39ページ）
テレビの画面サイズ（テレビタイプ）	手順8
4：3または16：9の画面モード	手順9、10（40ページ）
DVDワイド映像表示	手順11
受信放送波の選択	手順12
BRAVIAチャンネル設定連動（対応機器接続時のみ）	手順13
郵便番号／県域／地域番号	手順14（41ページ）
放送受信設定の確認	手順15

かんたん機能設定で設定する項目

機能の詳細については、「操作編」をご覧ください。

お気に入り番組表、x-おまかせ・まる録のジャンル	手順2（43ページ）
おすすめ自動録画	手順3
スカパー！ｅ２おすすめ自動録画	手順4
おでかけ転送機器*	手順5（44ページ）
おでかけ転送 高速転送録画*	手順6
スタンバイモード	手順7
HDMI機器制御（対応機器接続時のみ）	手順8

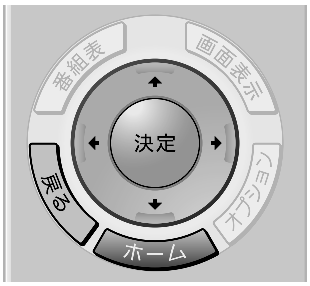
* BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-A950/BDZ-A750のみ



ホームボタン
ホームメニューを表示します。

戻るボタン
ホームメニューや操作画面でひとつ前の画面に戻ります。

↑↓←→、決定ボタン
上下左右に動かして項目を選び、押して決定します。



ちょっと一言

- かんたん設定を正常に終了しないと、電源を入れるたびに、かんたん設定画面が表示されます。
- かんたん設定をやり直すときは、ホーム を押して、（ツールボックス）の［かんたん設定］から、［かんたん初期設定］または［かんたん機能設定］を選んでください。
- 画面上に◀、▶が表示されているときは、←→ボタンで、前の画面／次の画面に移動できます。
- 引越しなどによりお住まいの地域がかわったときやテレビを買い替えたときは、かんたん設定をやり直してください。

ご注意

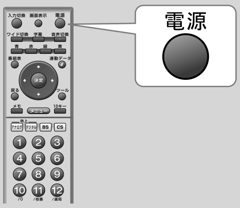
接続状態や設定内容によっては、表示されない画面があります。

次のページにつづく⇨

かんたん初期設定をする

1 テレビの電源を入れる。

テレビのリモコンを使って、電源を入れてください。



2 本機の電源を入れる。

本機のリモコンの（電源）を押し、電源を入れてください。

電源を入れる前に、本機にテレビアンテナがつながれていることを確認してください。

電源を入れると、本体の表示窓は次のように表示されます。

（電源）を押して電源を「入」にすると

WELCOME

↓

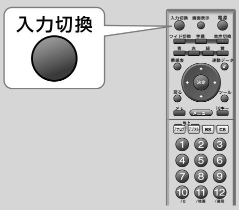
起動中

PLEASE WAIT

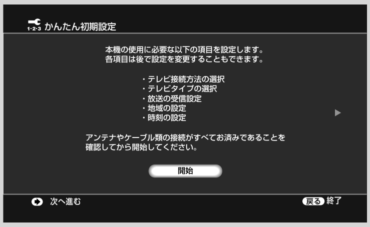
「PLEASE WAIT」は本機が起動するまで表示されます。本機が起動すると、かんたん初期設定開始画面が表示されます。

3 テレビの入力を切り換える。

本機をつないだ入力（「ビデオ1」、「HDMI1」など）に切り換えてください。



4 かんたん初期設定画面で、[開始]を選んで（決定）を押す。



① [開始]を選び、（決定）を押す。

5 テレビ接続方法を設定する。



① ↑↓で、本機とテレビの接続で使用しているケーブルを選び、（決定）を押す。

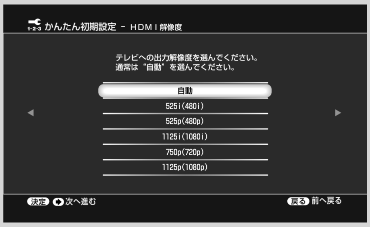
次の手順

[HDMI]を選んだ場合 ➡ 手順6へ
[D映像またはコンポーネント映像]を選んだ場合 ➡ 手順7へ
[映像またはS映像]を選んだ場合 ➡ 手順8へ

ちょっと一言

- 本機の操作については、「操作編」の「かんたん操作ガイド」も合わせてご覧ください。
- 次の画面に進むには、➡を押してください。
- 設定を誤って変更し、元に戻せなくなったら、[設定初期化]の[お買い上げ時の状態に設定]を選び、お買い上げ時の設定に戻します（「操作編」の「本機の設定を変更する」）。その後、かんたん初期設定をやり直してください（41ページ）。

6 HDMI解像度 を設定する。



① ↑↓で、本機の映像をテレビに出力するときの解像度を選び、決定 を押す。

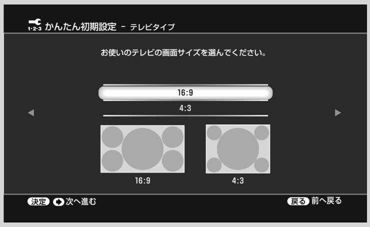
通常は［自動］を選んでください。

［1125p (1080p)］は、BDZ-X100/BDZ-X95のみ表示されます。

次の手順

手順**8**へ

8 テレビタイプ を設定する。



① ↑↓で、お使いのテレビの横縦比を選び、決定 を押す。

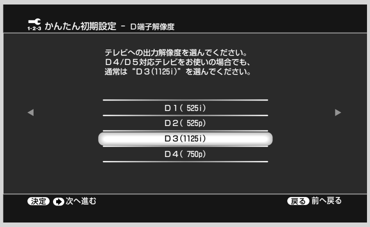
テレビタイプや画面モードの設定について詳しくは、「操作編」の「テレビに表示される画面の横縦比について」をご覧ください。

次の手順

［16：9］を選んだ場合 ➡ 手順**9**へ

［4：3］を選んだ場合 ➡ 手順**10**へ

7 D端子解像度 を設定する。



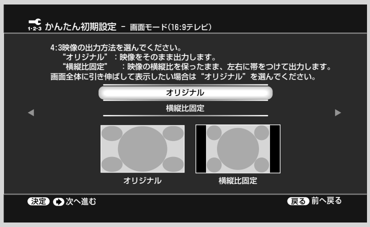
① ↑↓で、本機の映像をテレビに出力するときの解像度を選び、決定 を押す。

通常は［D3（1125i)］を選んでください。

次の手順

手順**8**へ

9 画面モード（16：9テレビ）を設定する。



① お使いの16：9画面のテレビで4：3映像を表示するときの方法を↑↓で選び、決定 を押す。

- **4：3の状態を維持して表示したいとき**
  ［横縦比固定］を選んでください。
- **画面いっぱいに表示したいとき**
  ［オリジナル］を選んでください。

次の手順

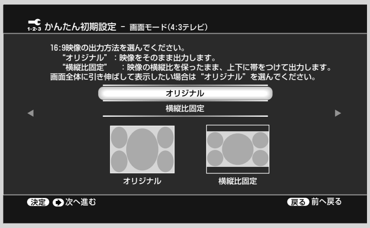
手順**12**へ

ちょっと一言

映像が乱れたときや不自然なとき、お好みに合わないときは、ディスクやお持ちのテレビ／プロジェクターなどに合わせて、手順**6**、**7**で他の設定を試してください。詳しくは、テレビ／プロジェクターなどの取扱説明書もご覧ください。HDMIケーブルでつながれたテレビが表示可能な解像度の中から選ぶことができます。

次のページにつづく⇨

10 画面モード（4：3テレビ）を設定する。



① **お使いの4：3画面のテレビで16：9映像を表示するときの方法を↑↓で選び、決定を押す。**

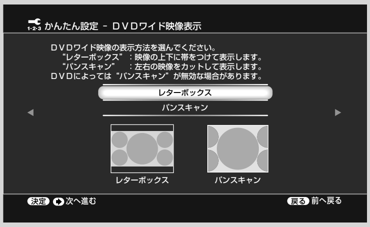
・**16：9の状態を維持して表示したいとき**
[横縦比固定]を選んでください。

・**画面いっぱいに表示したいとき**
[オリジナル]を選んでください。

次の手順

[オリジナル]を選んだ場合→　手順12へ
[横縦比固定]を選んだ場合→　手順11へ

11 DVDワイド映像表示を設定する。



① **↑↓で、DVDのワイド映像（16：9）を、4：3画面のテレビで表示する方法を選び、決定を押す。**

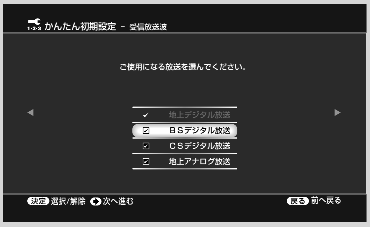
・**ワイド映像を横長のまま表示したいとき**
[レターボックス]を選んでください。

・**画面の左右を切って画面全体に表示したいとき**
[パンスキャン]を選んでください。

次の手順

手順12へ

12 受信放送波を設定する。



① **↑↓で、受信したくない放送の種類を選び、決定を押す。**
決定を押すとチェックボックス(☑)のチェックをはずしたりつけたりできます。
地上デジタル放送は、チェックをはずせません。

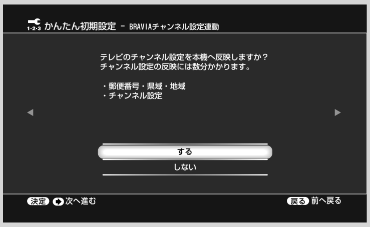
② **受信したい放送をすべて選び、→を押す。**

次の手順

本機をチャンネル設定連動に対応した<ブラビア>につないでいるとき→　手順13へ
その他のテレビにつないでいるとき→　手順14へ

13 BRAVIAチャンネル設定連動を設定する。*

* <ブラビア>によってはチャンネル設定連動に対応していない場合があります。



<ブラビア>のチャンネル設定を使って、本機のチャンネル設定を最適化します。
最適化するときは[する]を選び、決定を押します。チャンネル設定中の画面が表示され、チャンネルの設定を行います。
本機独自で設定を行うときは、[しない]を選びます。

次の手順

[する]を選んだ場合→　手順15へ
[しない]を選んだ場合→　手順14へ

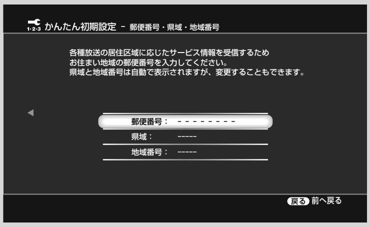
ちょっと一言

- 手順12で地上アナログ放送の受信が必要ない場合は、チェックをはずしてください。地上アナログ番組表のデータが受信されなくなり、消費電力量を軽減できます。
- BRAVIAチャンネル設定連動について詳しくは、「BRAVIAチャンネル設定連動についてのご注意」（42ページ）をご覧ください。
- ブラビアリンク対応機器についての情報は、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/

ご注意

チャンネル設定を変更すると、変更前の録画予約が正しく行われないことがあります。録画予約をやり直してください。

14 郵便番号・県域・地域番号 を設定する。



同じ放送局でも地域によってチャンネルが異なるため、郵便番号を入力してチャンネルを設定します。

① **↑↓で[郵便番号]を選び、決定 を押す。**

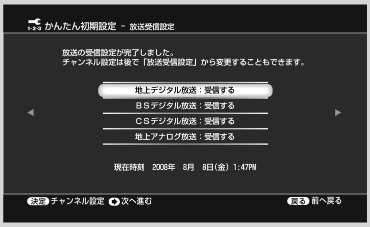
② **↑↓←→で郵便番号を入力し、決定 を押す。**
数字ボタン 1 ～ 10/0 でも入力できます。
表示された県域や地域番号が異なる場合は、正しい郵便番号を確認して、もう一度①～②を行ってください。

③ **→を押す。**
チャンネル設定中の画面が表示され、チャンネルの設定を行います。

次の手順

手順**15**へ

15 放送受信設定 を確認する。



① **↑↓で、受信設定を確認したい放送を選び、決定 を押す。**
設定内容を確認してください。
設定内容を修正するときは、「チャンネル設定を修正する（CATV経由で受信している場合など）」（45ページ）をご覧ください。

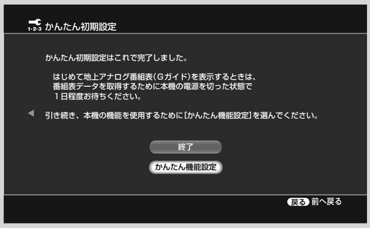
② **[閉じる]を選び、決定 を押す。**

③ **→を押す。**

次の手順

手順**16**へ

16 かんたん初期設定を終了する。



[終了]を選び 決定 を押すと、かんたん初期設定を終了します。

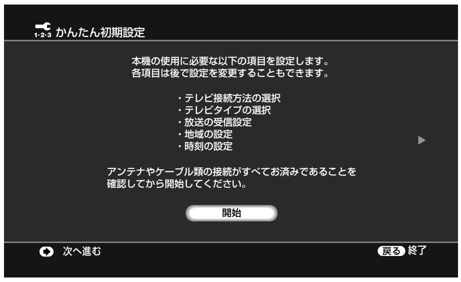
アナログ番組表とみどころマガジンが使えるまで、本機の電源を切って1日お待ちください。ただし、電源コードはコンセントにさしておいてください。

つづけて、かんたん機能設定（43ページ）を行う場合は、[かんたん機能設定]を選んで、決定 を押します。

かんたん初期設定をやり直すには

1 **ホーム を押して、（ツールボックス）の[かんたん設定]から[かんたん初期設定]を選び、決定 を押す。**

2 **[開始]を選び、決定 を押す。**



かんたん初期設定が始まります。38ページの手順**5**以降をご覧になり、設定を行ってください。

ちょっと一言

- 1日待っても番組表データが受信できないときは、「操作編」の「故障かな？と思ったら」の「番組表」の項目をご覧ください。
- 手順**14**で自動で時刻が設定されなかった場合は、手動で設定します。画面にしたがって操作してください。

ご注意

- 手順**14**で地域番号が正しく設定されていないと、番組表を使った録画予約が正しく行えなくなります。
- デジタル放送の番組表（「操作編」の「番組表で録画予約する（番組表（EPG））」）が取得できていても、地上アナログ放送の番組表データを受信するには、電源を切ってから1日程度待つ必要があります。

次のページにつづく⇨

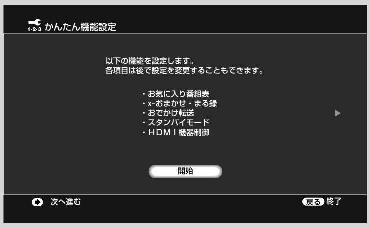
BRAVIAチャンネル設定連動についてのご注意

- 本機能を使うには、BRAVIAチャンネル設定連動対応の＜ブラビア＞とHDMIケーブルでつなぎ、はじめに＜ブラビア＞の設定を完了させてください。
- 本機前面のHDMI出力切換ボタンを押して、HDMI出力を連動する＜ブラビア＞側に合わせてください（24ページ、BDZ-X100/BDZ-X95のみ）。
- 下記の情報を＜ブラビア＞から取得します。
  - 郵便番号、デジタル放送の地域情報（県域）
  - チャンネル情報（地上アナログ放送：［表示CH］、［受信CH］、［アップダウン選局］、［ワンタッチ選局］、地上デジタル放送：［アップダウン選局］、［ワンタッチ選局］、BS/CSデジタル放送：［ワンタッチ選局］）

  それぞれの設定内容については、「操作編」の「本機の設定を変更する」-「受信する放送の設定を行う（放送受信設定）」をご覧ください。
- BRAVIAチャンネル設定連動を行った後に＜ブラビア＞で設定を変更した場合、変更した内容は本機に反映されません。
- 本機と＜ブラビア＞を、AVアンプやセレクターを経由してつないだ場合、AVアンプやセレクターの機種や状態によっては、BRAVIAチャンネル設定連動が働かない場合があります。詳しくはAVアンプやセレクターの取扱説明書をご覧ください。
- BRAVIAチャンネル設定連動は、本機のチャンネルスキャンで検出されたチャンネル情報を＜ブラビア＞のチャンネル情報を使って最適化する機能です。このため、＜ブラビア＞と本機で受信状況が異なる場合は、設定されるチャンネルが異なることがあります。
- 地上アナログ放送の場合は＜ブラビア＞で設定されたチャンネルを追加しますが、地上デジタルやBS/CSデジタル放送の場合はチャンネルを追加しません。
- 本機の［ワンタッチ選局］で登録したチャンネルは、［アップダウン選局］の設定が［必ず選局］になります（地上アナログ放送を除く）。詳しくは、「操作編」の「本機の設定を変更する」－「受信する放送の設定を行う（放送受信設定）」をご覧ください。

かんたん機能設定をする

1 かんたん機能設定を開始する。

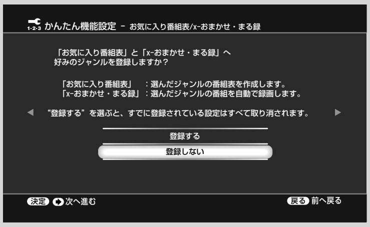


かんたん機能設定は、目的にあわせて必要な項目を設定してください。

① 「かんたん初期設定をする」の手順16で、⬆⬇で[かんたん機能設定]を選び、(決定)を押す。

② [開始]を選び、(決定)を押す。

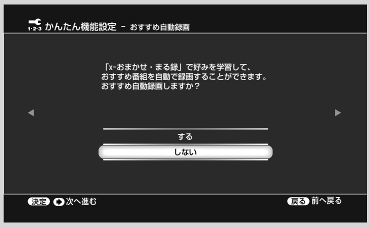
2 お気に入り番組表／x-おまかせ・まる録 を設定する。



① ⬆⬇で、お好みの番組ジャンルを、お気に入り番組表とx-おまかせ・まる録へ登録するかを選び、(決定)を押す。

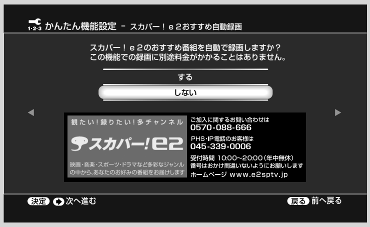
登録する場合は、次の画面で⬆⬇でジャンルを選び、(決定)を押します。
次の画面で[はい]を選んで(決定)を押すと、選んだジャンルが自動録画されます。[いいえ]を選んで(決定)を押すと、お気に入り番組表には登録されますが、自動録画されません。
ジャンルをすべて登録したら、➡を押して次のステップに進みます。

3 おすすめ自動録画 を設定する。



① ⬆⬇で、本機がおすすめする番組を自動録画するかを選び、(決定)を押す。

4 スカパー！ｅ２おすすめ自動録画を設定する。



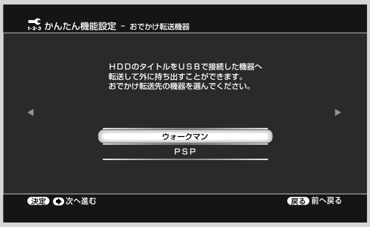
① ⬆⬇で、スカパー！ｅ２が提供する番組の中から、本機がおすすめする番組を自動録画するかを選び、(決定)を押す。

ちょっと一言

- 次の画面に進むには、➡を押してください。
- スカパー！ｅ２おすすめ自動録画は、かんたん初期設定の手順12（受信放送波）で[CSデジタル放送]を選んだ場合のみ表示されます。

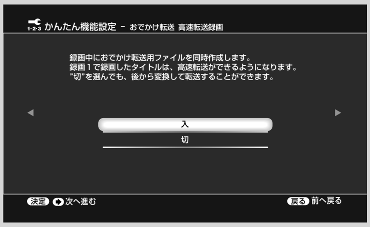
次のページにつづく⇨

5 おでかけ転送機器 を設定する（BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-A950/BDZ-A750のみ）。



① ↑↓で、おでかけ転送する機器を選び、(決定)を押す。

6 おでかけ転送 高速転送録画 を設定する（BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-A950/BDZ-A750のみ）。

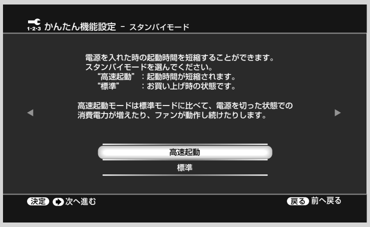


① ↑↓で、番組の録画中に、おでかけ転送用動画ファイルを同時作成するかを選び、(決定)を押す。

同時作成する場合は、[入]を選びます。

動画ファイルを同時作成しておくと、手順5で選んだ機器へ高速転送できます。

7 スタンバイモード を設定する。

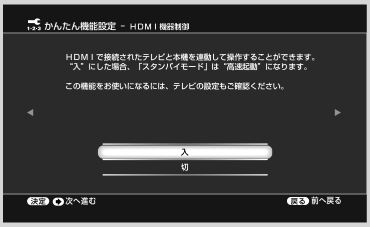


① ↑↓で、スタンバイモードを選び、(決定)を押す。

[高速起動]を選ぶと、電源を入れてから本機が起動するまでの時間を短縮できます。

リモート録画予約（「操作編」の「携帯電話やパソコンなどから録画予約する」）やホームサーバー機能（「操作編」の「別の部屋のテレビやパソコンなどで再生する」、BDZ-L55/BDZ-T55を除く）、電源「切」の状態からのワンタッチ転送（「操作編」の「ワンタッチで転送する」、BDZ-A950/BDZ-A750のみ）を利用するときは、[高速起動]を選びます。

8 HDMI機器制御 を設定する。



① HDMIケーブルでテレビとつないでいる場合は、↑↓でHDMI機器制御の設定を選び、(決定)を押す。

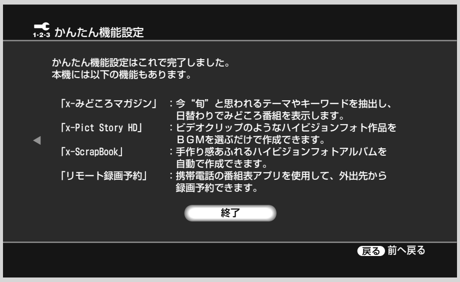
[入]を選ぶと、HDMI機器制御対応の他機器と相互制御できます。

ブラビアリンク（57ページ）を利用する場合は、[入]を選びます。

ご注意

- 手順6で[入]を選んでも、以下の場合、“ウォークマン” ／ “PSP”転送用動画ファイルは同時作成されません。
  - 「録画2」で録画しているとき（「操作編」の「本機の録画機能について」）
  - 外部入力からコピー制御信号を含む映像を録画しているとき
- 手順7で[高速起動]モードを選ぶと、内部の制御部が電源「切」（待機状態）のときでも通電状態になるため、[標準]モードに比べて待機時消費電力が増えたり、ファンが動作し続けたりします。
- 手順7で[標準]を選ぶと、HDMI機器制御は連動して[切]になります。
- 手順8で[入]を選ぶと、スタンバイモードは[高速起動]に設定されます。この場合、待機時消費電力が増えたり、ファンが動作し続けることがあります。

9 かんたん機能設定を終了する。



↑↓で[終了]を選び、決定を押す。

かんたん機能設定を終了します。

かんたん機能設定をやり直すには

ホームを押して、の[かんたん設定]から[かんたん機能設定]を選び、決定を押します。

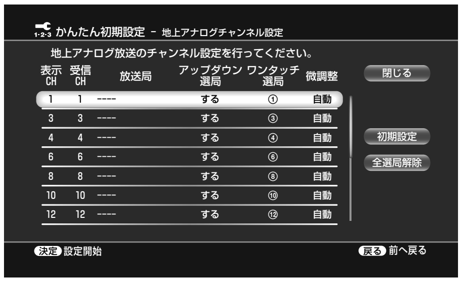
チャンネル設定を修正する(CATV経由で受信している場合など)

CATV経由で地上アナログ放送を受信している場合などは、次の手順でチャンネル設定を変更します。

1 **「かんたん初期設定をする」(38ページ)の手順15で、[地上アナログ放送]を選び、決定を押す。**

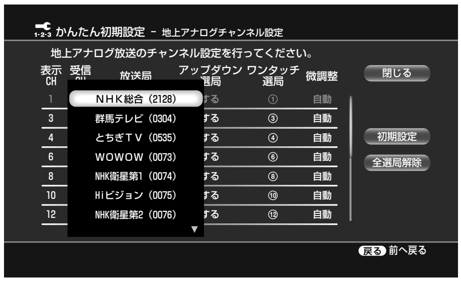
ホームメニューの の[放送受信設定]－[地上アナログチャンネル設定]からも設定できます。

2 **「地上アナログチャンネル設定」のチャンネル一覧画面で、↑↓で行を選び、決定を押す。**



3 **←→で[放送局]の欄を選ぶ。**

4 **↑↓で放送局名を選び、決定を押す。**



画面に映った番組から、適切な放送局を選んでください。

一覧に放送局名がないときは

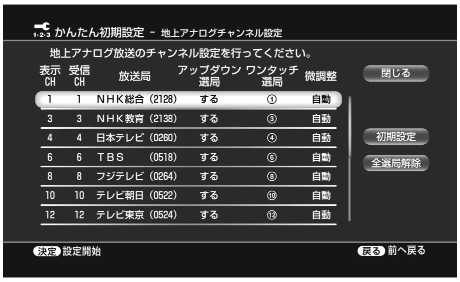
[番号入力]を選びます。数字ボタンでガイドチャンネルを入力し、決定を押します。CATVのガイドチャンネルについては、ご契約のCATV局にお問い合わせください。

5 **決定を押す。**

接続・設定する

次のページにつづく⇨

6 **手順2 ～ 5をくり返し、受信できている放送局名をすべて入力する。**



ここで、番組表データを送信している放送局（ホスト局）の［表示CH］の番号を控えておいてください。手順12で番号を設定します。

次に、ホームメニューの［放送受信設定］で、番組表取得チャンネルの設定をします。

7 **（ホーム）を押す。**

8 **↑↓で［放送受信設定］を選び、（決定）を押す。**



9 **↑↓で［Gガイド設定］を選び、（決定）を押す。**

10 **↑↓で［番組表取得設定］を選び、（決定）を押す。**

11 **↑↓で［取得チャンネル］を選び、（決定）を押す。**

12 **↑↓でチャンネル番号をホスト局のチャンネルに合わせ、（決定）を押す。**



手順6で控えた番号を、［取得チャンネル］に設定します。
設定が完了したら、戻るボタンを押して、前の画面に戻ります。

番組表データを送信している放送局（ホスト局）について

番組表データは、次の放送局より送信されています（2009年3月現在）。ホスト局は地上アナログチャンネル設定画面で、青色で表示されます。

- 北海道地域ー北海道放送（HBC）
- 東北地域ー青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、IBC岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域ー東京放送（TBS）
- 中部地域ー新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域ー毎日放送（MBS）
- 中国・四国地域ー山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、あいテレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域ー RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

ちょっと一言

以下のチャンネル設定については、［地上アナログチャンネル設定］（「操作編」の「本機の設定を変更する」）の各項目をご覧ください。

－ 画面に表示されるチャンネル番号を変更する（［表示CH］）
－ 不用なチャンネルをチャンネルボタンで選局できないようにする（番組表にも表示されません）（［アップダウン選局］）
－ リモコン数字ボタンのチャンネル登録を変更・設定する（［ワンタッチ選局］）
－ 受信状態を微調整する（［微調整］）

Gガイド地域番号・放送局表

● の付いている放送局（ホスト局）から番組表データが送信されています（2009年3月現在）。

選んだ地域名の欄にない放送局は、放送を受信できても番組表に表示されない場合があります。

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
北海道	札幌	001	HBC●	1	1	257
			NHK総合	3	3	336
			STV	5	5	261
			NHK教育	12	12	346
			TVh	17	17	273
			UHB	27	27	283
			HTB	35	35	291
	小樽	002	NHK教育	2	2	346
			HTB	4	4	291
			STV	7	7	261
			HBC●	9	9	257
			NHK総合	11	11	336
			TVh	24	24	273
			UHB	26	26	283
	旭川	003	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	11	11	257
			TVh	33	33	273
			UHB	37	37	283
			HTB	39	39	291
	名寄	004	NHK総合	4	4	336
			STV	6	6	261
			HBC●	10	10	257
			NHK教育	12	12	346
			HTB	24	24	291
			UHB	26	26	283
			TVh	33	33	273
	稚内	005	HBC●	10	10	257
			STV	22	22	261
			HTB	24	24	291
			UHB	26	26	283
			NHK総合	28	28	336
			NHK教育	30	30	346
	室蘭	006	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	11	11	257
			TVh	29	29	273
			UHB	37	37	283
			HTB	39	39	291
	苫小牧	007	TVh	47	47	273
			NHK教育	49	49	346
			NHK総合	51	51	336
			UHB	53	53	283
			HBC●	55	55	257
			STV	57	57	261
			HTB	61	61	291
	函館	008	NHK総合	4	4	336
			HBC●	6	6	257
			NHK教育	10	10	346
			STV	12	12	261
			TVh	21	21	273
			UHB	27	27	283
			HTB	35	35	291
	帯広	009	NHK総合	4	4	336
			HBC●	6	6	257
			STV	10	10	261
			NHK教育	12	12	346
			UHB	32	32	283
			HTB	34	34	291
	釧路	010	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	11	11	257
			HTB	39	39	291
			UHB	41	41	283
	網走	011	HBC●	1	1	257
			NHK総合	3	3	336
			STV	5	5	261
			NHK教育	12	12	346
			UHB	27	27	283
			HTB	35	35	291
	北見	012	NHK教育	2	2	346
			STV	7	7	261
			NHK総合	9	9	336
			HBC●	53	53	257
			UHB	59	59	283
			HTB	61	61	291

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
青森	青森	013	青森放送	1	1	513
			NHK総合	3	3	592
			NHK教育	5	5	602
			青森朝日	34	34	290
			青森テレビ●	38	38	294
	八戸	014	NHK教育	7	7	602
			NHK総合	9	9	592
			青森放送	11	11	513
			青森朝日	31	31	290
			青森テレビ●	33	33	294
	むつ	015	NHK総合	4	4	592
			青森放送	10	10	513
			NHK教育	12	12	602
			青森朝日	56	56	290
			青森テレビ●	58	58	294
岩手	盛岡	016	NHK総合	4	4	848
			IBC●	6	6	262
			NHK教育	8	8	858
			IAT	31	31	276
			めんこい	33	33	289
			テレビ岩手	35	35	547
	釜石	017	NHK総合	2	2	848
			IBC●	10	10	262
			NHK教育	12	12	858
			テレビ岩手	58	58	547
			めんこい	60	60	289
			IAT	62	62	276
	二戸	018	IBC●	2	2	262
			NHK総合	5	5	848
			NHK教育	12	12	858
			IAT	27	27	276
			めんこい	29	29	289
			テレビ岩手	37	37	547
宮城	仙台	019	TBC●	1	1	769
			NHK総合	3	3	1104
			NHK教育	5	5	1114
			仙台放送	12	12	268
			東日本放送	32	32	288
			宮城テレビ	34	34	546
	石巻	020	TBC●	1	59	769
			NHK総合	3	51	1104
			NHK教育	5	49	1114
			仙台放送	12	57	268
			東日本放送	32	61	288
			宮城テレビ	34	55	546
	気仙沼	021	NHK総合	2	2	1104
			TBC●	4	4	769
			仙台放送	6	6	268
			NHK教育	10	10	1114
			宮城テレビ	37	37	546
			東日本放送	43	43	288
秋田	秋田	022	NHK教育	2	2	1370
			NHK総合	9	9	1360
			秋田放送	11	11	267
			秋田朝日	31	31	287
			秋田テレビ●	37	37	293
	大館	023	NHK総合	4	4	1360
			秋田放送	6	6	267
			NHK教育	8	8	1370
			秋田テレビ●	57	57	293
			秋田朝日	59	59	287
	大曲	024	秋田朝日	41	41	287
			NHK教育	43	43	1370
			NHK総合	45	45	1360
			秋田放送	47	47	267
			秋田テレビ●	51	51	293
山形	山形	025	NHK教育	4	4	1626
			NHK総合	8	8	1616
			山形放送	10	10	266
			SAY	30	30	286
			TUY●	36	36	292
			山形テレビ	38	38	550
	鶴岡	026	山形放送	1	1	266
			NHK総合	3	3	1616
			NHK教育	6	6	1626
			TUY●	22	22	292
			SAY	24	24	286
			山形テレビ	39	39	550
	米沢	027	NHK教育	50	50	1626
			NHK総合	52	52	1616
			山形放送	54	54	266
			TUY●	56	56	292
			山形テレビ	58	58	550
			SAY	60	60	286

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
福島	福島	028	NHK教育	2	2	1882
			NHK総合	9	9	1872
			福島テレビ	11	11	523
			TUF●	31	31	543
			福島中央TV	33	33	545
			福島放送	35	35	803
	いわき	029	NHK総合	4	4	1872
			福島テレビ	8	8	523
			NHK教育	10	10	1882
			TUF●	32	62	543
			福島中央TV	34	58	545
			福島放送	36	60	803
	いわき勿来	030	NHK総合	4	4	1872
			福島テレビ	8	8	523
			NHK教育	10	10	1882
			TUF●	32	32	543
			福島中央TV	34	34	545
			福島放送	36	36	803
	会津若松	031	NHK総合	1	1	1872
			NHK教育	3	3	1882
			福島テレビ	6	6	523
			福島中央TV	37	37	545
			福島放送	41	41	803
			TUF●	47	47	543
茨城	水戸	032	NHK総合	1	44	2128
			NHK教育	3	46	2138
			日本テレビ	4	42	260
			TBS●	6	40	518
			フジテレビ	8	38	264
			テレビ朝日	10	36	522
			テレビ東京	12	32	524
	日立	033	NHK総合	1	52	2128
			NHK教育	3	50	2138
			日本テレビ	4	54	260
			TBS●	6	56	518
			フジテレビ	8	58	264
			テレビ朝日	10	60	522
			テレビ東京	12	62	524
			MXTV	14	14	270
			チバテレビ	39	39	302
栃木	宇都宮	034	NHK総合	1	51	2128
			NHK教育	3	49	2138
			日本テレビ	4	53	260
			TBS●	6	55	518
			フジテレビ	8	57	264
			テレビ朝日	10	41	522
			テレビ東京	12	44	524
			とちぎTV	31	31	535
	矢板	035	NHK総合	1	40	2128
			NHK教育	3	30	2138
			日本テレビ	4	36	260
			TBS●	6	42	518
			フジテレビ	8	45	264
			テレビ朝日	10	59	522
			テレビ東京	12	61	524
			MXTV	14	14	270
			とちぎTV	33	33	535
群馬	前橋	036	NHK総合	1	52	2128
			NHK教育	3	50	2138
			日本テレビ	4	54	260
			TBS●	6	56	518
			フジテレビ	8	58	264
			テレビ朝日	10	60	522
			テレビ東京	12	62	524
			群馬テレビ	48	48	304
	桐生	037	NHK総合	1	51	2128
			NHK教育	3	57	2138
			日本テレビ	4	53	260
			TBS●	6	55	518
			フジテレビ	8	35	264
			テレビ朝日	10	59	522
			テレビ東京	12	61	524
			群馬テレビ	48	41	304

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
埼玉	さいたま	038	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXTV	14	14	270
			テレ玉	38	38	806
			チバテレビ	46	46	302
			群馬テレビ	48	48	304
	熊谷	039	NHK総合	1	51	2128
			NHK教育	3	35	2138
			日本テレビ	4	53	260
			TBS●	6	55	518
			フジテレビ	8	57	264
			テレビ朝日	10	59	522
			テレビ東京	12	61	524
			テレ玉	38	30	806
			群馬テレビ	48	48	304
	秩父	040	NHK総合	14	14	2128
			日本テレビ	16	16	260
			TBS●	18	18	518
			フジテレビ	29	29	264
			テレビ朝日	38	38	522
			テレビ東京	44	44	524
			テレ玉	47	47	806
			NHK教育	49	49	2138
千葉	千葉	041	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXTV	14	14	270
			テレ玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	46	302
	東金	042	NHK総合	1	35	2128
			NHK教育	3	38	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			チバテレビ	46	31	302
	銚子	043	NHK総合	1	51	2128
			NHK教育	3	49	2138
			日本テレビ	4	53	260
			TBS●	6	55	518
			フジテレビ	8	57	264
			テレビ朝日	10	59	522
			テレビ東京	12	61	524
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	39	302
東京	東京23区	044	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXTV	14	14	270
			テレ玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	46	302

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
東京	八王子	045	NHK総合	1	33	2128
			NHK教育	3	29	2138
			日本テレビ	4	35	260
			TBS●	6	37	518
			フジテレビ	8	31	264
			テレビ朝日	10	45	522
			テレビ東京	12	62	524
			MXTV	14	40	270
			テレ玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	46	302
	多摩	046	NHK総合	1	49	2128
			NHK教育	3	47	2138
			日本テレビ	4	51	260
			TBS●	6	53	518
			フジテレビ	8	55	264
			テレビ朝日	10	57	522
			テレビ東京	12	59	524
			MXTV	14	61	270
			テレ玉	38	38	806
			tvk	42	42	298
			チバテレビ	46	46	302
神奈川	横浜1	047	NHK総合	1	52	2128
			NHK教育	3	50	2138
			日本テレビ	4	54	260
			TBS●	6	56	518
			フジテレビ	8	58	264
			テレビ朝日	10	60	522
			テレビ東京	12	62	524
			MXTV	14	14	270
			tvk	42	48	298
	横浜2	048	NHK総合	1	1	2128
			NHK教育	3	3	2138
			日本テレビ	4	4	260
			TBS●	6	6	518
			フジテレビ	8	8	264
			テレビ朝日	10	10	522
			テレビ東京	12	12	524
			MXテレビ	14	14	270
			tvk	42	42	298

「横浜1」、「横浜2」について
NHK総合を**52**チャンネルでご覧の方は「横浜1」、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。
わからない場合は「横浜2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「横浜1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
神奈川	平塚	049	NHK総合	1	33	2128
			NHK教育	3	29	2138
			日本テレビ	4	35	260
			TBS●	6	37	518
			フジテレビ	8	39	264
			テレビ朝日	10	41	522
			テレビ東京	12	43	524
			MXTV	14	14	270
			tvk	42	31	298
	秦野	050	NHK総合	1	47	2128
			NHK教育	3	49	2138
			日本テレビ	4	51	260
			TBS●	6	53	518
			フジテレビ	8	55	264
			テレビ朝日	10	57	522
			テレビ東京	12	59	524
			MXTV	14	14	270
			tvk	42	61	298
	小田原	051	NHK総合	1	52	2128
			NHK教育	3	50	2138
			日本テレビ	4	54	260
			TBS●	6	56	518
			フジテレビ	8	58	264
			テレビ朝日	10	60	522
			テレビ東京	12	62	524
			MXTV	14	14	270
			tvk	42	46	298
山梨	甲府	052	NHK総合	1	1	2896
			NHK教育	3	3	2906
			山梨放送	5	5	773
			UTY●	37	37	549

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
長野	長野1	053	NHK総合	2	44	2640
			NHK教育	9	46	2650
			テレビ信州	40	40	542
			長野放送	42	42	1062
			SBC●	48	48	779
			長野朝日	50	50	532
	長野2	054	NHK総合	2	2	2640
			NHK教育	9	9	2650
			SBC●	11	11	779
			長野朝日	20	20	532
			テレビ信州	30	30	542
			長野放送	38	38	1062

「長野1」、「長野2」について
NHK総合を**44**チャンネルでご覧の方は「長野1」、それ以外の方は「長野2」を選んでください。
わからない場合は「長野2」を選び、受信状態を確認後、正しく受信できないときは「長野1」を選び直してください。

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
長野	松本	055	SBC●	40	40	779
			長野放送	42	42	1062
			NHK総合	44	44	2640
			NHK教育	46	46	2650
			テレビ信州	48	48	542
			長野朝日	50	50	532
	飯田	056	NHK教育	3	3	2650
			NHK総合	4	4	2640
			SBC●	6	6	779
			長野放送	40	40	1062
			テレビ信州	42	42	542
			長野朝日	44	44	532
	岡谷・諏訪	057	NHK総合	4	4	2640
			SBC●	6	6	779
			NHK教育	8	8	2650
			長野放送	47	47	1062
			テレビ信州	59	59	542
			長野朝日	61	61	532
新潟	新潟	058	BSN●	5	5	517
			NHK総合	8	8	2384
			NHK教育	12	12	2394
			テレビ21	21	21	277
			テレビ新潟	29	29	285
			新潟総合TV	35	35	1059
	上越	059	NHK教育	1	1	2394
			NHK総合	3	3	2384
			BSN●	10	10	517
			テレビ新潟	27	27	285
			新潟総合TV	33	33	1059
			テレビ21	37	37	277
富山	富山	060	北日本放送	1	1	1025
			NHK総合	3	3	3152
			NHK教育	10	10	3162
			チュリップ●	32	32	544
			富山テレビ	34	34	802
	高岡	061	チュリップ●	42	42	544
			富山テレビ	44	44	802
			NHK教育	46	46	3162
			NHK総合	48	48	3152
			北日本放送	50	50	1025
石川	金沢	062	NHK総合	4	4	3408
			北陸放送●	6	6	774
			NHK教育	8	8	3418
			北陸朝日	25	25	281
			テレビ金沢	33	33	801
			石川テレビ	37	37	805
	七尾	063	NHK教育	5	5	3418
			NHK総合	9	9	3408
			北陸放送●	11	11	774
			石川テレビ	55	55	805
			テレビ金沢	57	57	801
			北陸朝日	59	59	281
福井	福井	064	NHK教育	3	3	3674
			NHK総合	9	9	3664
			福井放送	11	11	1035
			福井テレビ●	39	39	295
	敦賀	065	NHK総合	6	6	3664
			福井放送	8	8	1035
			NHK教育	12	12	3674
			福井テレビ●	38	38	295

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
岐阜	岐阜	066	東海テレビ	1	1	1281
			NHK総合	3	39	4176
			CBC•	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			三重テレビ	33	33	1313
			中京テレビ	35	35	1571
			岐阜放送	37	37	1061
	各務原	067	東海テレビ	1	1	1281
			NHK総合	3	3	4176
			CBC•	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			中京テレビ	35	35	1571
			岐阜放送	41	41	1061
	高山	068	NHK教育	2	2	4186
			NHK総合	4	4	4176
			CBC•	6	6	1029
			東海テレビ	8	8	1281
			メ～テレ	12	12	1547
			中京テレビ	26	26	1571
			岐阜放送	38	38	1061
	中津川	069	NHK総合	4	4	4176
			メ～テレ	6	6	1547
			CBC•	8	8	1029
			東海テレビ	10	10	1281
			NHK教育	12	12	4186
			中京テレビ	26	26	1571
			岐阜放送	28	28	1061
静岡	静岡	070	NHK教育	2	2	3930
			NHK総合	9	9	3920
			静岡放送•	11	11	1291
			静岡第一	31	31	799
			朝日テレビ	33	33	1057
			テレビ静岡	35	35	1315
	浜松	071	NHK総合	4	4	3920
			静岡放送•	6	6	1291
			NHK教育	8	8	3930
			朝日テレビ	28	28	1057
			静岡第一	30	30	799
			テレビ静岡	34	34	1315
	富士	072	静岡第一	27	27	799
			朝日テレビ	29	29	1057
			テレビ静岡	39	39	1315
			静岡放送•	41	41	1291
			NHK総合	52	52	3920
			NHK教育	54	54	3930
	三島・沼津	073	NHK教育	51	51	3930
			NHK総合	53	53	3920
			静岡放送•	55	55	1291
			朝日テレビ	57	57	1057
			テレビ静岡	59	59	1315
			静岡第一	61	61	799
	島田	074	静岡第一	48	48	799
			朝日テレビ	50	50	1057
			NHK教育	54	54	3930
			NHK総合	56	56	3920
			テレビ静岡	58	58	1315
			静岡放送•	62	62	1291
	藤枝	075	静岡第一	24	24	799
			朝日テレビ	26	26	1057
			テレビ静岡	38	38	1315
			静岡放送•	40	40	1291
			NHK総合	42	42	3920
			NHK教育	44	44	3930
愛知	名古屋	076	東海テレビ	1	1	1281
			NHK総合	3	3	4176
			CBC•	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			三重テレビ	33	33	1313
			中京テレビ	35	35	1571
			岐阜放送	37	37	1061
	豊橋	077	三重テレビ	33	33	1313
			岐阜放送	37	37	1061
			NHK教育	50	50	4186
			テレビ愛知	52	52	537
			NHK総合	54	54	4176
			東海テレビ	56	56	1281
			中京テレビ	58	58	1571
			メ～テレ	60	60	1547
			CBC•	62	62	1029
愛知	豊田	078	三重テレビ	33	33	1313
			岐阜放送	37	37	1061
			テレビ愛知	49	49	537
			NHK教育	51	51	4186
			NHK総合	53	53	4176
			CBC•	55	55	1029
			東海テレビ	57	57	1281
			中京テレビ	59	59	1571
			メ～テレ	61	61	1547
三重	津	079	東海テレビ	1	1	1281
			CBC•	5	5	1029
			NHK教育	9	9	4186
			メ～テレ	11	11	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			NHK総合	31	31	4176
			三重テレビ	33	33	1313
			中京テレビ	35	35	1571
	伊勢	080	東海テレビ	1	57	1281
			CBC•	5	55	1029
			NHK教育	9	49	4186
			メ～テレ	11	61	1547
			テレビ愛知	25	25	537
			NHK総合	31	53	4176
			三重テレビ	33	59	1313
			中京テレビ	35	47	1571
	名張	081	テレビ愛知	25	25	537
			NHK教育	50	50	4186
			NHK総合	52	52	4176
			中京テレビ	54	54	1571
			メ～テレ	56	56	1547
			三重テレビ	58	58	1313
			CBC•	60	60	1029
			東海テレビ	62	62	1281
滋賀	大津	082	NHK総合	2	28	4432
			毎日放送•	4	36	516
			朝日放送	6	38	1030
			関西テレビ	8	40	520
			読売テレビ	10	42	778
			NHK教育	12	46	4442
			びわ湖放送	30	30	798
			京都テレビ	34	34	1058
	彦根	083	NHK総合	2	52	4432
			毎日放送•	4	54	516
			朝日放送	6	58	1030
			関西テレビ	8	60	520
			読売テレビ	10	62	778
			NHK教育	12	50	4442
			京都テレビ	34	34	1058
			びわ湖放送	56	56	798
京都	京都	084	NHK総合	2	32	4432
			毎日放送•	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			京都テレビ	34	34	1058
	山科	085	NHK総合	2	38	4432
			毎日放送•	4	54	516
			朝日放送	6	56	1030
			関西テレビ	8	58	520
			読売テレビ	10	60	778
			NHK教育	12	50	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			京都テレビ	34	40	1058
	舞鶴	086	NHK教育	49	49	4442
			NHK総合	51	51	4432
			毎日放送•	53	53	516
			朝日放送	55	55	1030
			京都テレビ	57	57	1058
			関西テレビ	59	59	520
			読売テレビ	61	61	778
	福知山	087	NHK総合	50	50	4432
			NHK教育	52	52	4442
			毎日放送•	54	54	516
			京都テレビ	56	56	1058
			朝日放送	58	58	1030
			関西テレビ	60	60	520
			読売テレビ	62	62	778
大阪	大阪	088	NHK総合	2	2	4432
			毎日放送•	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			京都テレビ	34	34	1058
			サンテレビ	36	36	548
兵庫	神戸	089	NHK総合	2	2	4432
			毎日放送•	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			テレビ大阪	19	19	275
			サンテレビ	36	36	548
	神戸灘	090	テレビ大阪	19	19	275
			NHK教育	50	50	4442
			NHK総合	52	52	4432
			毎日放送•	54	54	516
			朝日放送	56	56	1030
			関西テレビ	58	58	520
			読売テレビ	60	60	778
			サンテレビ	62	62	548
	川西	091	NHK総合	2	29	4432
			サンテレビ	3	33	548
			毎日放送•	4	35	516
			朝日放送	6	37	1030
			関西テレビ	8	39	520
			読売テレビ	10	41	778
			NHK教育	12	31	4442
			テレビ大阪	19	19	275
	三木	092	NHK総合	2	44	4432
			サンテレビ	3	55	548
			毎日放送•	4	34	516
			朝日放送	6	38	1030
			関西テレビ	8	40	520
			読売テレビ	10	42	778
			NHK教育	12	46	4442
			テレビ大阪	19	19	275
	姫路	093	NHK総合	2	50	4432
			サンテレビ	3	56	548
			毎日放送•	4	54	516
			朝日放送	6	58	1030
			関西テレビ	8	60	520
			読売テレビ	10	62	778
			NHK教育	12	52	4442
			テレビ大阪	19	19	275
	明石	094	NHK総合	2	51	4432
			サンテレビ	3	55	548
			毎日放送•	4	53	516
			朝日放送	6	57	1030
			関西テレビ	8	59	520
			読売テレビ	10	61	778
			NHK教育	12	49	4442
	長田	095	NHK総合	2	44	4432
			サンテレビ	3	34	548
			毎日放送•	4	38	516
			朝日放送	6	40	1030
			関西テレビ	8	42	520
			読売テレビ	10	48	778
			NHK教育	12	46	4442
奈良	奈良	096	NHK総合	2	2	4432
			毎日放送•	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	4442
			京都テレビ	34	34	1058
			奈良テレビ	55	55	311
	五條	097	毎日放送•	33	33	516
			朝日放送	35	35	1030
			関西テレビ	37	37	520
			読売テレビ	39	39	778
			奈良テレビ	41	41	311
			NHK総合	43	43	4432
			NHK教育	45	45	4442
和歌山	和歌山	098	NHK総合	2	32	4432
			毎日放送•	4	42	516
			朝日放送	6	44	1030
			関西テレビ	8	46	520
			読売テレビ	10	48	778
			NHK教育	12	25	4442
			TV和歌山	30	30	1054
	海南・田辺	099	NHK総合	2	50	4432
			毎日放送•	4	54	516
			朝日放送	6	58	1030
			関西テレビ	8	60	520
			読売テレビ	10	62	778
			NHK教育	12	52	4442
			TV和歌山	56	56	1054

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
鳥取	鳥取	100	日本海TV	1	1	1537
			NHK総合	3	3	4688
			NHK教育	4	4	4698
			BSS●	22	22	1034
			山陰中央	24	24	1314
	米子	101	NHK総合(島根)	6	6	4944
			BSS●	10	10	1034
			NHK教育	12	12	4698
			日本海TV	30	30	1537
			NHK総合(鳥取)	32	32	4688
			山陰中央	34	34	1314
島根	松江	102	NHK総合	6	6	4944
			BSS●	10	10	1034
			NHK教育	12	12	4954
			日本海TV	30	30	1537
			山陰中央	34	34	1314
	浜田	103	NHK総合	2	2	4944
			BSS●	5	5	1034
			NHK教育	9	9	4954
			日本海TV	54	54	1537
			山陰中央	58	58	1314
岡山	岡山	104	NHK教育	3	3	5210
			NHK総合	5	5	5200
			西日本放送	9	9	265
			RSK●	11	11	1803
			TVせとうち	23	23	279
			KSB	25	25	1569
			OHK	35	35	1827
	津山	105	NHK総合	2	2	5200
			RSK●	7	7	1803
			NHK教育	12	12	5210
			TVせとうち	56	56	279
			西日本放送	58	58	265
			OHK	60	60	1827
			KSB	62	62	1569
	笠岡	106	NHK総合	2	2	5200
			NHK教育	4	4	5210
			RSK●	6	6	1803
			TVせとうち	22	22	279
			西日本放送	34	34	265
			KSB	55	55	1569
			OHK	60	60	1827
広島	広島	107	NHK総合	3	3	5456
			RCC●	4	4	772
			NHK教育	7	7	5466
			広島テレビ	12	12	780
			TSS	31	31	1055
			広島ホーム	35	35	2083
	福山	108	NHK教育	3	3	5466
			NHK総合	5	5	5456
			RCC●	7	7	772
			広島テレビ	11	11	780
			TSS	54	54	1055
			広島ホーム	57	57	2083
	尾道	109	NHK総合	1	1	5456
			NHK教育	7	7	5466
			RCC●	10	10	772
			広島テレビ	12	12	780
			広島ホーム	24	24	2083
			TSS	26	26	1055
	呉	110	NHK教育	1	1	5466
			広島テレビ	5	5	780
			RCC●	9	9	772
			NHK総合	11	11	5456
			広島ホーム	24	24	2083
			TSS	26	26	1055
山口	山口	111	NHK教育	1	1	5722
			NHK総合	9	9	5712
			山口放送	11	11	2059
			山口朝日	28	28	284
			テレビ山口●	38	38	1318
	下関	112	山口放送	4	4	2059
			山口朝日	21	21	284
			テレビ山口●	33	33	1318
			NHK総合	39	39	5712
			NHK教育	41	41	5722
	宇部	113	山口放送	4	61	2059
			NHK総合	6	58	5712
			NHK教育	12	55	5722
			山口朝日	21	24	284
			テレビ山口●	33	44	1318
	岩国	114	NHK教育	1	1	5722
			NHK総合	9	9	5712
			山口放送	11	11	2059
			テレビ山口●	22	62	1318
			山口朝日	28	28	284

都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
徳島	徳島	115	四国放送	1	1	1793
			NHK総合	3	3	5968
			毎日放送●	4	4	516
			朝日放送	6	6	1030
			関西テレビ	8	8	520
			読売テレビ	10	10	778
			NHK教育	12	12	5978
			テレビ大阪	19	19	275
			サンテレビ	36	36	548
			TV和歌山	55	55	1054
香川	高松	116	西日本放送	9	41	265
			TVせとうち	19	19	279
			RSK●	29	29	1803
			OHK	31	31	1827
			KSB	33	33	1569
			NHK総合	37	37	6224
			NHK教育	39	39	6234
	丸亀	117	NHK教育	40	40	6234
			KSB	42	42	1569
			NHK総合	44	44	6224
			TVせとうち	46	46	279
			RSK●	48	48	1803
			西日本放送	50	50	265
			OHK	52	52	1827
愛媛	松山	118	NHK教育	2	2	6490
			NHK総合	6	6	6480
			南海放送	10	10	1290
			愛媛朝日	25	25	793
			あいテレビ●	29	29	541
			テレビ愛媛	37	37	1317
	新居浜	119	NHK総合	2	2	6480
			NHK教育	4	4	6490
			南海放送	6	6	1290
			愛媛朝日	14	14	793
			あいテレビ●	27	27	541
			テレビ愛媛	36	36	1317
	今治	120	愛媛朝日	17	17	793
			あいテレビ●	27	27	541
			NHK教育	30	30	6490
			NHK総合	32	32	6480
			南海放送	34	34	1290
			テレビ愛媛	36	36	1317
	宇和島	121	NHK教育	1	1	6490
			NHK総合	6	6	6480
			南海放送	10	10	1290
			愛媛朝日	16	16	793
			あいテレビ●	25	25	541
			テレビ愛媛	27	27	1317
高知	高知	122	NHK総合	4	4	6736
			NHK教育	6	6	6746
			高知放送	8	8	776
			KUTV●	38	38	1574
			KSS	40	40	296
福岡	福岡	123	KBC	1	1	2049
			NHK総合	3	3	6992
			RKB毎日●	4	4	1028
			NHK教育	6	6	7002
			TNC	9	9	521
			TVQ	19	19	531
			FBS	37	37	1573
	久留米	124	TVQ	14	14	531
			STS	36	36	804
			NHK総合	46	46	6992
			RKB毎日●	48	48	1028
			FBS	52	52	1573
			NHK教育	54	54	7002
			KBC	57	57	2049
			TNC	60	60	521
	大牟田	125	TVQ	19	19	531
			STS	36	36	804
			FBS	43	43	1573
			NHK教育	50	50	7002
			NHK総合	53	53	6992
			TNC	55	55	521
			KBC	58	58	2049
			RKB毎日●	61	61	1028
	北九州	126	KBC	2	2	2049
			NHK総合	6	6	6992
			RKB毎日●	8	8	1028
			TNC	10	10	521
			NHK教育	12	12	7002
			TVQ	23	23	531
			FBS	35	35	1573
	行橋	127	TVQ	19	19	531
			FBS	43	43	1573
			NHK教育	46	46	7002
			NHK総合	49	49	6992
			TNC	54	54	521
			KBC	57	57	2049
			RKB毎日●	60	60	1028

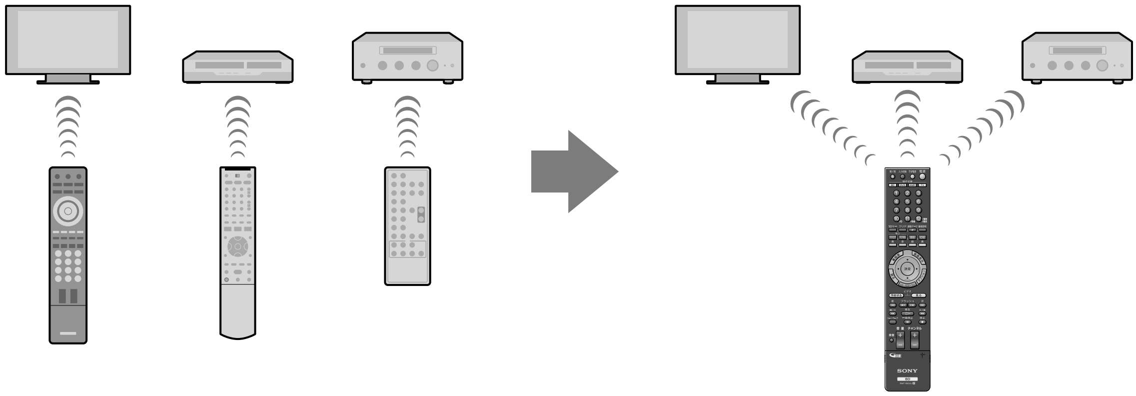
都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
佐賀	佐賀	128	TVQ	14	14	531
			STS	36	36	804
			NHK総合	38	38	7760
			NHK教育	40	40	7770
			RKB毎日●	48	48	1028
			FBS	52	52	1573
			KBC	57	57	2049
			TNC	60	60	521

RKB毎日放送が受信できる地域は「Gガイド設定」の［番組表取得設定］（「操作編」の「本機の設定を変更する」）で番組表取得チャンネルに「48」（RKB毎日）を、熊本放送が受信できる地域は「11」（熊本放送）を設定してください。

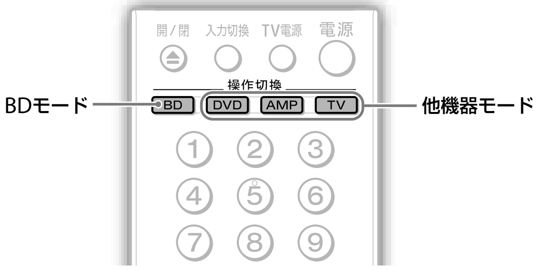
都道府県	地域名	地域番号	放送局名	表示チャンネル	受信チャンネル	ガイドチャンネル
長崎	長崎	129	NHK教育	1	1	7258
			NHK総合	3	3	7248
			NBC●	5	5	1285
			長崎国際	25	25	1049
			長崎文化	27	27	539
			テレビ長崎	37	37	1829
	佐世保	130	NHK教育	2	2	7258
			NHK総合	8	8	7248
			NBC●	10	10	1285
			長崎国際	17	17	1049
			長崎文化	31	31	539
			テレビ長崎	35	35	1829
	諫早	131	長崎国際	32	32	1049
			テレビ長崎	39	39	1829
			NHK教育	51	51	7258
			長崎文化	56	56	539
			NHK総合	59	59	7248
			NBC●	62	62	1285
熊本	熊本	132	KBC	1	1	2049
			NHK教育	2	2	7514
			NHK総合	9	9	7504
			熊本放送●	11	11	2315
			熊本朝日	16	16	528
			TVQ	19	19	531
			KKT	22	22	278
			TKU	34	34	1570
			STS	36	36	804
大分	大分	133	NHK総合	3	3	8016
			OBS●	5	5	1541
			NHK教育	12	12	8026
			OAB	24	24	280
			TOS	36	36	1060
	中津	134	OAB	17	17	280
			TOS	37	37	1060
			NHK教育	45	45	8026
			NHK総合	48	48	8016
			OBS●	51	51	1541
宮崎	宮崎	135	NHK総合	8	8	8272
			宮崎放送●	10	10	1546
			NHK教育	12	12	8282
			テレビ宮崎	35	35	2339
	延岡	136	NHK教育	2	2	8282
			NHK総合	4	4	8272
			宮崎放送●	6	6	1546
			テレビ宮崎	39	39	2339
鹿児島	鹿児島	137	MBC●	1	1	2305
			NHK総合	3	3	8528
			NHK教育	5	5	8538
			鹿児島読売	30	30	1310
			鹿児島放送	32	32	800
			KTS	38	38	1830
	阿久根	138	NHK総合	8	8	8528
			MBC●	10	10	2305
			NHK教育	12	12	8538
			鹿児島読売	17	17	1310
			鹿児島放送	23	23	800
			KTS	35	35	1830
	鹿屋	139	NHK教育	2	2	8538
			NHK総合	4	4	8528
			MBC●	6	6	2305
			鹿児島読売	25	25	1310
			鹿児島放送	31	31	800
			KTS	33	33	1830
沖縄	沖縄	140	NHK総合	2	2	8784
			OTV	8	8	1032
			RBC●	10	10	1802
			NHK教育	12	12	8794
			QAB	28	28	540

本機のリモコンで他機器を操作する

リモコンの DVD AMP TV を押すと、これらのボタンに登録されているテレビやAVアンプなどの他機器を操作できるようになります。



1 DVD、AMP、TV **のうち、操作したい機器が登録されているボタンを押す。**
リモコンが他機器モードに切り換わります。



お買い上げ時は、DVD、AMP、TV のボタンに以下の機器が登録されています。

ボタン	お買い上げ時の設定	登録できる機器
DVD	103	各社のビデオ機器やその他ソニー製機器（52ページ）、ソニー製BD機器（54ページ）
AMP	651	各社のビデオ機器やその他ソニー製機器（52ページ）、ソニー製BD機器（54ページ）
TV	901	各社のテレビ（52ページ）

操作機器切換用ボタンにはさまざまなメーカーの機器を登録することができます。
詳細は次のページをご覧ください。

2 **選んだ操作機器切換用ボタンが点灯している間に、他機器の操作をする。**
操作機器切換用ボタンは、30秒間点灯します。

自動でBDモードに戻らないようにするには

お買い上げ時の設定では、操作機器切換用ボタンを押すと、30秒後に自動的にBDモードに戻ります。
次の設定を行うと、操作機器切換用ボタンで選んだ機器の設定に固定することができます。

TV電源 を押しながら、音量の－、チャンネルの－の順番で3つのボタンを同時に押す。
4つの操作機器切換用ボタンがすべて点灯します。
手を離してボタンが消灯すれば設定は完了です。もう一度上記手順を行うとBDのみ点灯し、30秒後に自動的にBDモードに戻るように設定されます。

登録した機器を操作するには

本機のリモコンの電源、チャンネル＋/－、音量＋/－、入力切換 などのボタンが使用できます。機器によって、本機のリモコンの一部のボタンが使用できないことがあります。
ソニー製、アイワ製テレビでは、機種によって1～12/選局/確定の数字ボタンでチャンネルを切り換えることができます。

ご注意

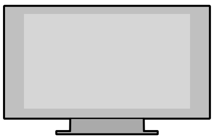
- 本機のリモコンでは、機器の基本的な操作ができますが、機器によっては操作できないことがあります。そのような場合には機器に付属のリモコンで操作してください。
- 本機のリモコンのボタンに対応する機能が機器にない場合は、そのボタンでは操作できません。

次のページにつづく⇨

操作したい他機器を登録する

本機のリモコンの操作機器切換用ボタンにはさまざまなメーカーの機器を登録できます。登録する機器によって、登録の手順が異なります。下記をご覧になり、操作したい機器を登録してください。

さまざまな機器を操作したい



テレビ

1 **TVを押しながら画面表示を押す。**
ボタンを離すとTVが点滅します。

2 **TVが点滅している間に、登録したいテレビのメーカー番号（3桁）を押す。**

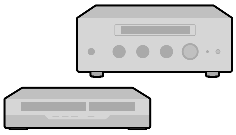
メーカー	メーカー番号
ソニー	901* 912
アイワ	917
パナソニック	902 913
東芝	903
日立	904
三菱	905
ビクター	906
サンヨー	907 915
シャープ	908 916
NEC	909
パイオニア	910
富士通ゼネラル	911
フナイ	914
三星電子(SAMSUNG)	918 919

* TV のお買い上げ時の設定です。

3 **決定を押す。**
操作機器切換用ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。

操作方法

51ページをご覧ください。



ソニー製AV機器

1 **DVDまたはAMPを押しながら画面表示を押す。**
ボタンを離すとDVDまたはAMPが点滅します。

2 **DVDまたはAMPが点滅している間に、登録したいAV機器の登録番号（3桁）を押す。**

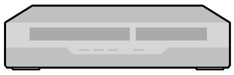
機種	登録番号
DVDレコーダー／プレーヤー	101*1 102 103*2
HDDレコーダー	301 302 303 304 308
ビデオ	001 002 003 004 005 006 201*3
フォトストレージ	351
ホームシアターシステム	601 602 603 604
AVアンプ	651*4 652 653
デジタルCS放送チューナー	701
PSX	801 802 803

*1 DVDプレーヤーは「101」に設定してください。
*2 DVD のお買い上げ時の設定です。
*3 DVD一体型ビデオ
*4 AMP のお買い上げ時の設定です。

3 **決定を押す。**

操作方法

51ページをご覧ください。



VHSビデオレコーダー

1 **DVDまたはAMPを押しながら画面表示を押す。**
ボタンを離すとDVDまたはAMPが点滅します。

2 **DVDまたはAMPが点滅している間に、登録したいVHSビデオレコーダーのメーカー番号（3桁）を押す。**

メーカー	メーカー番号
アイワ	037 038 039 040 049
パナソニック	010* 011* 012* 013 014
東芝	015* 016* 017 018
日立	019 020 021 022*
三菱	023* 024* 025 026
ビクター	027* 028* 029* 030* 031 032
サンヨー	033* 034 035 036
シャープ	041* 042 043
NEC	045 046 047 048
フナイ	044*

* DVD一体型ビデオ

3 **決定を押す。**

操作方法

51ページをご覧ください。

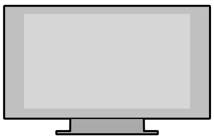
ちょっと一言

メーカー番号901のソニー製テレビには、R マークが付いています。

ご注意

- メーカー番号が複数あるときは、順に試して操作できる番号をお選びください。
- 10秒以内に次の操作を始めなかったときは、手順1からやり直してください。
- アイワのリモコンコードを設定しても操作できないときは、ソニーのリモコンコードで登録してください。

テレビまたはAVアンプの音量を手軽に調整したい



テレビ

1 **「さまざまな機器を操作したい」(52ページ)で、操作するテレビを登録する。**

2 **BDを押しながら画面表示を押す。**
ボタンを離すとBDが点滅します。

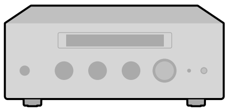
3 **BDが点滅している間に、本機に設定されているリモコンモード(お買い上げ時は「BD3」に設定されています。54ページ)に対応する登録番号(3桁)を押す。**

リモコンモード	登録番号
BD1	501
BD2	502
BD3	503

4 **決定を押す。**

操作方法

音量 +/−を押す。



AVアンプ

1 **BDを押しながら画面表示を押す。**
ボタンを離すとBDが点滅します。

2 **BDが点滅している間に、音量を調整したいAVアンプのメーカー番号(3桁)を押す。**
本機に設定しているリモコンモードによって、設定するメーカー番号が異なりますのでご注意ください。

リモコンモードを「BD1」に設定している場合

メーカー	メーカー番号
ソニー	511　512　513　514
オンキョー	515　516　517
デノン	518　519　520
サンスイ	521
ケンウッド	522　523
ヤマハ	524　525　526
パナソニック	527　528
パイオニア	529

リモコンモードを「BD2」に設定している場合

メーカー	メーカー番号
ソニー	531　532　533　534
オンキョー	535　536　537
デノン	538　539　540
サンスイ	541
ケンウッド	542　543
ヤマハ	544　545　546
パナソニック	547　548
パイオニア	549

リモコンモードを「BD3」に設定している場合

メーカー	メーカー番号
ソニー	551　552　553　554
オンキョー	555　556　557
デノン	558　559　560
サンスイ	561
ケンウッド	562　563
ヤマハ	564　565　566
パナソニック	567　568
パイオニア	569

3 **決定を押す。**

操作方法

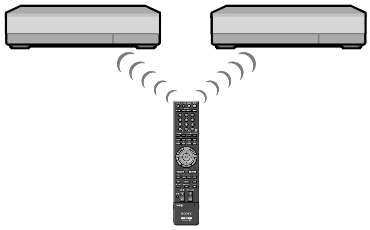
音量 +/−を押す。

ご注意

音声を出力する機器に対して設定を行ってください。

1つのリモコンで複数のソニー製BD機器を操作する（リモコンモード）

本機にはBD機器を操作できるリモコンのモードが3つあります。本機のリモコンでは、BD に対して3つのリモコンモードのうち1つを設定できます。（お買い上げ時は「BD3」に設定されています。）
また、DVD、AMP にも残り2つのリモコンモードをそれぞれ設定することで、複数のソニー製BD機器を1つのリモコンで操作できます。



リモコンモードは本体側とリモコン側のそれぞれに設定されています。本体側のリモコンモードとリモコンのリモコンモードは、同じ番号に合わせてお使いください。リモコンのリモコンモードを変更せずに本体のリモコンモードを変更すると、リモコン操作ができなくなります。

1 ホーム を押す。

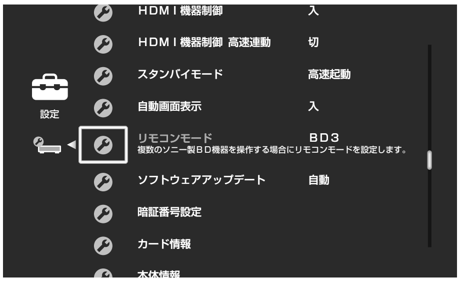
2 ←→で 設定 を選ぶ。



3 ↑↓で[本体設定]を選び、決定 を押す。



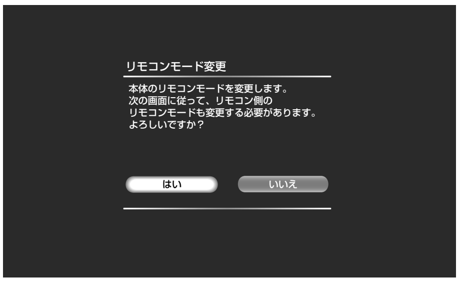
4 ↑↓で[リモコンモード]を選び、決定 を押す。



5 ↑↓でリモコンモード（BD1/BD2/BD3）を選び、決定 を押す。

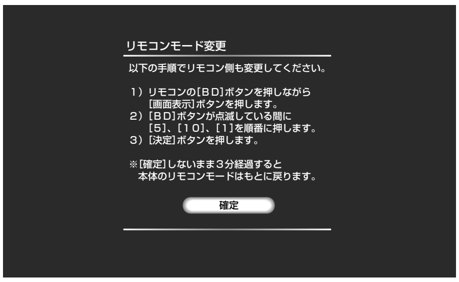


6 ←→で[はい]を選び 決定 を押す。



リモコンモード変更画面が表示され、本体側のリモコンモードが手順5で選んだリモコンモードに変わります。

7 画面の指示に従い、リモコン側のリモコンモードを変更した後、決定 を押す。



上記画面はBD1に設定する場合の画面です。

変更しない場合は操作しないでください。3分後に画面が消え、変更前のリモコンモードに戻ります。

ご注意

リモコンモードの変更は、必ず本機のリモコンで行ってください。

リモコン側のリモコンモードを変更するには

1 BD **を押しながら** 画面表示 **（画面表示）を押す。**

ボタンを離すとBDが点滅します。

BD の代わりに DVD や AMP を押すこともできます。

2 **操作機器切換用ボタンのランプが点滅している間に、登録したいリモコンモードの登録番号（3桁）を押す。**

例：「501」を入力するときは、リモコンの ⑤、⑩、① を順番に押します。

リモコンモード	登録番号
BD1	501
BD2	502
BD3	503

3 決定 **を押す。**

操作機器切換用ボタンが2回点滅します。登録できなかった場合は、5回すばやく点滅します。

手順1で選んだボタンに対し、手順2で選んだリモコンモードが設定されます。BD に設定するリモコンモードは、本体側のリモコンモードと同じ番号にしてください。

本体側の［リモコンモード］の設定とリモコン側のリモコンモードの設定が異なるときは

本体側とリモコン側のリモコンモードの設定が異なっている状態でリモコンのボタンを押すと、本機の表示窓に現在本体側に設定されているリモコンモードが次のように表示されます。

BD3

このような場合は「リモコン側のリモコンモードを変更するには」の手順1から手順3までを行い、表示窓に出るリモコンモードに変更してください。

誤って本体側の［リモコンモード］の設定を変更してしまったときは

本体側の［リモコンモード］の設定のみ変更すると、リモコンで本機を操作することができなくなります。このようなときは、「リモコン側のリモコンモードを変更するには」の設定を行い、リモコン側のリモコンモードを本体側で設定した［リモコンモード］に合わせてください。

リモコンの設定をお買い上げ時の設定に戻すには

リモコンのふたを開け 時間表示 **（時間表示）を押しながら、** TV電源 **、** 決定 **の順番で3つのボタンを同時に押す。**

4つの操作機器切換用ボタンがすべて点灯します。

手を離してランプが消灯すれば設定が戻ります。

ご注意

「リモコン側のリモコンモードを変更するには」の手順2と3で10秒以内に操作を始めなかったときは、手順1からやり直してください。

接続・設定する

HDMI機器制御機能を利用する

HDMI機器制御対応のソニー製テレビと本機をHDMIケーブル(別売り)でつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

1 本機とテレビをHDMIケーブルでつなぐ。
接続方法について詳しくは、「[準備3]テレビをつなぐ」(22ページ)をご覧ください。

2 つないだ機器でHDMI機器制御の設定をする。
手順**1**でHDMI機器制御設定連動に対応しているソニー製テレビにつないだ場合は、本機の電源を入れてからテレビのHDMI機器制御設定を有効にしてください。テレビのHDMI機器制御を有効にすると、本機のHDMI機器制御設定も自動的に[入]になります。
本機側の設定については[本体設定]の[HDMI機器制御](「操作編」の「本機の設定を変更する」)をご覧ください。
テレビ側の設定については、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。

HDMI機器制御について

HDMI機器制御とは

HDMI機器制御は、HDMIで規格化されているHDMI CEC(Consumer Electronics Control)を使った機器間相互制御の機能です。
ソニーのHDMI機器制御対応のテレビやAV アンプなどをHDMIケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMI機器制御機能を使うには

つなぐテレビやAVアンプもHDMI機器制御対応である必要があります。対応していないAVアンプを使用するとHDMI機器制御機能が誤動作することがあります。それぞれの対象機器で、正しい接続・設定をおこなってください。

対応機器をつなぐ

HDMIケーブルでつなぎます。接続にはHDMIロゴがついているものをお使いください。

ブラビアリンク対応機器についての情報は、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/

また、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)に準拠している一部の他社製テレビで動作します。(ただし、保証するものではありません)

HDMI機器制御でできること

- テレビの電源をテレビリモコンの電源ボタンで切ると、連動して本機の電源も切ることができます(本機で録画中などのときは、電源は切れません)。ただし、本機の電源を切っても、テレビの電源は切れません。
- 本機で以下のボタンを押すと、テレビの電源が自動的に入り、テレビの入力が本機をつないでいる入力に自動的に切り換わります。
  - 電源
  - ホーム
  - 見る
  - 予約する
  - 再生
  - 番組表
- テレビのホームメニューの外部入力から本機を選ぶと本機の電源が入りテレビの入力が切り換わります。
- テレビCH設定連動機能に対応したテレビをつないでいる場合、テレビのチャンネル設定をそのまま本機のチャンネル設定に反映できます。詳しくは、40ページをご覧ください。
- ブラビアリンクに対応したテレビをつないでいる場合、テレビリモコンをつかって本機の基本的な操作ができます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- オートジャンルセレクター機能に対応したAVアンプをつないでいる場合、最適なサウンドフィールドを自動的に選びます。詳しくはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。
- <ブラビア>につないでいる場合、テレビの電源状態に同期して本機の起動時間を短縮することができます。詳しくは[本体設定]の[HDMI機器制御高速連動]の設定(「操作編」の「本機の設定を変更する」)をご覧ください。

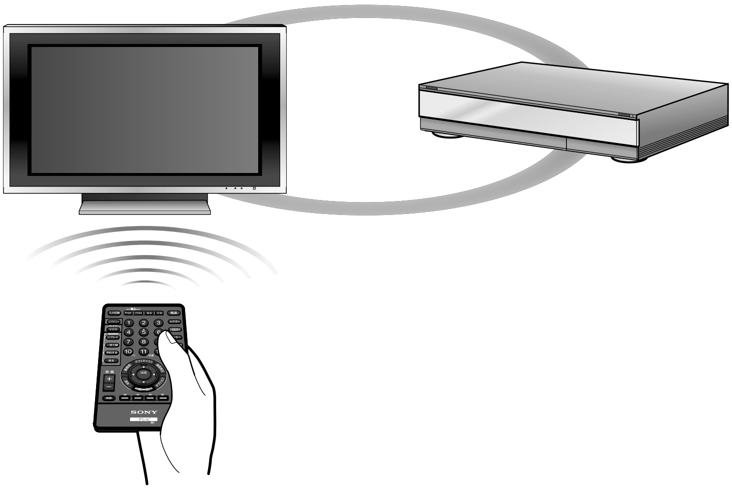
ご注意

録画機器は3台までHDMI機器制御できます。

ブラビアのリモコンで本機を簡単に操作する（ブラビアリンク）

ブラビアリンクとは

「ブラビアリンク」は、HDMIケーブルでさまざまな機器をつなぎ、HDMIケーブルのコントロール信号（HDMI CEC）を使用して、＜ブラビア＞のリモコンで連動操作ができるソニー商品の機能名称です。



ブラビアリンクに対応している機器

BRAVIA Link
リンクメニュー対応

左のロゴが表記されている機器で、ブラビアリンクを使えます。

ブラビアリンク対応機器についての情報は、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/bravialink/

ブラビアリンクに対応していない機器

ブラビアリンクロゴが表記されていない機器では、ブラビアリンクは使えません。また、他社製品とつないだときの動作は保証できません。

ブラビアリンクでできること

＜ブラビア＞付属のマルチリモコンの右記ボタンを押すだけで、簡単に連動操作できます。**マルチリモコンから録画予約する場合に、（番組表）を押して番組を選んで録画予約しても録画されない場合があります。必ず 予約する から行ってください。**

- 見る：録画した映像（タイトル）を一覧で表示。タイトルを選ぶと再生開始します。
  タイトルはテレビのマルチリモコンの↑↓←→と 決定 で選びます。
- 予約する：録画予約画面を表示。操作はテレビのマルチリモコンの↑↓←→と 決定 で行います。
- ●見て録：テレビのデジタル放送を見ているときに押すと、見ている番組を録画します（地上アナログ放送は録画できません）。
- リンクメニュー：本機で映像（タイトル）を見ているときに押すと、操作メニューが表示されます。操作はテレビのマルチリモコンの↑↓←→と 決定 で行います。
  テレビを見ているときに押すと、テレビにつないだブラビアリンク対応機器一覧を表示します。一覧の中から本機を選ぶと、テレビの入力が切り換わり、本機の電源が入ります。

その他にできること

本機で再生などの操作を行うと、テレビの電源が入り、入力が自動的に切り換わります。
テレビの電源と本機の電源は、連動して切ることができます（録画中などのときは、電源は切れません）。

ちょっと一言

本機と＜ブラビア＞とシアタースタンドシステムを組み合わせてつなぐと、より迫力のあるサラウンド音声を楽しめます。本機をシアタースタンドシステムにつないだときは、シアタースタンドシステムとテレビを、HDMIケーブルと光デジタル接続ケーブルでつないでください。

ご注意

リモコンの使い方について詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

接続・設定する

次のページにつづく⇨

ブラビアリンクを利用するための準備

1 HDMIケーブルをつなぐ
2 HDMI機器制御の設定をする
3 テレビのリモコンに登録する

1 HDMIケーブルをつなぐ

本機とテレビをHDMIケーブルでつないでください。HDMIケーブルを使った接続方法については、「[準備3]テレビをつなぐ」(22ページ)をご覧ください。

2 HDMI機器制御の設定をする

接続が完了したら、テレビのHDMI機器制御の設定を行います。

1 本機の電源を入れる。
手順2以降は、テレビに付属のリモコンを使って操作してください。

2 テレビ側でHDMI機器制御の設定を行う。
この設定はテレビのリモコンを使って行ってください。
テレビのHDMI機器制御の設定について詳しくは、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
テレビ側でHDMI機器制御の設定を行うと、本機の設定も自動的に[入]になります。

3 テレビのリモコンに登録する

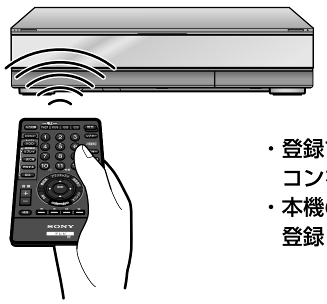
ブラビアリンクを利用するには、テレビのリモコンに本機を登録する必要があります。お使いのテレビのリモコンによってリモコンの登録方法が異なります。

マルチリモコンに登録する

1 「ブラビアリンクを利用するための準備」の1と2を行う
必ず上記の設定が終わってからマルチリモコンの登録をしてください。

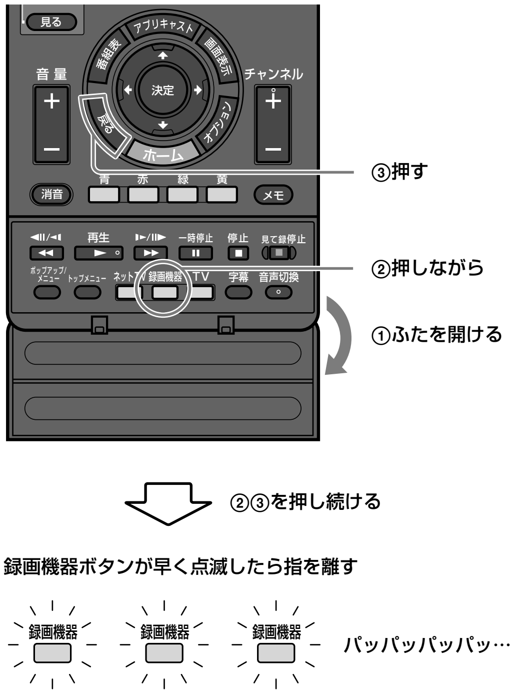
2 本機の電源を切る。

3 本機の電源を入れる。
本機の表示窓に「PLEASE WAIT」や「LOAD」が表示されます。これらの表示が消え、完全に本機が起動してから、このあとのリモコンの登録を行ってください。
また、このあとの登録手順は、テレビのマルチリモコンを本機と30cm程度まで近づけて操作してください。
本機の電源を入れてから**5分**以内に登録してください。



・登録するときは本機にマルチリモコンを近づけて操作してください
・本機の電源を入れてから5分以内に登録してください

4 マルチリモコンのふたを開け(①)、録画機器 を押しながら(②)、戻る(戻る)を押し続ける(③)。



ちょっと一言

登録するときは機器に近づけてください。

ご注意

- マルチリモコンの登録がうまくいかない場合は、[本体設定]の[HDMI機器制御](「操作編」の「本機の設定を変更する」)の設定が[入]になっているかご確認ください。[切]にすると、ブラビアリンクやテレビに付属のマルチリモコンが利用できなくなります。
- [設定初期化]の[お買い上げ時の状態に設定](「操作編」の「本機の設定を変更する」)で、[本体設定]または[すべての設定の内容]を選ぶと、[HDMI機器制御]の設定が[切]に戻り、ブラビアリンクやテレビに付属のマルチリモコンが利用できなくなります。もう一度「ブラビアリンクを利用するための準備」を行ってください。

5 数字ボタンの ❶ を押す。

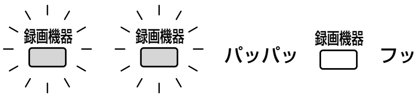




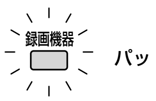
6 決定 を押す。



正しく登録されたとき
録画機器ボタンが2回点滅して消灯



登録されなかったとき
録画機器ボタンが点灯し続ける



登録されなかったときは、
もう一度 決定 を押してください

マルチリモコンの登録を確認するには

録画機器 を押して、ボタンが点灯したら正しく登録できています。正しく登録されると、本機を操作できます。

操作できないときは

本機の電源を入れてから**5分**経過してしまった可能性があります。いったん本機の電源を切り、「❸ テレビのリモコンに登録する」－「マルチリモコンに登録する」の手順**1**から登録し直してください。
マルチリモコンのボタンを押して本機前面の表示窓に「BD1」、「BD2」、「BD3」のいずれかが表示されたときは、マルチリモコン側のリモコンモードと本機の本体側に設定されているリモコンモードが異なっている可能性があります。「マルチリモコン側のリモコンモードを変更するには」をご覧になり、マルチリモコンのリモコンモードを変更して下さい。

マルチリモコン側のリモコンモードを変更するには

録画機器を押しながら、本機の本体側のリモコンモードに対応した数字ボタンを押し続ける。

確定すると、録画機器ボタンが2回点滅します。

本機の本体側のリモコンモード	数字ボタン
BD1	❶
BD2	❷
BD3（お買い上げ時の設定）	❸

接続・設定する

ご注意

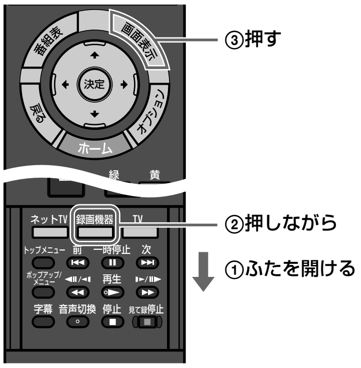
- リモコンの使い方について詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビのリモコンの電池を取り出したり、交換したりすると、設定した内容や登録したリモコンモードが消えることがあります。その場合は、もう一度設定し直してください。

次のページにつづく⇨

テレビのリモコンに登録する

以下の機種をお使いのときは次の手順でテレビのリモコンに本機を登録してください。
<ブラビア>KDL-32J5/KDL-26J5/KDL-22J5/KDL-19J5/KDL-26J1/KDL-20J1/KDL-46V3000/KDL-40V3000

1 **テレビのリモコンのふたを開け(①)、録画機器を先に押しながら(②)、(画面表示)を押す(③)。**



2 **本機の本体側で設定したリモコンモードに対応する、テレビのリモコンのリモコンモード(3桁)を数字ボタンを使って入力する。**

本機の本体側のリモコンモード	手順2で入力するテレビのリモコンのリモコンモード
BD1	101
BD2	102
BD3（お買い上げ時の設定）	103

お買い上げ時の本機のリモコンモードの設定は「BD3」です。本機のリモコンモードを変更していないときは「103」を入力してください。

0を入力するときは ⑩ を押してください。「103」と入力するときは、リモコンの ①、⑩、③ を順番に押してください。

リモコンモードの入力が完了すると、テレビのリモコンの録画機器ボタンが点灯します。

3 **決定 を押す。**

正しく登録されたときは、録画機器ボタンが2回点滅して消灯します。

登録されなかったときは、録画機器ボタンが5回点滅します。手順1からもう一度やり直してください。

本機で「見て録」を利用するときのご注意

- 地上アナログ放送には対応していません。
- 地上デジタル放送のラジオ放送やデータ放送には対応していません。
- 「カードエラー」と表示されたときはB-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
- コピー制御信号により録画できない番組や本機で受信できない番組、未購入の番組、視聴年齢制限を越えた番組では利用できません。
- 本機のHDDに録画した映像(タイトル)が498以上あるときは利用できません。HDDに録画したタイトルを削除してから利用してください。
- 「見て録」開始時に本機のHDDの残量を算出します。HDDの残量が不足しているときは「見て録」を開始できません。HDDに録画したタイトルを削除してください。
- 本機の録画予約と「見て録」が重複した場合、「見て録」は実行されません。「見て録」を実行したいときは重複している録画予約を取り消してください。
- 「見て録」はテレビのチューナーでテレビ番組を見ているときに、利用できます。
- 番組情報が取得できない場合、利用できません。アンテナの接続を確認してください。
- 本機の以下の機能を利用しているときは、利用できません。
  - 録画中のとき(BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-T75/BDZ-A950/BDZ-A750は「録画1」で録画中のとき)
  - ダビング中のとき
  - おでかけ／おかえり転送中のとき(BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-A950/BDZ-A750のみ)
  - HDV/DVダビング中のとき(BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-L55/BDZ-A950/BDZ-A750のみ)
  - x-Pict Story HD作成中のとき(BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-L55/BDZ-A950/BDZ-A750のみ)
  - x-ScrapBook書き出し中のとき(BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-L55/BDZ-A950/BDZ-A750のみ)
  - まるごとディスクコピーの書き込みを利用中のとき
- 本機の以下の機能を利用しているとき「見て録」を行うと、利用中の機能は停止します。
  - まるごとディスクコピーの読み込み
  - タイトルの再生
  - タイトルの編集
- 「見て録」中に番組情報が変化しても、番組を追跡することはできません。
- 「見て録」は本機の録画停止ボタンでも停止できます。
- x-Pict Story HD や x-ScrapBook再生中に「見て録」を押すと、x-Pict Story HD や x-ScrapBookの再生が停止します(BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-L55/BDZ-A950/BDZ-A750のみ)。
- 「見て録」を開始した時点で、番組の残り時間が3分以下の場合は、「見て録」の終了時間は次の番組の終了時間になります。

ご注意

詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

その他

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ 62
デジタル放送お問い合わせ先一覧..69
各部の名前 70
索引...76

ソフトウェア等に関する重要なお知らせ

この度は弊社製品（以下「本製品」）をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェア等に関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品に含まれるソフトウェア（以下「許諾ソフトウェア」とします）につきまして、下記のソフトウェア使用許諾契約書をお読みください。
なお、本製品にはGNU General Public LicenseまたはGNU Lesser General Public Licenseの適用を受けるソフトウェアが含まれていますが、かかるソフトウェアは「許諾ソフトウェア」には含まれず、下記ソフトウェア使用許諾契約書の対象とはなりませんのでご注意ください。GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアの使用許諾条件については、「GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ」をご覧ください。
また、同様に、本製品には「OpenSSL（「Original SSLeay」ライブラリを含む）」および「NetBSD」、「JPEG」、「fdlibm」、「Root Certificate」が含まれていますが、下記ソフトウェア使用許諾契約書と、各ソフトウェアに関する「お知らせ」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬がある場合には、各「お知らせ」にかかるソフトウェアの範囲において、各「お知らせ」に記載されております使用許諾条件が優先いたします。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様（以下「使用者」とします）と弊社（以下「ソニー」とします）との間での許諾ソフトウェアの使用許諾に関する条件を規定しております。

第1条（総則）
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利およびこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対しての使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条（使用権）
1．ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2．本契約によって生ずる許諾ソフトウェアの使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3．許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアを営利目的を含むいかなる目的でも貸与または頒布する事はできません。

第3条（許諾条件）
1．使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書に記載の使用方法に沿って使用するものとします。
2．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等の一部または全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
3．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を日本国外に輸出、移送をしてはならないものとします。
4．使用者は、許諾ソフトウェアに関しリバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
5．使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
6．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を再使用許諾、貸与またはリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
7．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類等を使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
8．使用者は、許諾ソフトウェアおよび関連書類の著作権もしくは商標にかかる表示等の一部または全部を除去、変更、追加してはならないものとします。
9．使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切（全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書および本契約書を含みます）を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェアおよび前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することが出来るものとします。なお、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）
許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ソニーまたはソニーが許諾ソフトウェアの再許諾権を許諾された原権利者（以下原権利者とします）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェアおよびその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ソニーおよび原権利者の免責）
ソニーおよび原権利者は、許諾ソフトウェアについて何等の保証を行うものではなく、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第6条（第三者に対する責任）
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争を生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニーおよび原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（自動アップデート）
1．許諾ソフトウェアにはソニーまたはソニーの指定する第三者のサーバーに本製品を接続した際に許諾ソフトウェアが自動的にアップデートされる機能を有するものがあります。使用者が、この自動アップデートの機能を用いない旨設定した場合、または、アップデートをするか否かを問わせる設定にした場合で且つ使用者がアップデートの実行を拒否した場合、使用者による許諾ソフトウェアの使用に関してソニーは何等の責任を負わないものとします。
2．使用者は、前項に従い自動アップデートの機能を有効にした場合、（A）許諾ソフトウェアのセキュリティ機能の向上、エラーの修正、アップデート機能の向上等の目的で許諾ソフトウェアが適宜自動的にアップデートされること、および（B）当該許諾ソフトウェアのアップデートに伴い、許諾ソフトウェアの機能が追加、変更または削除されることがあることに同意するものとします。

第8条（秘密保持）
使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報および本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ソニーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとします。

第9条（契約の解除）
ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
（1） 本契約に定める条項に違反したとき
（2） 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第10条（許諾ソフトウェアの廃棄）
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェア、関連書類およびその複製物を廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れするものとします。

第11条（許諾ソフトウェアの更新）
1．使用者が、ネットワークからのダウンロード（第7条に定める自動アップデートを含む）あるいはソニーが提供または販売する更新用CDにより許諾ソフトウェアの更新を行う場合、更新後のソフトウェアについても本契約が適用されるものとします。ただし、ソニーより別の契約条件が提示される場合はこの限りではありません。なお、使用者は、更新用CDを許諾ソフトウェアの更新以外の目的で使用しないものとします。
2．前項に定める更新を行った結果、本製品に何らかの不都合が生じた場合には、ソニーの相談窓口へお問い合わせください（➡裏表紙）。

第12条（その他）
1．本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2．本契約に定めなき事項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

GNU GPL/LGPL適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License（以下「GPL」とします）またはGNU Lesser General Public License（以下「LGPL」とします）の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel.tar.gz
pump
lrzsz
busybox
gcc
glibc
dosfstools
lzo
mkcramfs
hostname
scfs
libptp
libusb
procps
e2fsprogs
coreutils

これらのソースコードは、Webでご提供しております。ダウンロードする際には、以下のURLにアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。
以下、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE の原文を記載します。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Preamble

The Licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR

次のページにつづく⇨

PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place - Suite 330, Boston, MA 02111-1307, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details
type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright
interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written
by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

    a) The modified work must itself be a software library.
    b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
    c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
    d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its

purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and assessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER

次のページにつづく⇨

EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and an idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

OpenSSLソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL（「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む）」が搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。
パッケージ名 sony-target-grel-openssl-0.9.7l-020202.src.rpm

<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Original SSLeay

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

FreeType

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

NetBSDソフトウェアに関するお知らせ

BSD License

Copyright (c) 1994-2004 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT

(INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by Adam Glass.
This product includes software developed by Bill Paul.
This product includes software developed by Charles M. Hannum.
This product includes software developed by Christian E. Hopps.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.
This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Christos Zoulas.
This product includes software developed by Gardner Buchanan.
This product includes software developed by Gordon W. Ross
This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.
This product includes software developed by Manuel Bouyer.
This product includes software developed by Rolf Grossmann.
This product includes software developed by TooLs GmbH.
This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.
This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Wasabi Systems, Inc.
This product includes software developed for the NetBSD Project by Matthias Drochner..

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
パッケージファイル名 sony-target-grel-libjpeg-6b-020201.src.rpm

以上

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:
The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (c) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:
(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

PuTTYソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、PuTTYソフトウェアの一部のコードが搭載されております。
ソースパッケージ：putty-0.58.tar.gz
ライセンス条文：http://www.chiark.greenend.org.uk/~sgtatham/putty/licence.html

PuTTY is copyright 1997-2006 Simon Tatham.

Portions copyright Robert de Bath, Joris van Rantwijk, Delian Delchev, Andreas Schultz, Jeroen Massar, Wez Furlong, Nicolas Barry, Justin Bradford, Ben Harris, Malcolm Smith, Ahmad Khalifa, Markus Kuhn, and CORE SDI S.A.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL SIMON TATHAM BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

fdlibmソフトウェアに関するお知らせ

@(#)fdlibm.h 1.5 95/01/18
Copyright (C) 1993 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.

Developed at SunSoft, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted,provided that this notice is preserved.

Root Certificatesに関するお知らせ

In addition, the Runtimes and Runtime Components may contain one or more root certificates (herein referred to as "Root Certificates"). You may not modify the Root Certificates.

Nano-XMLに関するお知らせ

Copyright (C) 2000-2002 Marc De Scheemaecker, All Rights Reserved.
This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

MPEG-2 Videoに関するお知らせ

ANY USE OF THIS PRODUCT OTHER THAN CONSUMER PERSONAL USE IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-2 STANDARD FOR ENCODING VIDEO INFORMATION FOR PACKAGED MEDIA IS EXPRESSLY PROHIBITED WITHOUT A LICENSE UNDER APPLICABLE PATENTS IN THE MPEG-2 PATENT PORTFOLIO, WHICH LICENSE IS AVAILABLE FROM MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206.

MPEG-4 AVCおよびVC-1に関するお知らせ

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE AND THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO

(i)ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO")
AND/OR
(ii)DECODE AVC VIDEO AND VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD THAT WERE ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND

NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE HTTP://MPEGLA.COM <HTTP://MPEGLA.COM>

SEEに関するお知らせ

Copyright (c) 2003, 2004
David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Mr Leonard nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY DAVID LEONARD AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL DAVID LEONARD OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

次のページにつづく⇨

Anti-Grain Geometryに関するお知らせ

The Anti-Grain Geometry Project
A high quality rendering engine for C++
http://antigrain.com

Anti-Grain Geometry - Version 2.3
Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies.
This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

libpixmanに関するお知らせ

libpixregion

Copyright 1987, 1998 The Open Group

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

Copyright 1987 by Digital Equipment Corporation, Maynard, Massachusetts.

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Digital not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

DIGITAL DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL DIGITAL BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----

libic

Copyright © 2001 Keith Packard

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Keith Packard not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Keith Packard makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

KEITH PACKARD DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL KEITH PACKARD BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

----

slim

slim is Copyright © 2003 Richard Henderson

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Richard Henderson not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Richard Henderson makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

RICHARD HENDERSON DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL RICHARD HENDERSON BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

expatに関するお知らせ

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

CURLに関するお知らせ

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2009, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

デジタル放送お問い合わせ先一覧

2009年3月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS/110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
WOWOW*[1]	0120-580807 受付 9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル*[2]	スター・チャンネル総合案内窓口 0570-013-111 または 045-339-0399 受付10:00 ～ 18:00（年中無休） http://www.star-ch.jp/

*[1] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（WOWOW navi：791、792ch）は無料放送です。

*[2] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル衛星サービス	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
スカパー！e２（CS1・CS2）	■ カスタマーセンター 「スカパー！e２カスタマーセンター」 0570-08-1212 PHS、IP電話のお客様は 045-276-7777 受付 10:00 ～ 20:00（年中無休） ■ ホームページ 「スカパー！e２ホームページ」 http://www.e2sptv.jp

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

機関	ホームページアドレス
（社）デジタル放送推進協会（Dpa）	http://www.dpa.or.jp

地上デジタル放送の受信相談について

機関	お問い合わせ電話番号
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話：0570-07-0101 （平日 9:00 ～ 21:00、 土・日・祝日 9:00 ～ 18:00）

B-CASカードについて

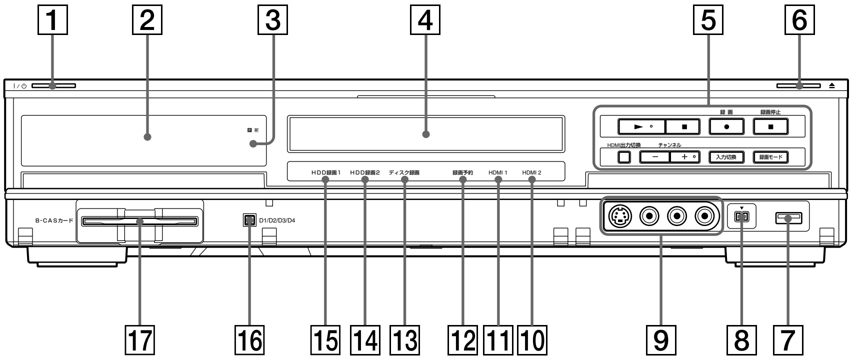
機関	お問い合わせ電話番号
B-CASカスタマーセンター	電話：0570-000-250

各部の名前

本体のボタンはリモコンの同じ名前のボタンと同じ働きをします。
*のボタンには凸(突起)がついています(チャンネル+/−ボタンは「+」のみ)。操作の目印としてお使いください。
各部の説明は(　)内のページや「操作編」の「各部の名前」をご覧ください。

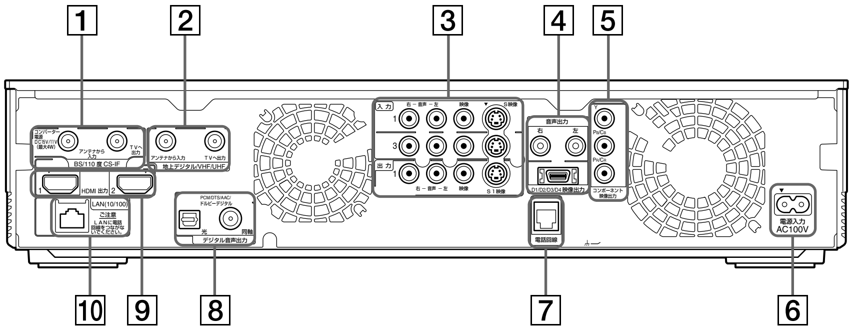
本体

BDZ-X100/BDZ-X95 本体前面



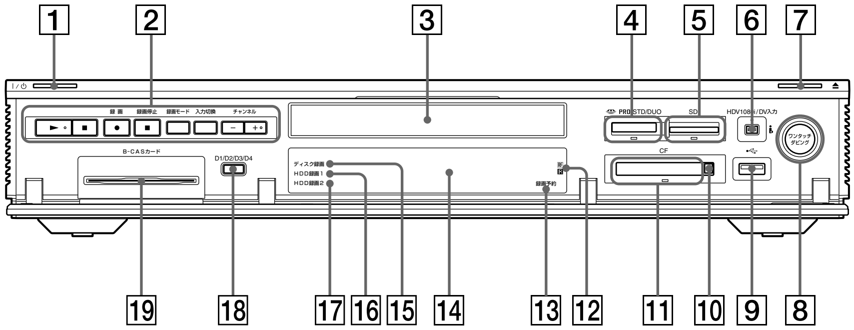
1. I/⏻(電源)ボタン(37)
2. 表示窓(74)
3. リモコン受光部(13)
4. ディスクトレイ
5. ►(再生)*ボタン
   ■(停止)ボタン
   録画●ボタン
   録画停止■ボタン
   録画モードボタン
   入力切換ボタン(19)
   チャンネル−/+*ボタン
   HDMI出力切換ボタン
6. ⏏(開/閉)ボタン
7. USB端子
8. HDV1080i/DV入力端子
9. 入力2端子
10. HDMI2ランプ
11. HDMI1ランプ
12. 録画予約ランプ
13. ディスク録画ランプ
14. HDD録画2ランプ
15. HDD録画1ランプ
16. D1/D2/D3/D4切換ボタン
17. B-CASカード挿入口(35)

BDZ-X100/BDZ-X95 本体後面



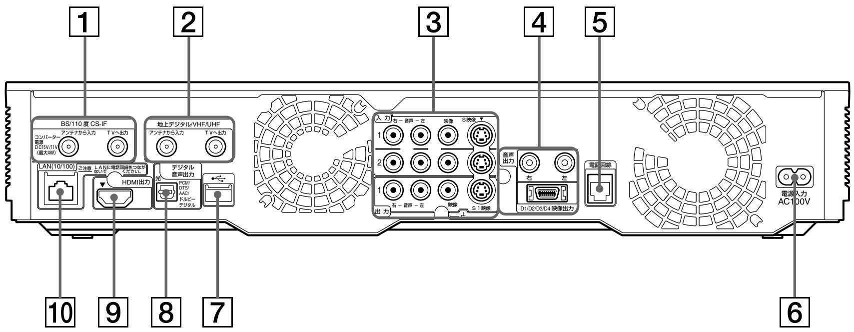
1. BS/110度CS-IF入力/出力端子(16)
2. 地上デジタル/ VHF/UHF入力/出力端子(16)
3. 入力1音声/映像/ S映像端子(29)
   入力3音声/映像/ S映像端子(29)
   出力1音声/映像/ S1映像端子(23)
4. 音声出力 右/左端子(27)
   D1/D2/D3/D4映像出力端子(23)
5. コンポーネント映像出力
   Y、P_B/C_B、P_R/C_R端子(23)
6. 電源入力端子(36)
7. 電話回線端子(31)
8. デジタル音声出力 光端子(26)
   デジタル音声出力 同軸端子(27)
9. HDMI出力 1端子(23、24、26)
   HDMI出力 2端子(24)
10. LAN(10/100)端子(32)

BDZ-L95/BDZ-L55 本体前面



1 I/⏻（電源）ボタン（37）
2 ►（再生）*ボタン
■（停止）ボタン
録画●ボタン
録画停止■ボタン
録画モードボタン
入力切換ボタン（19）
チャンネル－／＋*ボタン
3 ディスクトレイ
4 “メモリースティック”スロット／ランプ（BDZ-L95のみ）
5 SDカードスロット／ランプ（BDZ-L95のみ）
6 HDV1080i/DV入力端子
7 ⏏（開／閉）ボタン
8 ワンタッチダビングボタン／ランプ
9 USB端子
10 CFスロットイジェクトボタン（BDZ-L95のみ）
11 CFスロット／ランプ（BDZ-L95のみ）
12 リモコン受光部（13）
13 録画予約ランプ
14 表示窓（74）
15 ディスク録画ランプ
16 HDD録画1ランプ（BDZ-L95のみ）
HDD録画ランプ（BDZ-L55のみ）
17 HDD録画2ランプ（BDZ-L95のみ）
18 D1/D2/D3/D4切換ボタン
19 B-CASカード挿入口（35）

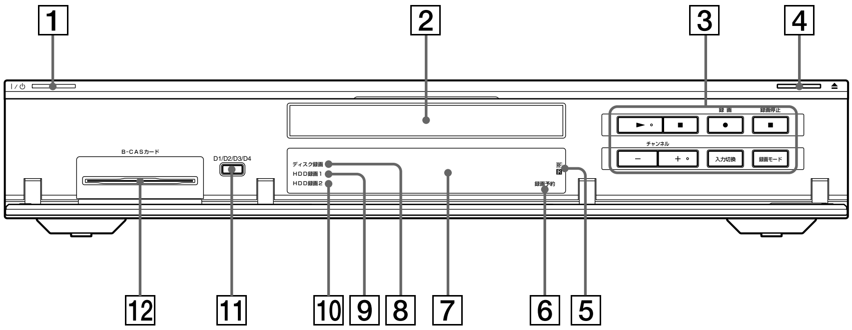
BDZ-L95/BDZ-L55 本体後面



1 BS/110度CS-IF入力／出力端子（16）
2 地上デジタル／ VHF/UHF入力／出力端子（16）
3 入力1音声／映像／ S映像端子（29）
入力2音声／映像／ S映像端子（29）
出力1音声／映像／ S1映像端子（23）
4 音声出力 右／左端子（27）
D1/D2/D3/D4映像出力端子（23）
5 電話回線端子（31）
6 電源入力端子（36）
7 USB端子
8 デジタル音声出力 光端子（26）
9 HDMI出力端子（23、26）
10 LAN(10/100)端子（32）

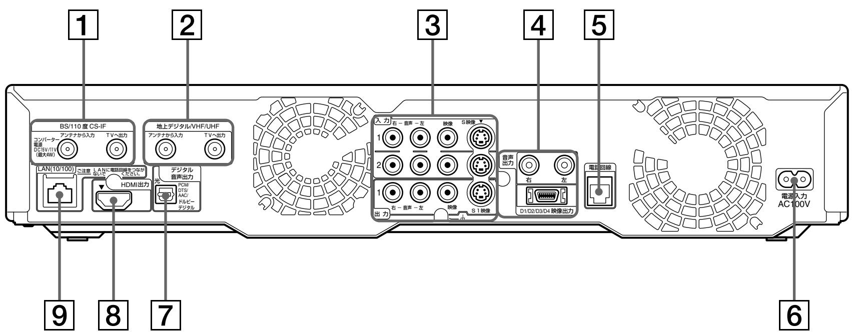
次のページにつづく⇨

BDZ-T75/BDZ-T55 本体前面



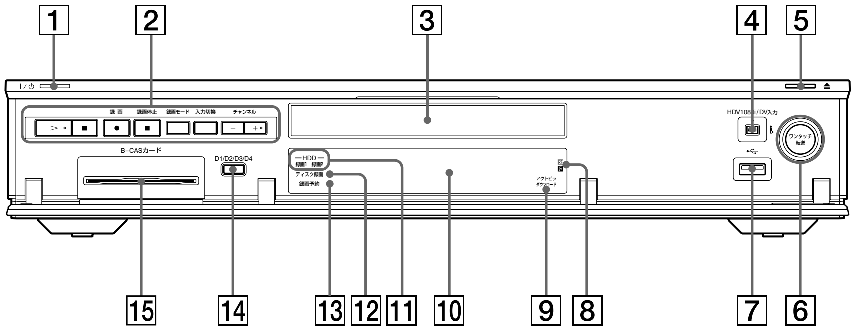
1 I/⏻（電源）ボタン（37）
2 ディスクトレイ
3 ►（再生）*ボタン
■（停止）ボタン
録画●ボタン
録画停止■ボタン
録画モードボタン
入力切換ボタン（19）
チャンネル－／＋*ボタン
4 ⏏（開／閉）ボタン
5 リモコン受光部（13）
6 録画予約ランプ
7 表示窓（74）
8 ディスク録画ランプ
9 HDD録画1ランプ（BDZ-T75のみ）
HDD録画ランプ（BDZ-T55のみ）
10 HDD録画2ランプ（BDZ-T75のみ）
11 D1/D2/D3/D4切換ボタン
12 B-CASカード挿入口（35）

BDZ-T75/BDZ-T55 本体後面



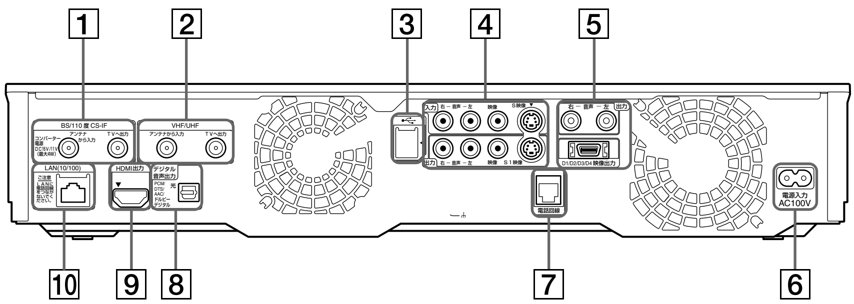
1 BS/110度CS-IF入力／出力端子（16）
2 地上デジタル／ VHF/UHF入力／出力端子（16）
3 入力1音声／映像／ S映像端子（29）
入力2音声／映像／ S映像端子（29）
出力1音声／映像／ S1映像端子（23）
4 音声出力 右／左端子（27）
D1/D2/D3/D4映像出力端子（23）
5 電話回線端子（31）
6 電源入力端子（36）
7 デジタル音声出力 光端子（26）
8 HDMI出力端子（23、26）
9 LAN(10/100)端子（32）

BDZ-A950/BDZ-A750 本体前面



1 I/⏻（電源）ボタン（37）
2 ►（再生）*ボタン
■（停止）ボタン
録画●ボタン
録画停止■ボタン
録画モードボタン
入力切換ボタン（19）
チャンネル－／＋*ボタン
3 ディスクトレイ
4 HDV1080i/DV入力端子
5 ⏏（開／閉）ボタン
6 ワンタッチ転送ボタン／ランプ
7 USB端子
8 リモコン受光部（13）
9 アクトビラダウンロードランプ
10 表示窓（74）
11 HDD録画1ランプ
HDD録画2ランプ
12 ディスク録画ランプ
13 録画予約ランプ
14 D1/D2/D3/D4切換ボタン
15 B-CASカード挿入口（35）

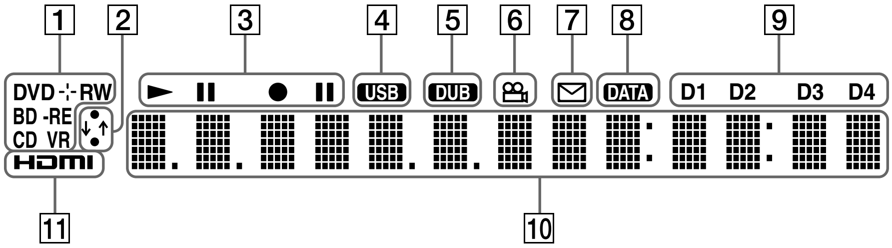
BDZ-A950/BDZ-A750 本体後面



1 BS/110度CS-IF入力／出力端子（16）
2 VHF/UHF入力／出力端子（16）
3 USB端子
4 入力 音声／映像／ S映像端子（29）
出力 音声／映像／ S1映像端子（23）
5 音声出力 右／左端子（27）
D1/D2/D3/D4映像出力端子（23）
6 電源入力端子（36）
7 電話回線端子（31）
8 デジタル音声出力 光端子（26）
9 HDMI出力端子（23、26）
10 LAN(10/100)端子（32）

次のページにつづく⇨

本体表示窓



1 BD/DVD/CD表示（種類、記録フォーマット）
BDとDVD（またはCD）のハイブリッドディスクの場合は、BDを表示します。

2 通信表示（30）
LANや電話回線で通信中であることを表示します。

3 HDD/BD/DVD再生記録表示
それぞれのディスクの再生／記録動作を表示します。

4 USB表示（BDZ-X100/BDZ-X95/BDZ-L95/BDZ-L55/BDZ-A950/BDZ-A750のみ）
USB機器接続時／おでかけ転送ファイル作成時に点灯、ダビング時／おでかけ・おかえり転送時に点滅します。

5 ダビング表示
ダビング中に点灯します。

6 ANGLE（アングル）表示

7 お知らせ（メール）表示
未読メールがあるときに点灯します。

8 番組表受信表示

9 D映像出力表示（22）

10 主に次の情報を表示します。
タイトル／チャプター／トラック番号表示
再生経過時間／残量時間表示
録画経過時間表示
録画モード
ダビング進捗状況表示
現在日時
BS/CS ／チャンネル／外部入力表示
BD/DVD/CD表示
各種メッセージ表示
リモコンモード（54）

11 HDMI表示（22、26）
HDMIケーブルで本機に接続された機器が、本機によって認識されている時に点灯します。

ちょっと一言

表示窓の明るさを設定することができます。
の[本体設定]－[本体表示の明るさ]で設定してください。

表示窓の表示文字

使用状況によって表示される内容は異なります。下記は表示窓に表示される文字の一例です。

ビデオカテゴリーを選んだとき

`HOME VIDEO`

ディスクが入っていないとき

`NO DISC`

ディスクがエラーで読み込めないとき

`CAN'T USE`

ディスクのデータが一杯のとき

`DISC FULL`

ディスク読み込み中のとき

`LOAD`

録画終了処理中のとき

`INFO WRITE`

ソフトウェアアップデート実行中のとき*

`UPDATE XX%`

BDクローズ中のとき

`BD CLOSE`

起動などの処理中のとき

`PLEASE WAIT`

ディスクフォーマット中のとき

`FORMAT`

ファイナライズ中のとき

`FINALIZE`

クイックタイマー動作中のとき*

`HDD XXX`

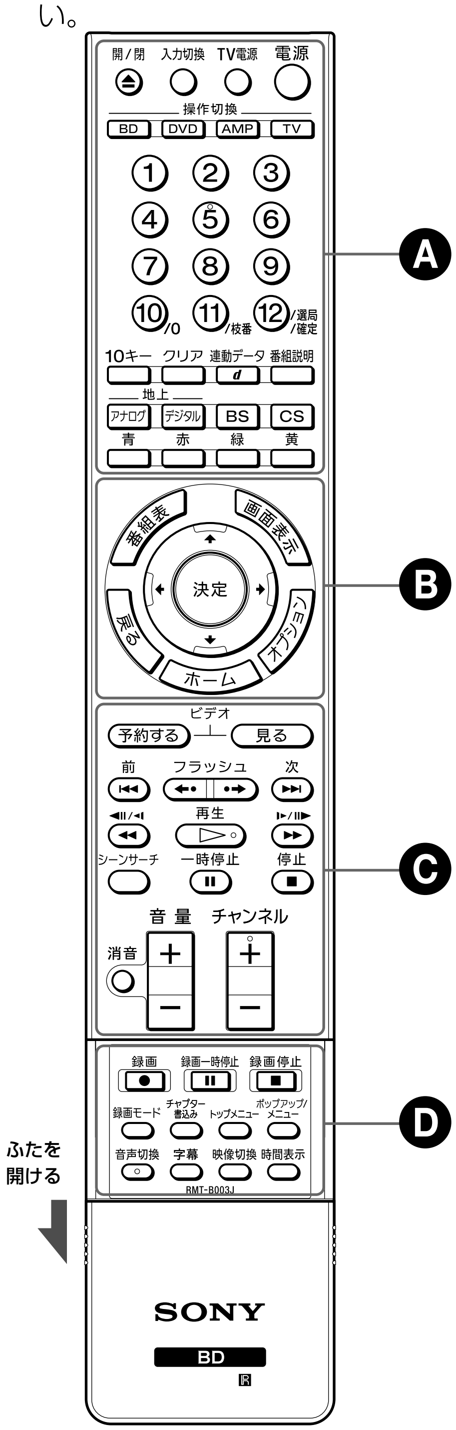
* XXには数字が表示されます。

リモコン

リモコンのボタンは本体の同じ名前のボタンと同じ働きをします。

＊のボタンには凸（突起）がついています。（数字ボタンは「５」のみ、チャンネル＋／－ボタンは「＋」のみ）。操作の目印としてお使いください。

再生中に操作できるリモコンのボタンの詳細については、「操作編」の「各部の名前」をご覧ください。



A 表示切り換え・テレビ操作部

開／閉	トレイ開／閉
入力切換	入力切換（19、28、29、51）
TV電源	TV電源（51、55）
電源	電源（37、38、51）
BD DVD AMP TV	操作機器切換用ボタン（13、51）
1～12	数字ボタン*（37、45、51、55）
10キー	10キー
クリア	クリア
連動データ	連動データ
番組説明	番組説明
アナログ デジタル BS CS	放送切換（地上アナログ／地上デジタル／ BSデジタル／ 110度CSデジタル）
青 赤 緑 黄	カラーボタン

B 画面操作部

番組表	番組表
画面表示	画面表示（52）
戻る	戻る（37）
↑↓←→/決定	↑↓←→ ／決定（37）
オプション	オプション
ホーム	ホーム（37）

C 再生操作部

予約する	予約する
見る	見る
フラッシュ	フラッシュ ←/→
前 次	前／次
◀II/◀I I▶/II▶	早戻し／早送り、コマ戻し／コマ送り、スロー
再生	再生*
シーンサーチ	シーンサーチ
一時停止	一時停止
停止	停止
消音	消音
音量 ＋／－	音量＋／－（51、53）
チャンネル ＋／－	チャンネル＋* ／－（51）

D 録画・BD・テレビ操作部

録画	録画
録画一時停止	録画一時停止
録画停止	録画停止
録画モード	録画モード
チャプター書込み	チャプターマーク書込み
トップメニュー	トップメニュー
ポップアップ/メニュー	ポップアップ／メニュー
音声切換	音声切換*
字幕	字幕
映像切換	映像切換
時間表示	時間表示（55）

索引

五十音順

あ行

映像／音声ケーブル.......... 22
音声ケーブル 22

か行

ガイドチャンネル.............. 47
外部チューナー 29
［かんたん設定］ 37
コンポーネント映像ケーブル
.... 22

さ行

スター・チャンネル.......... 69

た行

デジタル放送用ICカード
（B-CASカード）.............. 35
電源コード........................ 36
電話回線............................ 30

な行

ネットワーク 30

は行

ハードディスク 7
表示窓................................ 74
ブラビアリンク 57
放送局表............................ 47
ホスト局............................ 46

ま行

マルチリモコン 57

や行

有料番組............................ 35

ら行

リモコン.......................51, 75
リモコンモード 54

アルファベット

AVアンプ............................ 25
B-CASカード...................... 35
BD CLOSE.......................... 74
CAN'T USE........................ 74
DISC FULL 74
D映像ケーブル 22
FINALIZE........................... 74
FORMAT 74
Gガイド地域番号・放送局
.... 47
HDMI機器制御 56
HDMIケーブル 22
HOME VIDEO.................... 74
INFO WRITE 74
LOAD................................. 74
NO DISC 74
PLEASE WAIT.......36, 38, 74
S映像ケーブル 22
UPDATE 74
WOWOW 69

ブルーレイディスクレコーダーホームページ

本機に関する様々な情報が確認できます。
操作情報などについて知りたいときは、以下のホームページの「活用ガイド」、「ファーストステップガイド」をご覧ください。
http://sony.jp/bd/

ブルーレイディスクレコーダーに関する情報を携帯電話からもご覧いただけます。
右記QRコードからアクセスしてください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル…………………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル…………………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「100」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX(共通) 0120-333-389 **受付時間** 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4-110-425-**03** (1)

この説明書は、古紙70％以上の再生紙を使用しています。

Printed in Japan